(一) 第八千四百二十六號 (火曜日) THE MANSHU NIPPO 昭和四年十二月二十四日

滿洲日報 夕刊

十二月廿三日

發行兼印刷人 編輯人 ……
發行所 大連市東公園町廿一番地 株式會社滿洲日報社

平漢線許昌の陷落で 大勢俄然馮軍に有利
閻錫山氏も最後の決心を固め 蔣氏に下野要求か

【南京二十二日發電】[illegible] き政府軍の打撃、最も重 [illegible] 口に出發しなかつたのは [illegible] 恐れ漢口行を危險と見た [illegible] 期待され大勢は俄然、馮 [illegible] 至るべく閻氏は近く蹶起 [illegible]

政府軍は太狼狽
徐源泉軍の許昌抛棄から 開封以東に退却

[illegible] 平漢線の政府軍第四十八師 [illegible] 軍が第十軍長楊杰氏の命令 [illegible] ず許昌を撤棄せるは徐軍が [illegible] との間に諒解成立したため [illegible] 十八師の行動より察すれば [illegible] 身、馮軍に寢返つたと信ぜ [illegible]

徐源泉 馮軍に寢返りか

【上海二十二日發電】[illegible]

對露强硬論を抛棄し 張學良の意見に聽け
と南京政府が折れて出る

【ハルビン特電二十三日發】[illegible] 迫られ露支交渉は張學良氏の主張に同意を與へ東鐵回收の强硬論を [illegible] 長の權限問題について張學良氏の意見による旨を認めた [illegible] 當らしむるに至るべしとの [illegible] 力となつて來た

戰爭を避け 解決を急げ
王樹常氏の打電

【ハルビン特電二十三日發】王樹常氏は結氷期が近づき赤衛軍の襲撃は一層、積極的となる傾向あれば戰爭を避けるため露支間題解決を早くせしめられたしと張學良氏に打電した

主謀者逮捕
交通機關破壞

【ハルビン廿二日發電】交通機關破壞の赤色テロリストの陰謀暴露し主謀者十七名逮捕された

顧を起用し 單獨交涉か
東北互頭會議の結果

【ハルビン二十二日發電】國境守備の各支部軍司令官は張學良氏に對し國境は既に結氷期が迫り大部隊の駐屯は困難なりとし露支紛爭の單獨解決方を進言しつゝあり依つて奉天における東北四省巨頭會議の結果、南支戰局發展に伴ひ奉天當局は顧維鈞氏をして對露單獨 [illegible]

洞ヶ峠の閻錫山
二重政策で灰色的中立 (下)

◇

戰機は漸次、切迫しつゝある。西北軍は既に鞏縣、洛陽の間に集中を終つて正面は鄭州を占領し側面は許昌も陷落し、他の有力部隊は湖北に向つてゐる、これに對する南京軍は鄭州方面は何成濬が總軍を引纏めて孫良誠軍の東進を喰ひ止めやうとし、蔣介石みづから赣米軍を提げて湖北から平漢線に沿ふて南下せんとしてゐる。鄭州方面の主力戰が一戰はやく今月の廿四五日頃には火蓋を切るであらう主力戰は矢張り中部の平地で行はれるらしく許昌附近が關ケ原になるらしい。支那の戰爭に豫言は禁物であるが十人の見るところ西北軍が餘程のへマをやらぬ限り六分の勝味は西北軍にあるとされてゐる。前哨戰で西北軍が景氣の好いところを見すれば閻錫山は上々吉で、かねての手順通り兩軍が主力戰に移らうとする頃を見はからつて和平勸告、蔣介石下野要求の切札を出すことにならうといふのである。

◇

閻錫山の反蔣介石的態度が表面化すれば所在の灰色黨が呼應して起ち、こゝに蔣介石の最後の日が來るのである。蔣が觀念してアッサリ政權を投出して下野すれば、閻錫山の半年來の大芝居は滿點の好成績で序幕を下し次の幕に入るのである。閻錫山は一片の通電で蔣介石を倒し、しかも平和の救神になつて天下の歐望を一身に集めるといふ次第である。若し閻屋がさうまく飼して與れずに、蔣介石が最後まで頑張るとなれば閻錫山は實刀を以て西北軍と協同し、蔣軍と戰ひこれを叩き潰すことになるであらうが、これは後に取つては次善の策である。いよ〳〵蔣介石が倒れた後は、どうするか、まづ北平が全國のでなくとも、北方政權の中心となるであらうことは間違ひはあるまい。巷間傳ふるところによると閻錫山は一應は最高の椅子に坐ることを辭退し天津に隱棲してゐる段祺瑞老を引つ張り出して政府の表招牌とし、自分は陸海空軍總司令で滿足し機を見て段老を引つ込めて政府主席に登り、こゝに念願成就といふことにならうといふのである。一說には國民政府の組織を、そのまゝ引繼ぐことになれば國は政治の實權を握る黨部の首腦には汪精衞を据へることになるかも知れないとのことである。若し政治組織を根本的に改造するとすれば全國會議といふやうなものを召集し、假政府を組織し招牌は段祺瑞でも汪精衞でも實權は閻の掌中に握られるといふ寸法である。

◇

以上が閻錫山、天下取りの胸算用であるが實現性は相當、高率であると觀るものが多い。若し當事が向ふから外れたときは、大退却して保境安民に立籠るか、ほんとうに下野するかしなければならない閻錫山自身、大痛事であるばかりでなく一時、全國的混亂狀態に陷ることになるかも知れない處があるのである【北平特派員發】

信任投票の結果 遂に辭表を提出
十三票の差で現政府破れ 佛國政界大動搖

【パリ二十二日發電】本二十二日午後フランス下院にて社會黨首領レオン、ブルム氏が外務省所管事項に關し緊急質問を許されんことを要求したに對し國務總理兼外相ブリアン氏はこれが贊否を政府に對する信任問題となすべきを申出で右信任投票の結果、政府は十三票の差で破れブリアン總理はエリゼー宮に到り大統領に對し今日午後七時三十五分、辭表を提出し今後の處置を協議のうへ七時五十五分退出した、大統領ゾーメルグ氏は廿四日の急進社會黨大會の結果を見て或は更にブリアン氏に新内閣を組織するよう勸請するやも知れぬと因にブリアン氏が更に新内閣を組織するとせば氏は第十二回目の組閣であると

【パリ廿二日發電】急進社會黨の態度變更等のためフランス政界の罷行、險惡となり政府は遂に本、二十二日、下院にて十三票の差にて信任投票に破れ總辭職に決した

佛國政界風雲急
ブリアン内閣危し

【パリ廿二日發電】現下、政界の一票行よりすればブリアン内閣は來る二日夜の議會の開會とフランス急進派社會黨大會と共に政界の雲行急轉して瓦解するものと見られてゐる從つてロンドン會議の代表者も未だ決定し居らずブリアン氏らは出席することはなかろうといはれ内閣諸公の注意は國内政界の問題にのみ注がれてゐる

辭表を提出したブリアン氏

軍縮會議 隨員決定
日程も決定

【東京廿三日發電】若槻、財部兩ロンドン會議全權は二十二日、外務、海軍兩省の會議關係者と準備會議を開いた結果、兩全權は十一月三十日、横濱發サイベリア丸にて出發十二月十一日シャトル着、十六日ワシントン着二十一日オリムピック號にてニューヨーク出發二十六日ロンドン着の豫定を決定海軍側隨員を左の如く決定した

海軍中將 左近司政三

海軍大佐	山本五十六
海軍大佐	豐田貞次郎
海軍大佐	中村龜三郎
海軍大佐	佐藤三郎
海軍大佐	佐藤市郎
海軍大佐	野村直邦
軍醫大佐	菅原佐平
海軍中佐	島津忠重
海軍中佐	岩村清一
海軍中佐	金澤正夫
海軍中佐	山口多聞
造船中佐	福田啓二
機關中佐	櫻井忠武
主計中佐	茂木知二
海軍大尉	川口雅雄
書記官	榎本重治

荻川放談 (110)
順應

前回の本放談は、關東州及在滿邦人が須らく自給自足に立たねばならぬと云つた、乃ち必要以外の物貨を他處から採るなと云つた、而して其必要物貨も、なるべくは自己生產に依れと云つた、それと共に、同じ處に住む支那人の物貨を利用すべしと云つたが、之がこゝに云ふ順應なのである、他鄉に入つては他鄉に從へじや、家具にしろ、衣類にしろ、食物にしろ、皆鄉土味によつて發達したものでなけにや、眞に其鄉土に適合したものとはなし得ない、順應は此鄉土味を取り入れることに歸着す。

◇

豈啻に家具、衣類、食物と限らんや、凡そ他鄉に住まんとせば總ての點に順應を必要とする。されどこゝでは我經濟國策と云ふに處し、財政緊縮と共に、消費節約を實行し、之を實行するによつて、亦關東州及び在滿邦人が、獨立の境遇に入らんことを期したいので、殊更に日常生活のことを說く、此日常生活に關東州及び在滿邦人はもつともつと、支那物貨を利用するが好い、但しその之を利用するうえに、安價を基礎にしたくない、安ものには損が伴ふ、支那物貨の利用は、それより專ら鄉土味を得るのを本位たらしむべし。

◇

關東州及び在滿邦人にして、既に居留地方の鄉土味を解す、此鄉土味に立ちて必要物貨の生產に從はんか、先づ自らの需めを充たし、然る後に之を支那人に擴くへ便宜を得て、初め我の支那物貨に依りしものが、轉じて支那人を我物貨に依らしむることゝなる、而も現在支那人の智識技術からせば、之が餘り困難のことでないように思はれ、要するに我は彼に比し、經濟向き實用向き優良物貨を生產し、彼我ともに之を使ふの域に達せしめたいもので、斯くなれば、我內地生產も之に倣ひ、相率ゐて支那貿易に活躍することゝもなるではないか。

◇

何とあつても、關東州及び在滿邦人に、日常生活上の鄉土生產と云ふものがないと云つてよからう、これなきものに自給自足の獨立なんかは望まれない、それ故に關東州及び在滿邦人に支那への順應を勸める、而して此順應から鄉土生產が興るを希ふ邦人は動もすると、滿蒙に於ける我特權を云々するが、此特權は慥にこれあり、其擁護こそ極めて大切にして、萬一の場合には、軍隊軍艦政策もとより辭すべきにあらずと雖も、不斷の擁護は經濟的實力に待つべきもの多く其實力の基礎は全く邦人の土着性、鄉土心から來り、それが他鄉では順應によつて培はるべきであるまいか。

訂正 廿一日夕刊本欄三段九行「必要」は「不必要」の誤植

チチエリン氏
ドイツで靜養

【モスクワ二十二日特電】チチエリン氏は目下、糖尿病と神經痛でドイツに靜養中である

露支問題は 平和解決を希望
陳儀氏かたる

【ハルビン特電二十三日發】南京政府の邊防軍顧問代表陳儀、劉興氏らは二十二日午後チ、ハルに向つた、陳氏は時局問題につき政府から日本の大演習に代表として劉興氏と行けとの急電に接したので滿洲里、ポグラニチナヤには行かず萬福麟氏と會見、直ちに引返しハルビンによらず南下歸京する

反蔣運動 は甘肅、河南等の地方が飢饉であるのに政府は救濟せぬとの口實で宋哲元一派が軍事行動に出たが閻錫山、張學良氏らが中央を支持する決心であるから政府に龜裂を生じることはない、東北四省の編遣については特にその必要はない、張學良氏は既にこれを實施し軍官の職を停止した約四千のものを講武堂に收容し別の官職につけることになつてゐるから問題はない、露支交涉については張學良氏は勿論、中央の命によることを表明しをり何ら變化なく政府もまた

東支鐵道 を回收する意志は毛頭ないことを斷言する、一部には回收說もあるが、それは實行不可能の主張で、實はこちらに來て回收の問題があるので驚いた、政府は平和に解決を希望してゐるが、管理局長の權限が從來の如く副局長はもとより督辦、理事會を無視し自由に裁量したことは協定の趣旨からいふも絕對平等とはいへない、この點が改めらるれば交涉は成する、その後如何に進展せるかは南京を出發して二週間餘でわからぬ

經費節約が 結局行政整理に
一萬數千の人員整理か

【東京廿三日發電】行政整理問題に關し井上藏相は本年度は時日の餘裕なきため絕對にこれを行はざる旨、言明してゐるが各省に內示されてゐる既定經費節約案は近年にない大整理を要求して居り、これを原案通り遂行するには結局人件費の削減、人員整理の外なき程度に及んでゐる、卽ち內務省では數千の警察官整理は避け難しといひ、遞信省でも五、六千人の電信電話現業員整理、已むを得ずとなし、それ〴〵復活を要求する意嚮である、その他陸、海、文部、農林、商工諸省にも大なり小なり同樣の問題があるが、大藏省は一億四千萬圓の節約すら不足なりとし節約額の增加を圖らんとする意向であるから藏相の言明の如く計畫的行政整理は行はずとも既定經費節約の結果として一萬數千人の人員整理は結局避け難くこれが實行に當つては少なからぬ紛糾を惹起するものと見られてゐる

不安除去
に政府は努む

【東京廿三日發電】官吏減俸案は撤回されたが各省の官吏中には、なほ豫算編成上、政府はこれに代るべき行政整理の一として人員整理、年末賞與、退職賜金削減、昇給中止等をなすのではないかとの不安を抱いてゐるものあるにつき二十二日の閣議で右對策協議の結果、各省大臣は政府はこれに代るべき不安は成るべく與へぬ方針たることを機會ある每に釋明徹底せしめ以て各省の能率增進を期する

畜產防疫の促進
朝鮮への大量搬入に際して 一層設備を充實す

農林省、朝鮮總督府、關東廳および滿鐵の各畜產關係首腦者を網羅せる內鮮滿家畜傳染病豫防會議は十八日より京城において豫定の如く三日間、開催された滿洲側よりは關東廳相原技手、滿鐵實吉畜產主任、葛西獸疫研究所長、香村畜產科長ら出席のうへ內地農林省側檢疫關係の大藏省稅關當局ならびに朝鮮警務、衞生當局等と各々提案を持寄り協議したが農林省提案の

內鮮滿における牛肺疫豫防撲滅に對する具體策如何

に就いては內鮮滿各地のエキスパートを選出して全國的調査委員會を組織し相互に連繫的研究をなすことに決定し朝鮮側提出の

滿洲における牛疫ワクチン使用普及方促進の件

は滿洲における牛肺疫の豫防施設が不完全なるため往々朝鮮に移入傳播するが故にこれが徹底的防遏を希望するといふにあり滿洲側としては滿蒙牛の大量輸出を計畫せる際とて獸疫血精ワクチンの利益效果を一般に普及せしめると共に豫防設備を一層充實して可及的速かに朝鮮側に副ふやう努力することゝなつた

洮索線の資金難
七十キロで行き詰る

洮南、索倫間二百二十キロの洮索鐵道は目下、洮安を基點として索倫へ向け線路の敷設工事中であるが資金およびレールその他の材料不足のため遲々として工事も進まず現在、洮南より七十キロを完成したに過ぎない

狀態 である、而して同鐵道敷設に要する資金は少くも五百萬圓以上を豫想されてゐるが今日までの資金は張學良鄒作華兩氏の手によつて百三十萬元を醵出されてゐるだけで、なほ三百七十萬圓乃至四百萬圓を調達しなければならないことゝなつてゐる、この資金調達を支那側が何れに求むるかは頗る

興味 ある問題で滿鐵方面でも支那側の借款申込みがあれば應じてもいゝといふ態度である、因に同鐵道の完成期は資金問題に左右されてゐるが資金調達を見さへすれば來年中に運轉し得るであらうと觀測されてゐる

滿鐵社內電話
規定を改め 充實を圖る

滿鐵會社の電話總數は每日多少の增減は免れぬが現在數は四千九百九十個餘でこれを內譯すれば

純鐵道用	二千三百十二個
事務用(增設)	五百八十三個
純鐵道用(交換電話)	二千九百五個
事務用(交換電話)	七十九個

鐵道部電氣課では從來その補修費および保存費として交換電話一個に對し年額四十二圓增設電話一個に六圓を振替てゐたが補修、保存兩費が上つたゝめ來年度より四十二圓を五十二圓に、六圓を十一圓に改正、總裁の決裁を得て實施することゝなつた、なほ交換電話中特別長距離(全線)百十一個(一個年額百六十圓)普通長距離(一個年額八十圓)鐵道事務所管內三百九個(一個年額八十圓)の規定となつてゐるが、これらは何れも社內的のことで社外に對しての關係は毫もない電報も從來無料であつたが一件三十錢、歐文九十錢として振替へる規定を作り矢張り來年度から實施する豫定となつてゐるけれど、これら社內規定の改正は通信費を判然とする爲であつて改正規定そのものゝ及ぼす影響は何らなく從來と同樣である、本社內の自働式電話は十二月初めから工事に取かゝり來年一月末に完成の豫定だが鐵道用の通信網は勿論、事務用電話も六人乃至八人に對して一個の狀態であるから今後さらに增加充實を圖る模樣であると山岡電氣課長は語つてゐた

要求復活額
文部省豫算の

【東京廿三日發電】文部省は二十二日省議を開いた結果、大藏省查定豫算額中、左の如く復活要求を行ふに決した

一、經常部削減額二百五十萬圓中百萬圓
二、臨時部五十萬圓中三十萬圓
三、繰延事業費五百十萬圓の約一割

卽ち文部省の復活要求額は百三十萬圓で大藏省查定額は九百七十萬圓中七百八十萬圓を承認したものであることゝなつた

勞働黨內閣
濠洲でも組織

【カンベラ二十二日發電】ブルース內閣の後を受けた勞働黨首領スカリン氏の濠洲新內閣は本二十二日正式組閣を終つた

仙石總裁
うらる丸乘船

【神戶廿三日發電】仙石滿鐵總裁は二十三日正午神戶發のうらる丸で赴任の途についた

畑軍司令官內地へ

畑關東軍司令官は今秋の大演習陪觀のため村上副官同伴十一月六日はるぴん丸にて離連の筈であるが同月末歸任の豫定である

橫田滿電專務・奉天へ出張

張中のところ二十三日八時着列車で歸連した

人事

▲村田實氏 日活撮影監督) 二十三日入港のはるびん丸にて來連
▲木村千疋男氏(同脚本部員) 同上
▲靑島順一郎氏(同撮影技師) 同上
▲難波義雄氏(關東廳學務課教育主事) 同上離連
▲熊本縣阿蘇農學校滿鮮視察團一行六十八名 奧村教諭に引率され同上來連
▲石川作太郎氏(金州內外棉支店支配人) 同上
▲曲作新氏(元江蘇省財政廳長) 二十三日入港の河南丸にて天津より來連
▲梅原末次氏(京都大學講師) 二十三日入港の天潮丸にて天津より來連
▲濱田耕作氏(同上) 同上
▲橋本豐三氏(大阪市立實科高等女學校長) 同上
▲遠藤貞次郎氏(滿鐵配車主任)ハルビンにおける東支との輸送會議出席のため廿二日大連出發
▲貝塚新作氏(同次客主任) 沿線視察中のところ廿三日歸社

大觀小觀

世界に新聞のタネが盡きず、フランスでブリアン首相が辭表を提出した。

◇

支那で馮系軍が許昌を占領した鄭州から許昌の線といへば、南京軍にとりては胴腹を御かれた形。

◇

和戰兩樣、いや蔣馮兩樣の旗幟を用意してゐる灰色軍、優勢な方に身方するは、打算に明敏なる支那軍閥の常套戰法。

◇

關內のことよりは東北邊境の露支紛糾、さすがのロシヤもシビレを切らし、氷上を渉つてハルビンを衝くなどと威す。

◇

そこで奉天側も、いや南京側もだが、とにかく何とかせねばならず、强硬論が軟化し出し、外交權の統一も、どうやらうやむやか。

天氣豫報

二十四日 南東の風曇り
日出 六、一二 日沒 五、〇五
滿前 一、二〇 滿後 一、三〇
干前 八、二五 干後 七、四五

一寸見は地味だが儲けはタップリ
篦棒に積立金してセッセと稼ぐ
埠頭の水上行商人連

大連は港街だ滿蒙の玄關口だ、從つて港をバックにした數々の商賣が營まれ日毎夜毎激しい商戰に火花を散らしてゐる、ブルウファンネル一隻着けばその荷役の後始末だけでも二三千圓ゴロリと儲かるこんなぬれ手に粟式の勇ましいあきなひもあれば組合への加入金五十圓を取り返すまで二三ヶ月を要するデッキパッセンヂャー相手の茹卵、餅子、飴を商ふ露天商もある、いづれも一樣に船相手の商賣に變りはない◇

特產積取りの船が赤腹を出して入港する、スルと蝗の樣に舢舨が同船目指して群集ふ、食糧雜貨を賣込み、靴を修繕し、或ひは洗濯物の註文取りに血眼な水上行商人達である、だがこの方は國際都市の面目上水上署の方で取締り餘りに亂雜になる事を防止してゐる、元來これ等の人達によつて組織されてゐる水上商組合は艀船運送部と水上行商部に分れ二百三十一名の會員を有し車夫收容組合に次ぐ多人數の組合で、積立金一萬六千餘圓が常備されてゐるといふ頗るガッチリしたものだ、肥後組合長はこの積立金がある事は船にモーターがある樣なもので組合機能を動かすうへに大きな力になつてゐる◇

この船相手の、商ひのうち、珍しいものを數へれば、ボイラーの掃除、オイルタンクの修繕等々…勞力を供給するもの、ダンネージ即ち荷積材料商、洗布專門、廢品の買入れ等どれも夫々利益をあげてゐる、なほ最も多いのが食糧雜貨で商人は外國人七名、支那人九十二名、しかして國民政府の統制改正で一番好い目を見たのが大連の水上商だといふんだから何が幸ひになるか分らぬと何商にかぎらずホクホクもの、恐らく支那沿岸貿易港中最も割が好いといはれ外國雜貨なども今日では大連が最も安いといふ◇

東洋一を誇り滿洲前衛の俗謠に「大連埠頭を見てごらん」と歌はれる港を背景に力闘する水上商人よ「うんと儲けてくれ」

今度は大連へ明後日飛來する
太刀洗の豫備機が

【東京二十三日發電】目下太刀洗にある陸軍の臺灣飛行豫備機二臺は飛行成功により不要となるのでうち一臺を以て太刀洗、大連飛行をなすに決しいよいよ二十五日野田大尉、藤田中尉操縦し早朝太刀洗發一千キロの海を越え大連に到着歸路は二十七日大連より所澤まで千八百キロを一氣に翔飛して歸還する豫定であると

渡臺の陸軍機
けさ歸還の途につく

【所澤二十三日發電】所澤臺灣屏東間の歸還飛行は二十三日午前決行された、一番機齋藤中尉操縦、齋藤大尉同乘機は六時五十五分、二番機中村中尉操縦、花澤大尉同乘機は七時いづれも屏東飛行場を出發一氣に太刀洗に向つた

家を飛出した十六の娘
親から取押の願

撫順東三番町富士山字一長女さち子(一七)は廿一日現金九十圓を持ち家出したが、內地に行く形跡があるからと廿二日水上署宛親元から取押へ方願出た

飛んだ行商人

市內土佐町二四水上行商人隋官岐(三七)同內通り一七同姜忠祥(三七)の兩名は二十二日午前十二時ごろ第二埠頭二十番バース繫留中の第二十一共同丸にて行商中、乘客に毆打され懷中時計を强奪されたと訴へ出たので水上署員が現場に赴き取調べたところ右は眞赤な僞りで實は兩名は乾魚を行商中同船の客某が値切つて買はんとしたが生憎所持金不足で後で買ふといつたところ、隋等は怒つて右某を散々毆打したので居合せた乘客等が見兼ねて隋等を毆打した爲め前記の如き虛僞の訴へをしたこと判明、二十三日水上署に呼出され油を絞られたうへ兩名とも營業を取消された

米國から珍客
蒙古羊改良に
滿鐵がメリノー羊購入

廿三日午後一時大連埠頭に商船アラビア丸で遙かにアメリカから珍客が參りました◇

これは滿鐵の公主嶺農事試驗場で土着種蒙古羊を改良するため支那する北米ワイオミング、ユタ地方の優良メリノー羊三百十頭で陸揚げの後直に公主嶺に送られる筈ですが、先月の廿六日シャートルを積出されて以來殆ど一ケ月間船底で燕麥や乾草を喰べて來たのです◇

滿鐵の着手してゐる蒙古羊の改良計畫はその規模の大なる點に於て世界にも稀なものでその第一期試驗を終るのに二十年を要すると稱せられ世界のエキスパートが注目してゐる大實驗だそうです◇

滿洲でも漸次改良事業の成功により滿洲羊毛に劣らぬ優良な羊毛が生產される樣になり勸業公司邊りでは千住製絨所へ滿蒙產改良羊毛を供給するまでになりました◇

國民衣服資源の上からも蒙古羊の改良種の普及は大問題ですが、滿鐵では更に蒙古牛を食肉牛として改良するため同じく北米からショートホルン種牛約四十頭をも取寄せる計畫でこれは來月中旬ごろ大連に着く筈です

風呂田氏葬儀
廿五日署葬で

廿一日殉職した小崗子署巡査部長風呂田武三氏の葬儀は來る廿五日午後二時より小崗子署出棺若草山西本願寺において署葬にて執行すると

自動車またも人力車と衝突

二十二日午前九時五分ごろ大連浪速町と大山通りの十字路に於て若狹町六一第一タクシー運轉手竹田直行の自動車と若狹町車夫合宿所內車夫張長龍の人力車が衝突し人力車は車體を破損して約六圓の損害を負はされた

岡部平太氏の夫人
ダイヤ指環盜まる

星ケ浦水明莊滿鐵社員岡部平太氏夫人フテ(三〇)さんは廿三日午前八時ごろ沙河口驛構內自動電話室內においてダイヤ入指環、腕時計、勸業債券八枚現金一圓七十錢(合計時價約五百圓)を何者にか竊取され沙河口署へ屆出でた

七千圓の首飾り
賣りに赴滬の使ひドロン
張宗昌氏第十二夫人の痛事

市外星ケ浦黑石礁に佗住まひの張宗昌氏第十二夫人盛氏(二七)は最近家計の窮迫から自己所有の首飾り(眞珠入り時價七千圓)一組を上海方面にて賣却せんと約二ケ月前張氏腹心の部下李某をして上海に向はしめたところ、その後杳として消息なきため盛氏は更に李某の搜査のため去る十八日出帆の大連丸にて部下を上海に派遣したと

大連油房聯合會の
石炭の過斤をゴマかす
使用支那人の不正事件表面化
委員連善後策を協議

當地油房業は破安に壓迫され內地輸出も思はしくなく近來稀に見る不況のどん底に陷り、如何にしてこの不況を打開するかにつき苦心してゐたところ、圖らずも大連油房聯合會の運炭部の一支那使用人が石炭の過斤をごまかす等の種々不正事件を働き現在判明しただけでも約一萬圓の不正を働き借家を建て給料の少ないのに似合はず豪奢な生活をしてゐたこと判明、油房聯合會では善後策を種々協議し今廿三日も早朝より理事室に委員參集し帳簿の檢査を行つた、右につき某消息通は

この問題は最近起つた問題ではなく二三年前から繼續してゐた問題である、この支那人が不正を働いてゐたことは判然と判つてゐたのですが、今日まで首も馘られずに使用されてゐたことは

不思議 です、この問題は一支那人のみの問題でなく相當な人まで及びはしないだらうかと思ひます

お馴染みの村田監督ら來連
けさのはるびん丸で
滿洲ロケーションの下檢分に

日活撮影監督村田實、同脚本部員木村千疋男、同撮影技師青島順一郎氏等の一行は滿鐵情報課の招聘に依り滿洲におけるロケーション下檢分のため二十三日入港のはるびん丸にて來連した、村田監督は語る

從來滿洲を背景とした映畫は可成りありますが皆ほんとうの滿洲を現したものは無い、私どもは此度脚本家、撮影技師と共に各地を檢分してよく滿洲の實狀を取り入れたものを作りたいと思ひます、撮影にとりかゝるのは私どもが一旦歸つて一行を引連れて來てからのことで時日は滿鐵側と交渉のうへ決定致します【寫眞右から本村千疋男、村田實、青島順一郎の三氏】

數百名の車夫
電車を襲擊
電車賃値上げ要求容られず
凄慘の氣滿つ北平

【北平二十二日發電】當地車夫工會員一萬餘名は生活問題から電車會社に對し電車賃値上げを要求してゐたが容れられなかつた爲め今夕から數千名の車夫等は手に手に獲物を携へ進行中の電車を襲擊して一氣に數百臺の電車を滅茶々々に破壞し去つたが、夜に入つて暴徒の一隊は電車會社に押掛け破壞しつゝありこれがため全市の交通は全く杜絕し無警察狀態に陷り凄慘の氣に充たされてゐる

遂に全市へ戒嚴令

【北平廿二日發電】車夫の電車襲擊猛烈なるため廿二日午後十時全市に戒嚴令布かれ二百餘名檢擧された

顚覆したヤマトホテルの連絡バス

十三名を乘せた
ヤマトホテルバス顚覆す
紅葉町で衝突を避けんと急カーヴ
數名負傷者を出す

廿三日午前十時十五分ごろ市內兒玉町四小林幸佐久(三七)の運轉するヤマトホテルの大連、星ケ浦ホテル間連絡バス第四六〇號が來客十三名(外人十二名、日本一名)を乘せて星ケ浦から大連に向ふ途中市內紅葉町一番地慈惠病院前カーブにおいて沙河口方面に向ふ馬車を避けながら紅葉町派出所前に差し掛つたところ、西公園より更に進行して來た自動車を避けんとして左に急カーヴを切つた爲めその反動で電車線路橫において顚覆し乘客は重なりあつてその下積となり、數名は窓硝子の破片等にて負傷したので直ちに大連醫院に收容し應急手當を施したが、小崗子署からは猪股、柴田兩主任現場に急行實地檢證を行ふと共に各關係者を大響に召致して目下取調中

他山驛前で賊彈に斃れた澤幡巡査部長とその遺族

集金橫領店員

大連紀伊町三一洋服裁縫業佐久間誠かたに外交員として傭はれ注文取および集金に從事中、この七月五日より八月二十五日まで滿鐵本社員本村某ほか二十名から現金三百三十八圓八十錢を集金して橫領費消した外他より修繕を依賴された洋服や外套を入質してカフエーで費消した前科二犯植田穗積(三〇)は廿三日午前十一時大連地方法院で公判の結果小田判官より懲役二年の判決を言ひ渡された

金州街道の辻强盜
三人組へ判決

金州街道に出沒し前後六回に亙り辻强盜を働いた當時住所不定無職の孫果亮(二一)同郝春業(二〇)同于洪業(二〇)の三人に對し大連地方法院では二十三日午前十時懲役各六年の判決を言ひ渡した

これも辻强盜

周水子附近の畑中にて前●四回に亙り通行人を脅して金品を强奪した辻强盜當時住所不定無職の牛貴亩(二五)は廿三日午前十時半大連地方法院にて懲役六年の判決を言渡された

れたが市內電車は一錢も餘さず費消された

鮮人元巡捕が無錢遊興

朝鮮新義州古城面麻田洞生れ當時住所不定無職金志鎬(三〇)は二十二日午後九時三十分ごろ大連越後町二支那料理店福興樓に至り八十五錢分の支那料理を無錢飲食しその筋に突き出されたが、同人は大正十三年十一月關東廳巡捕を拜命し同十四年一月旅順警察署勤務となり更に同年六月安東署に轉勤、翌十五年四月阿片およびモルヒネ、拳銃の橫領罪に懲戒免職のうへ懲役六ケ月二年間執行猶豫となり、本年一月又復竊盜罪で擧げられ懲役六月に處せられ服役後十月九日出獄したもので餘罪あるらしく目下大連署で取調中

粉曳用や荷馬車用の馬を追ッ拂ふ
◇—文化村の老虎灘街道から

文化住宅地とされてゐる大連老虎灘街道には相當の設備をして收容してゐる乘用、馬車用の馬四以外に何等の設備なく飼養してゐる粉曳用や荷馬車用の馬匹尠くなく、その數百五十頭に上り公衆衞生上遺憾に堪へないのみか甚だしく風致を害するので大連署では近くこれを他へ追拂ふ事になつてゐるがこれが爲め馬と共に轉住せねばならぬ者のため二十三日午後一時から民政署で大連署の大津衞生原田保安兩主任も出席し種々打合す處があつた

石炭を喰ふ榊丸
他の航路に廻す
新造船の竣工と共に

大汽においては航路改良、所有船舶の改善に鋭意努力を續けてゐるが、今回上海定期航路に就航せしむべく奉天丸、大連丸同型の姉妹船を建造する事となり既にデザインを終り長崎の三菱造船所に依囑建造中にて來年八月より就航を見る筈である、噸數は奉天丸同樣三千九百七十五噸、內部の構造には更に改良を加へると、なほ現在上海航路就航中の榊丸は傭船奉天、大連に比較して石炭を喰ひ不經濟であるといはれてゐるが、新造船の就航後は天津、青島、上海三角航路もしくは上海、香港航路に當てるといふ、因に新造船は長春丸と命名されるらしい

平安異香 (148)

葉多默太郎作　中一彌畫

髑髏の革袋(二)

あつといふ間もなかつた。

まさかと思ふ事を女賊の小太郎はやつたのである。

鐶の環を箝めたまゝの手が地に轉がつて、ピク〳〵指の動くのを見るまでは、誰しも鎖に喰ひこむ奴の音を豫期して、山盗の無邪氣な意地張りを嘲笑つてゐたのだつた。

だからすつかり氣を呑まれて、誰も聲を出すものがなく、一種不氣味な沈默が、しんと皆んなを抱き竦めた。

そして——

「ホ、、、、」

と唐突にその沈默を破つたのはいふまでもなくお蘭の方の嘲笑だつた。

「面白い男、小氣味のよい奴、ホ、、、、見事に鎖が斬れたなう。さえ暇をとらす、自まゝに行きやれ」

「チッ女狐め!——」

きつと唇を噛んで小太郎、腕の斬り口の血を抑へて見返りもせずに行つてしまつた。

捕吏の目の前で盗賊を解放したのである。源入郎は最大の侮辱を感じないわけにはゆかない。ゐたゝまらず、

「御免を蒙る」

つと立つと、

「お待ち——」

お蘭の方の聲だつた。

そして相模を簾の中へ呼びこんで何か云ひつけたらしい様子だつた。

相模は出て來て、

「源入郎殿、上へ——との仰せぢや。そなたに内談なさりたい事がある御様子」

といふ。

相手は淨海入道の息女であり長官の奥方だ。拒むわけにはゆかない。

「承知仕る」

と足を擦つて簀子に膝行すると

「こちへ」

といふ。

で簾をくゞると、お蘭の方は既に几帳の蔭へ入つてゐる。そして几帳越しの話である。人拂ひをしたので侍女はいふまでもなく、侍女頭の相模さへも、何故か次室へ下げられてゐた。

「源入郎、そちは鰥獨身であつたな。妻女もなく子もなく……」

「——さやう、天涯孤獨の境涯でござります」

「身輕でよい。何時お役職を離れようと、何處へ行つて暮さうと自まゝぢやな」

「…………」

「人は進退の時期を考へねばならぬ。進退を過つては後の世の名も如何なものぢや」

「御方様は——御用向は何でござります」

「性急な——まあ妾のいふことをお聞き。この春、大物の浦で大悲山の山盗冷泉夢之助を捕そんじてより、そちの高名は地に墜ちたと聞く。なんぼ源入郎が秦の司馬懿でも、大悲山の夢之助の方が一段と上ぢや——といふてゐるさうぢや。それに東山の邸へ現はれた怪しの男もまだに捕れないばかりか、その素性さへも探れないのが、またそちの聲價を低くしてゐる。使廳でも兎や角いふてゐるさうぢやが、市井でもそちを神ぢや鬼ぢやと思ふてゐたつけに、すつかりそちに失望をして、悪口をいふものさへあるさうぢや。そこへ又昨夜のこともある。使廳の思惑世の取沙汰はどうあらう。徹いそちにはよう分る筈——」

「…………」

「他意はない。そちの高名のすたれるを惜んでいふのぢや。辱しめるのなんのと思ふては僻ぢやよ」

「伺ひまするが、どうせいと仰有るのでござります?」

「慳貪なゝの言ひぢやな——黒住源入郎の名をいやしいものにしたくないので、只今のうちにお役職を退いてはどうかと思ふのぢやが、妾が勸める上からは、捕吏を止めても餘世の立ちゆくやうにいろいろと心遣ひはしてあるのぢや。抽特になるなと公卿の執事になるなと……」

「重々恐れ入ります。二、三日猶考へいたしまして——」

安奉線八景 愈々撮影される

【奉天發】奉天鐵道事務所で兼て計畫してゐる安奉線八景の宣傳活動寫眞は一兩日中東京シネマ撮影班が奉天に行くのを機會に同會社に依頼して撮影すべく目下交渉中で實現されるものと觀られる

映畫界東西

小石、杉山、月形のトリオが捧げる「尾の傑作と意氣込みで製作中の「白野辨十郎」は一カットだにゆるがせにせず監督以下共演者一同寢食を忘れて撮影中であつたが、愈々ラストの修道院の件りで完成の運びに至つた

◇

東亞キネマ時代劇部へ今回市川壽三郎といふ新スターが入社した今後同社ではスターとして賣出すといふ

喋話

滿鐵音樂會秋季演奏會は二十七日であるが▲一寸目先きが變つて居る様で、尚考へさせられるのがマンドリン合奏幻想曲合唱附と稱するもの▲映畫屋片桐さん、最近貴金屬商に商賣變して毎晩活動街を廻つてゐる▲岩崎氏を始めとして芹川氏、本日來連の村田氏一行等、映畫人に惠まれた映畫界▲此の際座談會でも開いて滿洲映畫界に貢獻する所ありたいもの▲入營中の帝國館松葉君最近に歸館するが▲どうも兵隊さんにめぐまれたのが帝國館で▲宣傳部の原君が十一月に入營の爲歸國する

◇◇愛の風景◇◇ オー、ヘンリー作「最後の一幕」より山本嘉次郎が脚色し、田阪具隆監督、入江たか子、南部章三主演の日活現代劇、二十三日より浪速館に於て上映

映画案内

浪花館 廿二日より臨時興行 特選 マキノ超特作名篇 押本七之助監督作品 め組の喧嘩 南光□、谷崎十郎、マキノ智子主演 帝キネ長瀬伸新現代劇 お國の戀日記 川田修、高津愛子共演 大帝キネ時代映畫 週刊朝日所載 幽靈婿 寒川延松、松葉笑子力演 ◆近日公開◆ マキノ超大作 澤村國太郎主演 旗本小普請衆

演藝館 十八日より奉仕週間 東亞……草間實主演 肥後の駒下駄 大河怪童……里見明主演 喜多次郎 近代行進曲 ユーモアーとナンセンスのシンフオニー 貳拾錢券

國際館 廿三日より短期公開 河合特作 原作入尋不二 山形屋藤藏 水井柳太郎 千代田綾子主演 宣傳週間 白美水

浪速館 オー、ヘンリー 最後の一幕より 田阪具隆監督 日活特作現代劇 ＝文藝作品＝ 愛の風景 入江たか子 南部章三主演 日活特作時代劇 五千石 鳥羽陽之助 川上彌生主演 六十錢瓶一瓶無代呈上 本欄御入場の方に洩なく六十錢一瓶無代呈上

帝國館 二十一日公開 凄慘月に躍る三條磧! 正劍風に躍る大乘院! 幕末の熱血児 月形半平太 林長二郎主演 高尾光子、若水絹子 若月孔雀、浦波須磨子 映畫レヴユー 柳咲子舞踊集 浦島俄獅子、櫻狩浪花小唄 懸案の特作品 野村芳亭監督 三善人 岩田祐吉、押本映治 小林十九二、筑波雪子

滿洲日報

最高軍事會議で 對露持久戰の覺悟

軍費捻出に借款三千萬元を起す 官號銀に準備中

[illegible]……つても南京政府は簡單に片づい政府としては反蔣運動が遂成功に終るものと考へてゐる

からソウエートの要求にピッタリ合致しない、張學良氏としても中央政府の運命がいづれかに決定するまでは矢張り單獨的に露支交涉を開催する意思は有してをらぬものと見られソウエートの支那內亂利用政策は先づ當分の間は見込ないものであらうと但しソウエートが積極的に出れば問題に別である、從つて東北四省主席會議は今のところ開催されぬであらうといはれてゐる

保境安民で押通す 東北省の態度を決定

[illegible]

伯林の露支交涉 支那側は中止に決定

[illegible]

行詰った露支紛糾 支那側平和解決を希望

[illegible]

東伏見宮大妃殿下臺灣へ御出發　東京驛で謹寫

監禁支那人への救濟金を渡さぬ 支那側では大に憤慨

【ハルビン二十三日發電】勞農官憲浦鹽に監禁中の支那商船乘組員九百九十名に對する支那側の救濟金二百萬元の分配及收容狀態視察をドイツ領事が申込めるに拒絕したる等の事より支那側は憤慨し寄々對策講究中、なほハルビン郊外に監禁中の赤露人千三百名の絕食同盟は事實無根である

減俸案撤回と公正會の意見

【東京廿三日發電】貴族院公正會は二十三日總會を開き政府の減俸案撤回を議したが、政府が世論の趨向に鑑み取止めとしたことは良き新例を作つたものであるが、一方政府が輿論を察し得ずして減俸聲明をなし世を騷がせた責任は明かで殊に井上藏相の責任は免れぬ併し政府が既に案を撤回した以上飽くまで政府の責任追求の要なし、一方司法部が結束して減俸案に反對せるは司法權の威信に關する問題で此の點は渡邊法相の責任なりと云ふに意見一致した

兩檢事 辭表を撤回

【東京二十三日發電】官吏減俸反對運動の先頭となつて紛擾を招いた責を負ひ松坂次席檢事、德永上席檢事の兩名は二十二日午後八時鹽野檢事正を訪ひ辭表を提出したが、二十三日正午鹽野檢事正、三木檢事長、小原次官等は兩氏を招致し極力慰撫に努め辭表を撤回せしめた

警察費の天引から 內務省が大狼狽 省議で復活を要求

【東京廿三日發電】減俸案撤回の結果、明年度既定經費節約はいよいよ峻嚴となり各省の復活要求は認められぬ模樣であるが內務省では警察費に大削減を加へられ特高警察費において七十萬圓、東京、大阪警察連帶支辨金において百七十五萬圓の減額となつてゐるので強硬にその復活を大藏省に交涉してゐるが若し復活不可能となれば遂に人員整理の已むなきに至るべく中央、地方の警察界は非常な不安に陷つてゐる特高警察費は査定のままでは本省保安課を縮小し各府縣特高課員を減員せねばならず、かくては思想警察の職能を發揮し難く內務省側は絕對に普通天引標準十一割五分以上の減額を肯ぜずとして居り二十三日この善後策につき內務省議を開き右の方針により復活要求をなすことに決定した

靖國神社祭 勅使を御差遣

【東京二十三日發電】二十三日は靖國神社例祭につき天皇陛下におかせられては午前九時勅使として掌典小出英延子を神前に御差遣あらせられた

樞密顧問官補充決行 その候補者

【東京二十三日發電】濱口首相は減俸問題も片附き近く倉富樞相と會見し樞府顧問官の補充を決めることゝなつた、新顧問官は岡田良平氏は確實で其の他は阪谷芳郞男、高田早苗氏、福田雅太郞大將、古在由直氏等最有力で、阪谷男も今回は濱口首相の懇請あらば承知するものと云はれてゐる

鹿鍾麟等 天津に現る

【天津二十三日發電】鹿鍾麟、劉驥芬氏等は一昨日長平丸で大連より來津、日本租界のヤマトホテルに潛んでゐたが、今朝行方を晦ました

日本全權の通過と 米國との協定說 一般には信ぜられない

【ワシントン廿二日發電】ロンドン海軍會議に日本全權はアメリカ經由渡英の際、アメリカ首腦部と諸問題につき協議すると見られてゐるが何ら取纏まつた協定を見るに至るまいと、また潛水艦全廢につき英米の意見一致したとはいへアメリカをして今後の行動を約束せしむることは出來ぬと

駐獨大使を召還 館員の怠慢を憤慨し

【ローマ二十二日發電】イタリー政府は駐獨大使マレスコッチ伯ならびに大使館員に召還命令を發したが右はイタリーの電報秘密暗號が大使館より盜み出されたにつきムッソリーニ氏が館員の怠慢を憤慨した結果であると傳へらる、なほ後任は現駐トルコ大使ルーカ・オルシニ・パロニ氏の[illegible]

佛內閣失敗原因 賠償金問題の祟り ブ氏はロンドン會議に出席せず

【パリ廿二日發電】ブリアン內閣の敗北は全く突然のことであつたが右はラインランド撤兵には贊成なるもヘーグ賠償會議協定に反對を表明してゐた左翼各派に右翼各派が提携を爲したによるもので海軍々縮會議に關する是非も若干原因となつてゐる模樣である、ブリアン氏は形勢挽回のため演說を試みたが成績よくなく氏はヘーグ會議でフランスのとつた政策方針については賠償協定最終調印の終るまでは語らぬと沈默を續けた、氏が自己の所管事項より辭職するに至つたのは、これが最初で氏の外相再任は疑はしい、後任は未だ判明せぬがブリアン氏は辭職した上はロンドンの軍縮會議には自ら出馬せぬ模樣である

預金部資金

【東京二十三日發電】大藏省發表十月十五日現在大藏省預金部情況に依れば、預金部資金總額は二十七億九百七十萬五千圓で九月末現在高に比し五百七十一萬六千圓の增加である、而して內郵便及振替貯金は二十億七千八百十四萬二千圓で九月末現在に比し千五百七十四萬三千圓の增加である

北滿特產 南下激增 時局の影響で

滿鐵々道部の北滿特產輸送狀況は上旬一日平均百二十二車、中旬同百四十五車で二十一日からの輸送は二十一日百八十九車、二十二日二百八十四車、二十三日三百九十車で本月の輸送貨物は前年度同月と比較して約二倍半といふ激增ぶりであるこれは時局の關係上、東支東部沿線の貨物が一齊東行を阻まれて南下すること及び北滿特產の出廻り期が例年より早いこと大豆の相場が好轉してること逐年需要增にある歐洲における植物油が極度に不足を告げてゐること等がその主要原因として見られてゐる、なほ社線內を見ると上旬四萬二千九百三十六トン、中旬五萬四百九十四トン、下旬七萬五千トン(豫想)即ち十月中に十六萬八千四百三十トンを輸送しようと努力してゐるが二十二日の社線への貨物總持込數は六萬七千五十トンその車數二千百十九車は本年度におけるレコードであつた

二十六日着任後の滿鐵總裁 沿線巡視は見合せか

仙石滿鐵總裁はいよいよ二十六日うらる丸にて着任することゝなつたが着任後の總裁の豫定はうらる丸より上陸、直ちに總裁用自動車にて滿鐵本社に入り總裁應接室において各重役の挨拶を受けた後、協和會館で社員に着任挨拶と訓示とを行ひ再び總裁應接室において各課所長ならびに滿鐵の關係會社々長專務らと面接し二十七日は日曜で休養、二十八日は社內の巡視を行ふ模樣である、昭和五年度の滿鐵豫算、昭和製鋼所の調査委員會審議その他の事務報告は二十八日以後に行はれることにならうとなほ沿線巡視について、目下豫定にはないが病後のことであるから多分見合せになりはせぬかと見られてゐる、因に總裁の着任招宴等は一切斷る方針だとのことである

問題の退職金は 市參事會で漸く決定 總額三萬五千餘圓 江口小泊兩氏間に大なる差別

問題の大連市參事會は二十三日午後二時過ぎ關氏を除く外全會員が出席し、先づ協議會を開き衛生作業初め諸事業に就き意見の交換を爲したのち、參事會日程第一號の前吏員退職金給與に關する件に移り所謂六、七號案に近きものと思はれる原案を附議したが、後記の退職金算定方法を初め種々の

論難喧しく 一先づ該案を撤回し、改めて新原案提出により左の如く決定を見た

▲江口氏(成規退職金一萬圓弱別途退職金二千圓強)▲小泊氏(同上五千圓弱、同上四千圓強)▲關屋氏全退職金三千二百五十圓(別途退職金は成規退職金の一割)▲安田氏同上三千六十圓(同上)

右決定の跡を檢するに同じ前主事同待遇者でありながら十年以上勤續者たる江口氏の場合は別途退職金が成規退職金に對し僅二割に過ぎざるに反し、小泊氏は十年以下勤續で八割の高率に當つてゐる、かゝる格段の差別待遇を爲したのは小泊氏が市に對し

格別の功勞 ありしに因ると理由づけるより外何等の根據もないと思はれるが、事實は十目十指の指し視るところ兩氏の功勞には何等逕庭がないので、結局斯る結果を見たのは一部會員が私情を挾んだものと稱されても辯解の辭なかるべしと謂はれてゐる、尙右退職金算出は十年以上の月數を加算したものであるが、現主事某氏一人を除く外市理事者は總て十年に至りて計算を止むとの見解を採り、且つ前記の前庶務課長小泊氏も同一意見であつたが本會に於ては此點に就ても論爭甚だしかつた模樣で、結局前例に遵ひ十年以上加算說に落付いたものである、而して此の

解釋の相違 は法規の不備に基くものであるから早晩改正されるであらう、因に今回の決定により全退職金額は三萬五千餘圓である、次に日程第二號の前市會正副議長に記念品を贈呈する件は原案通り可決し五時半閉會した

滿鮮の思想調査 思想檢事が出張して

【東京二十三日發電】東京控訴院思想檢事栅町丈四郎、司法省刑事局思想主任池田克兩氏は二十六日午後八時東京發三週間の豫定で滿鮮方面に思想狀態調査に赴くと

製鋼所 委員會は二十五日開催

昭和製鋼所、滿鐵總裁の更迭によつて再考といふことになり現に調査委員會を特設し研究を進めることになつてゐるが、二十六日には仙石總裁も着任するといふので二十五日には該委員會を招集し調査を重ぬる上に一應、その結果を總裁に報告し、なほ調査を進め研究することになつて居り、未だ敷地などは何れとも決定するまでに研究は進められず、製鋼所そのものの利害得失を調査中にありといふ

製鋼所 小委員會開催 二十四日續開

二十三日午前九時半より總裁室にて開催された昭和製鋼所小委員會(委員長神鞭理事)は正午で一旦打切り二十四日さらに續開することゝなつた、總裁着任までには小委員會だけは結了するものと見られてゐる

滿鐵の產業助成 獨自の立場から考察

滿鐵は明年度においても本年度同樣の產業助成金を計上し滿蒙の經濟的開發に努力することになつてゐるが、ややもすれば右の資金を關東廳に委任し支出するならんなどと傳ふるものあるも右の如きことは全然の虛報として滿鐵としては關東廳の意見を尊重するとかまたは各地方商工會議所等の意見を徵するやうなことは必要とするも各機關の整備と相まつて助成の目的を達成すべく攻究されつゝあるもの如くである

臨經報告 委員長より副總裁聽取

大平滿鐵副總裁は二十三日午後三時より臨時經濟調査委員會委員長石川鐵雄氏を副總裁室に招致し同四時まで二時間に亘つて事務報告を聽取するところがあつた

高文合格者發表期

【東京二十三日發電】行政科高等試驗合格者三百三十六名は二十五日官報で公告されると

衛研學術集談會

滿鐵衛生研究所第二十四回學術集談會は二十五日午後一時から開催されるが、當日の演題は猩紅熱血清效力檢定法に就て(安藤洪次氏)漢藥店に用ひらるゝ漢藥の名稱に就て(島田源太郞氏)翁草に含有さるゝ强心性有效成分に就て(見玉得三氏、後藤良輔氏)「發疹チフス」の實驗的研究▲「發疹チフス感染モルモット」の臨床的及び病理學的診斷の標識(見玉誠氏、高橋三郞氏)▲「發疹チフス」感染モルモット」の白血球像の變化(河野通男氏)發疹チフス病毒の濾過性に關する研究(星崎相陽氏)

國家賠償法案を 愈よ來議會に提出 通過確實と見らる

【東京二十三日發電】來議會に司法省の提出すべき國家賠償法案は目下頻りに古田書記官の手で作成中であるが近く脫稿する模樣である、同法は冤罪を蒙つた被告が無罪となつた證據に冤罪を蒙つてゐた期間中の物質上の損害を國家が賠償すると云ふに在り、朝野の輿論も一齊に歡迎して居り其の議會通過も確實と見らる

生活苦の叫びを 他所に氣樂な月日 年二回の慰問船が何より樂しみ 離れ小島の燈臺守

航路標識巡廻船羅州丸は去る五日交替家族、燈臺用備品、食糧品等を積載し橫濱を出帆以來各燈臺を訪問して必需品を配給しつゝ二十三日午前十一時大連に來航、老鐵山に二人、寺兒溝に二人、南三山島に一人新交替看守を送つたが、以下同船吉田事務長の物語りである

羅州丸は五月と十月、一年に二回各燈臺を巡歷するが、其節燈臺檢査員も乘つて行き設備を檢査して廻る、北海道、樺太、千島、日本海を經て瀨戶口を拔けて九州に出で

◇…**約七十日** かゝる、普通三個年交替の規定で是等の家族を各燈臺に送つて行くのだが、浮世離れた絕海の孤島に唯訪れる友として浪の音と偶々翼を休める海鳥の外は無い彼等にとつては、年二回の我々の訪問はお正月とお盆の樣に待遠しい日だ、內地から來る時にお馴染の三山島には目下四人の看守と外若干の陸軍監視兵が居り、霧の朝あらしの夕遠く艦艇に親しむ大連市中を眺めつゝ只管霧信號に、或は燈火の手入に默々として行交ふ船の

◇…**護り神と** なつて俗塵を忘れた日を送つてゐる、併し彼等にとつて一番困るのは通學兒童のある者でそんな人々は妻子を鄕里に殘して來てゐるが二年每の交換でも慣れてゐるから割に性的な惱みには苦まないらしい、だが獨身者をこんな處に二年も置けば大抵神經衰弱になつて了ひ却て結果が惡いので成るべく遠隔の燈臺には獨身者は避ける樣にしてゐる、生れて物心のつく三つ四つ位迄寂しい燈臺の兩親の膝下に育つた樣な子供は

◇…**馬や牛を** 見ては驚き離島した人中に連れて行けば非常な恐怖心を起してひきつけたりする樣な事もある、よく世人の考へでは燈臺守と云へば厭世的隱者の逃避場所の如く考へる人があるがそんな考へを持つた人は事實行つてみれば十日も勤まらないで半病人の樣になつて了ふ、あれで氣象觀測もせねばならず通る船の看視其他なかなか忙しい、每年燈臺看守採用試驗があり本年も十月初めにあつたが、二十名の採用に

◇…**四百名の** 志願者があつた、當局では二十歲から三十歲迄の健康本位でとる方針で不況時代とは云へ既に大學卒の燈臺守も可成り居る、夫と云ふも生活が樂だからで練習期間六ケ月は四十二圓の外職場手當最高十圓から三圓を給與され、家賃は要らず衣服は官給で一人前十圓もあれば充分足り貯蓄が出來ないから嫌でも殘つて行く、現在全國に百七十箇所約四百人の看守が居り縱橫錯綜生活苦の怒號叫喚を他所に唯浪の唄を聽き流るゝ儘の日を送つてゐるのだ

輸入外米は 政府專賣か 米調特別委員會で近く答申案を作成

【東京廿三日發電】米穀調査會特別委員會に提出された私案は既に七案に達し之が說明並に質疑應答は大體終了を見たので、廿四日より三日間特別委員會を開き種々討論を行つた上米穀需給調節に關する適切なる方策如何との諮問案に對する答申案を作成する段取となつてゐるが、之までの審議の經過及私案夫れぞれの內容を通觀するに委員會の意向は三輪委員案たる內地、植民地、外米の專賣は一理想案で到底實現不可能であり、上田委員案は米穀法撤廢を前提として半官半民の特殊會社をして外、鮮米の統制に當らしめる方法も首肯されず、結局國家財政と植民地產業、內地に於ける生產者消費者の立場を充分考慮した上朝鮮に米穀法を施行し產業倉庫又は國立倉庫を設け鮮臺米の移入平均化を行ひ、之が統制に當り外米は現行通商條約の關係上徹底的輸入制限を行ひ難きため政府專賣の方法を取るものと見られる

岩手縣の 公金橫領事件 某大官に及ぶか

【盛岡二十三日發電】岩手縣前會計課長外一名にかゝる公金二萬圓橫領事件は去る七月第一回公判を開いたが、檢事局は更に徹底的調査を進めることゝなり現某大官に

日滿連絡上り機

二十三日上り旅客機は午前八時半周水子發、十二時十七分京城着、乘客は瓜谷長造、上西勝、最所文二、本田譲爾、德留清一郞の五氏

辭令

【東京二十三日發電】

任關東廳遞信副事務官(六等) 各通　關東廳遞信書記 松本鴻三郞　同 淸水楠次郞

安樂椅子

世は緊縮節約で蕭條たる秋となり柳暗花明の巷は多少寂れたといふが近頃、流行のカツフエーなどは大繁昌だ▲紅い灯、青い灯に吸ひ込まれて行くのは若いモガ、モボだけと思つたら、それは大違ひ▲ある秋の一夜、市內某カフエーを覗いたら若い女給を對手に盛んにジャズ氣分を味はつてゐる老頭兒紳士連があつた▲顏觸れをみれば佐藤至誠、神成季吉君らのお歷々▲お盛んなことですなと冷かせばイヤ時節柄お茶屋行きを節約し時勢のテンポに步調を合せてカフエーにしましたとは苦るしい辯解▲これが大阪でなくて仕合せだつたといふものである。

本日廳報を添ふ

特電

定期後場(銀建)

▲大豆(低落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百四十九車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 四千枚

▲豆油(軟調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 四千五百箱

▲高粱(強調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 四十三車

▲包米 出來不申

現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保(袋込)	六八一〇	六八〇〇

大豆(裸物) 出來高 二十車

普通大豆 出來不申

	寄付	大引
豆粕	二一九〇	二一八〇

出來高 一萬五千枚

豆油 出來不申　高粱 出來不申　包米 出來不申

錢鈔

定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(期近七十九萬圓 遠期百二十四萬圓)

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金 ―　銀對洋 四千圓)

商品

後場

●麻袋(保合)

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	延十月末	三四六	二〇〇

出來高 二萬枚

●綿糸布(保合)

◇定期◇

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	二月限	二〇〇五	一〇

出來高 十梱

麥粉 出來不申

神戶特產(廿三日)

品目	値段
大豆現物	[illegible]
大豆先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
豆粕先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	[illegible]	[illegible]
大紡新	[illegible]	[illegible]
鐘紡新	[illegible]	[illegible]
日糖新	[illegible]	[illegible]
郵船新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
中	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]
豆信、中、先	[illegible]	[illegible]

東京株式(短期)

銘柄	寄値	引値	高値	安値
新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十月	三一七九	三一八〇
十一月	二九七一	二九八五
十二月	二九六二	二九五九

滿洲日報

露支紛糾を忘却するな
東北省は自由手腕を揮ひ

沒法子とニツチヴオの國民だけに、東支鐵道を中にした露支の抗爭、依然として展開せず、東支による歐亞の連絡も、杜絶の狀態を以て越年せんとしてゐる。その間に、支那の形勢は幾變轉、さしも優勢だつた蔣介石の運命も、時間の問題だとされるに至り、東北四省の外交權統一も、うやむやに推移せんとするの情勢にある。勿論奉天側もロシヤ側も、互ひに强いことをいつてゐるが、事實は如何のものにや實力において、兩方ともに强大を期すべくもなく、殊に財政の問題において、相すくみといふことにならぬだらうか。現に奉天側は、中央政府を以て任ずる南京政權からは、鐚一文の補給なく、來るものは勝手放題な命令ばかり、それも昨今は、對馮戰に忙殺され東北邊境の問題など、全く忘れたるかの如き有樣。そこになると現金なもの、一時は、外交權を捲き上げ、あわよくば、東支鐵道を奪つて、その收入を南京政權の培養に使用せんとしたものゝ、脚下から反蔣聯盟が起り、討蔣運動となつて、長鞭、東北の馬腹に及ばず、對露交渉は、張作相ら主張の如く、利害關係の最も密接なる東北軍閥に於て、自由に解決せざるべからずと做し、その段取りに進まんとするが、停頓、今日の如きに至つては、ドイツの仲介にのみ信頼し能はず、さりとて、直接の交渉もならず、互ひに小手先の宣傳は怠らぬが、事に馴れて刺戟も薄く、右から左へと手ッ取り早く事件解決と進捗せしめず、そのうちに嚴冬に入り、まづ第一に困るのが東北四省の支那兵、何といふても防寒の用意がない。ロシヤとても知れたものではあるが、それでも支那兵に勝り、馮系軍隊が、凶作の陝甘から、河南、湖北に押し出さんとするの勢ひを示した如く、パン粉に缺乏してゐる赤衛軍は、北滿の曠野が、一面に凍結せんか、黑龍江より松花江の氷上を、パンを求めてハルピンに殺到することは、夏の河蒸汽より容易であり、一たびハルピンにして赤衛軍の手に落ちんか、東支鐵道は期せずして勞農露の掌中に陷ることは明白である。まさかと思はるゝが饑餓に瀕せる赤衛軍は、何の眞似をするか、分つたものではない。奉天軍閥としては幸ひ、關内に事あり、ここ暫くは、東北關外の鐵則たるべき、保境息民に根據し、蔣馮の喧嘩は闘の審判に一任し、當面の急務として、對露交渉を、何とか片づくるとにせねばなるまい。支那側としては東支鐵道の收入は丸取り、碌な修理も得せず、掠奪し得るだけ、軌道や車輛を酷使するのであるが、それにしても收入は、少なく見積りて一千五百萬元に上るべく、ロシヤに折半するの要もなく、また南京政權に分配するほどのこともなかるべく、取れるだけ取り、また都合によつては、うんと運賃を値上げし、値上り運賃や、一般農民に轉嫁さする。勝手放題の支那のことであり、例の官商なるものが、背出からの買占め運動を、うんと發揮さするにおいては、二千萬や三千萬の軍費、戰費、何かあらんやといふことにもなるが、まだ考へて見れば、ロシヤと兵を構へて、血を流し、骨を碎るの愚ひをして見たところで、支那のべ土では痛痒我不關焉。下等動物の切斷されて節々に生命あるが如きは、奉天側としても、心血を濺ぐに及ばずと感ずべく、國境對峙に緊張疲れのするよりは、相當のところで構和し、圓滿の解決を期するに如かずといふことにならぬか。東支鐵道の一部分の收入を丸取りしたところで、軍費、戰費を償ふに足らず、その上もし、松花江の氷上からハルピンでも占領されんか、それこそ由々しき重大事とせねばならぬ。このこと、必ずしも支那當局者の杞憂にあらず、あるひは可能性ある事項として考へ置くの安全であり、支那側、いや奉天側としては、關内の形勢、漸く混沌たらんとするの秋に方り、國内問題は保境息民の鐵則に立脚し、今日當面の問題として、露支交渉を急ぐの緊要事たるを思はぬか。外交權の移讓なども、責任回避の口實にはならうが、支那の實情にては完全なる統一とか、中央集權とかは、まづ覺束なしと知らねばならぬ。張作相ら、東北四省の治安を双肩に負擔してゐる責任者は、ただ時日の推移にのみ放任するは決して東北關外の幸福を增進する所以ではあるまい。

馮庸義勇軍一旦歸校に決定
必要に應じ出動する

【奉天發】目下西部國境に出動中の馮庸大學義勇軍は滿洲里驛西南部六千米突の防禦線にあるが未だ一度も赤軍と交戰せずその必要も認めない處から十月末一旦歸校して授業し更に必要に應じては再び出動することゝなつたと

方本仁氏の閻氏訪問
西北問題協議

【天津發】方本仁氏は蔣介石の親書を携へ十八日午後四時太原に到着し同夜五台に赴き閻錫山氏と西北問題を協議したが、親書中には黨國のため馮玉祥氏と共に入京して貰ひたいとの懇請の意を示したものである、尚十七日五台に閻錫山を訪問した支那側記者の話に秘書長賈季尚の語る處に依れば馮玉祥氏は閻錫山氏の眞意を疑ひ何等意見を發表せず軍事は宋哲元氏の自由に任じ時局に對して何等の態度を表せず各代表が訪問しても面會を謝絶して居る、閻馮兩氏共に建安村にて會見中であると

同江縣城の避難者に
復歸の命令

【吉林發】吉林省政府章民政廳長は同江縣城が赤衛軍に攻略せらるゝや同縣四千餘名の老幼男女避難民々同縣長張錫侯氏等は縣城を距る二百華里の向陽川、二龍山の兩地に逃れて居たが既に露軍去り大風一過平靜に歸したので去る十九日電報を以て張縣長に對し速かに縣城に復歸する樣命令した、之れと前後して張縣長より省政府に對し縣城に於て住民の射殺された者は男三名、女二名で其他は皆安全地帶に避難したと報告して來た尚廿日樺川縣長唐純禮氏から省政府へ報告に據れば同江、富錦兩縣より樺川に避難した者五千餘名に達するが之を如何に救濟すべきか速かに指示されたしと

旅券なしで赤系露人の南下
支那官憲に贈賄し巧みに關門を突破

【ハルビン發】支那側官憲はソヴエート人民に對して服裝の如く旅券に査證せぬため赤系ロシヤ人は全く籠の鳥と同樣であるので最近はこの危險な籠抜けを工夫し南行するものがある、關門は車中と寛城子の境界線突破であるが支那官憲に贈賄して巧に南下してゐるもので支那側が赤系の旅券査證をせぬやうになつてからこの手で多數南下した者もあるらしいがいづれも成功し一名も引つ懸つたものがないとのことである

國民政府の視察員
東三省に派遣

【奉天發】國民政府は東北政治の現狀を視察せしめるため内政部より視察員陳希豪氏一行十名を派遣せしめることゝなり一行は大連經由奉天城内に入つたが廿一日は各機關を視察し約一週間滯在の上張學良氏と會見懇談をなし吉黑兩省

北平の僧侶が農工を勵む
時代の潮流に食を失ひ「農禪」「工禪」の宣言

【天津發】最近北平の佛教界は僧侶が時代の潮流に適應する必要に迫られて時に「農禪」と「工禪」と云ふ新工夫を廻らす事としたその宣言の要旨は次の如くである

▼ ▲

人類の生存權は平等で誰れも之を剝奪する事は出來ない、然してその生存は社會に立脚する必要上社會が相當の義務を負はなければ自然に淘汰されねばならない、元來和尚は人類向上の要求を滿足さす爲め割愛し出家し人生の老病死苦の關題解決に沒頭する者で社會に代つて重大な義務を分擔する以上當然社會から供養を受けねばならないが反對に今日の狀態になつた。

人類の向上的慾求は方向を變じて只物質上の滿足を求むるに急なるため經濟的競爭が激甚となり國家や人間の滅亡は捨て顧みず自己の慾望の達成のみを考へて居るが國家を愛し同胞を慈むために國人が悉く生産的戰線に活動し其の生存を圖らねばならない時和尚許りが自活する事が出來ない樣では社會人として義務が果されない故に本會同人は各寺に於て適宜に「農禪」乃至「工禪」を組織し半日に作に從事し半日習禪して社會の係累たるを免れると共に向上的使命を達成したいと考へる、元來佛法はその本質的價値があり、北平の寺廟の佛像は全國の古蹟美術の代表的なものであり之れが保存は極めて必要である、和尚が之れを壞ふ樣な事があれば社會に對する義務を忘れる事になる故此れは飽くまで保存せねばならない。

信教の自由は總理の遺教であり世界の何れに於ても同樣であるが正當なる信仰に導く必要ある我々は自ら高く身を持して社會の批判を待つ可きである

太平洋會議の支那側委員
學界の新人を網羅す

【天津發】京都に於て廿八日より開催される第三回太平洋會議の支那側代表は北京天津より學界の新人を網羅し二十日の夜行で奉天經由日本に向つたが委員の氏名は次の如し

顏惠慶、外交界の立役者▲鮑明鈴、北京大學教授▲陶孟和、北平社會調査會幹事▲徐淑希、燕京大學教授▲陳立包、北平青年會幹事▲任鴻雋、北京大學教授▲呉鼎昌、經濟學者▲政通▲張伯苓、南開大學校長▲何廉、南開大學教授

東三省代表京都へ
太平洋會議とその提案

【奉天發】既報太平洋會議に出席する東三省側代表閻玉衡氏一行五名は二十三日十五時半發安奉線急行にて京都に向つたがその提案は左の通りであると

一、滿鐵沿線郵便權回收
二、支那内地における朝鮮銀行券の流通制限
三、諸外國の商業投資反對
四、南滿沿線旅大租界回收
五、駐屯軍隊並に警官の制限
六、鮮人移民反對
七、州外鑛業漁業權回收

整理緊縮の投書を募集

經濟國難に直面し我が滿洲に於ても公私經濟緊縮委員會が設置され愈よ具體的運動に入つたがこの秋に際し、廣く一般讀者から入相欄に掲載すべき整理緊縮の合理化に對する投書を募集いたしますから奮つて御投稿下さい、行數は十五字詰五十行以内のこと

入相係り

間島地方の鮮人學校を閉鎖
その代りに公立學校を設置
吉林教育廳から密令

【吉林發】吉林省政府教育廳長王莘林氏は此程間島地方卽ち延吉、琿春、汪清、和龍の各縣教育局長宛に

明年度より各縣内朝鮮人經營の私塾を閉鎖して之に代ふるに公立學校を設置して縣教育局の監督下に置き其他鮮人經營の講習所に支那人の所長一名を配屬して教育事務を管掌せしむ、尚ほ龍井、琿春、局子街、百草溝、頭道溝、大拉子の六ヶ所に模範小學校を建設して省政府が直接之を管理して日本政府補助學校に拮抗し以て支那教育權侵害を排除すべし

との密令を發した由であるが之が實施の曉きは相當問題を惹起するであらうと云はれてゐる

龍井村を特別市に
市政籌備處を移轉する

【吉林發】當地に於て傳ふる所に依れば、間島龍井村は國防上の見地から延吉(局子街)等よりは遙かに重要である故に吉林省政府に於ては龍井村を特別市に昇格せしめ而して延吉の市政籌備處を同地に移轉せしむる計畫であると

尚吉林全省公安管理處では郝秋鈞氏を龍井村特別市公安局長に内命し郝氏は近く吉林を發して赴任すべしと言はれてゐるが、一說では延吉の市政籌備處を龍井村に移轉することを特別市に改むるものと誤傳したのではないかと云つてゐる

『欅』出動
邦人保護のため山東方面に

既に京漢線は不通となり山東一帶また不穩の氣が漲つてゐるので同方面にある邦人漁船商人保護のため、二十二日旅順より來航、大連港に碇泊中の帝國驅逐艦「欅」は二十三日出動の命を受け急遽山東に向つた

川越總領事
青島へ赴任

【吉林發】既報青島へ轉任の川越總領事は二十日着任の石射新任總領事に事務引繼を了し翌日二十四時十五分發列車にて新任地に向け在勤四ヶ年餘の吉林を出發した、出發に際し在住邦人は勿論支那側に於ても省政府各委員、各廳處長其他外交關係の大官を網羅して盛大に歡送した

南征雜錄 (15)
難波勝治

ガルヴエストン

三千噸の鐵骨を積込んだマニラ丸がモビルを拔錨したのは六日の午後一時過ぎ、爽かな南風に吹かれて下り行くモビル灣は濁り紅ながら雄大な景色である、翌一日は終日メキシコ灣の波を惱んで暮したが、午後四時五十分海上で邂逅したヘバナ丸は同じ商船會社所屬のニューヨーク航行船であつて、日本への歸途ヒウストンに寄港するとのこと、眼界を遮る物もない

雲煙漂渺 の間に船影を見るのは船旅の一であるが、殊にそれが日本船である場合の懷しさは言ふばかりもない、八日午前六時目覺むれば既にガルヴエストン灣口にあつたが、平洲邊く續く海岸を臨んで水道を徐行すること二時間、カルヴエスト港の埠頭に着いたのは午前八時ごろ、私は十時の西谷正吉君及びその母堂と上陸して市中見物に出掛けた、西谷君は神戸を根據として既に外國貿易に從事し、歐戰當時ペトログラードに出張して滯在約一ヶ年、當時未だ

弱冠の身 を以て目覺しい活動をしたさうであるが、目下南阿とブラジルとに支店を有し、大信貿易商會としてリオ・デ・ジャネロの內外人間に知られて居るが、昨年渡伯の際老後の母堂を慰むべく同伴したのであつた、私等は十時上陸して一時間半許り市中や郊外をドライヴしたが、フロリダに亞ぐ重要な商港といはれて居るに拘らず、人口未だ僅かに六萬餘のガルヴエストンには如何にも

百事草創 の感があつて、私は圖らず十餘年前の大連を思ひ起させた、併しそうした小さな市が有する港灣設備と每年取扱ふ貿易額とは驚くべき數字を示し、一千九百二十七年(昭和二年)度の輸出六億一千二百四十六萬六千餘弗輸入二千五百七十二萬余弗に上つてゐる、輸出入額に甚だしい懸隔あるは新開農業地帶の共通現象だが、ガルヴエストンの貿易史は

特に兩者 の双關的良傾向を語る者である、試みに一千九百十八年より一千九百二十八年六月に至る十年間の成績を見れば

年次	輸出額	輸入額
一九一八	一〇四、一八八、七〇〇	一五、五七七、五三三
一九一九	二九六、四二六、〇二六	一九、四三八、六八二
一九二〇	三五九、三三九、三三七	三一、〇五四、五一七
一九二一	三五〇、〇三一、九二三	二六、六六六、四〇〇
一九二二	四〇三、三三七、三七五	一九、一四三、六一〇
一九二三	四一四、四九二、〇三三	二八、〇七六、九一〇
一九二四	五四九、六三二、四六五	三三、〇三一、八六二
一九二五	七一〇、四四四、九一四	四一、五一二、六〇八
一九二六	五〇三、八一三、八九一	三二、三五二、二一八
一九二七	五〇一、八二三、八九一	三二、三五二、一二八
一九二八	六二二、四五六、七〇三	三三、七七〇、九四九

即ち合計

四十八億 四千二百五萬八千五百十五弗の輸出額に對し、輸入額は二億七千二百五十八萬六千七百十弗であつたが、最も著しい現象は前表に示すが如く歐洲戰直後の一千九百二十年度から加速度に輸出が增加した事である、之れは戰爭の爲に農業地帶の活動を鈍らせて居た者が、戰後反動にこの方面への人氣を引立たせた結果である、隨つて輸出品の重なるものは農產物であるが其種類は極めて單純且つ大量である

卽ち棉花 小麥、米、大麥、玉蜀黍、ライ麥等であるが、このうち棉花の外國輸出高は米第一位で、最近數年間は常に年額三百萬俵を下らぬ、處が歐洲戰爭前には英國とドイツとが最大需要國であつたが、今やイタリー、ベルギーム、フランス及び日本といふ順序となり、その中日本への仕向け高は年々增加し近く

百萬俵の 平均年額に達するだらうといふ、綿穀の取扱高は平均三千萬ブッセル位ゐだがそれが一昨年は五千萬ブッセルてふ巨額に上つて居るが、流石は廿六萬二千二百餘方哩てふ日本全土に匹敵するテキサス州と、之に隣接するオクラホマ州の大農業地帶とを背景とする底力を直感させられる

【ガルヴエストン埠頭に於ける穀物積込】

滿日地方版

撫順

巡警が正服で强盗を働く
通行人を專門に脅迫

堂々と巡警の正服正帽姿をして連續的に强盗を働いてゐた怪賊が廿二日正午千金寨北熙地に於て逮捕された右は遼寧省生れ現撫順瓢兒屯初春宮(三)と言ひ支那町商務會巡警をしてゐた者だが本年六月六日巡警姿で强盗を働いたかどで日本官憲に逮捕支那側に送致されたが保證金の名目で金をだしすぐ釋放されたのに味をしめその後自警團員となり强窃盗に備へる重大な任務につきながら共犯者直隷生れ孫更國(三〇)と共謀相變らず巡警の服をきて九月三日午後八時北熙地炭礦宿舍附近を通行中の大官屯居住苦力頭李建元(三)に拳銃をつきつけ巡警風を吹かし身體檢査をすると稱し金票約五十圓と品物を强奪、同月十八日午後九時大山坑停留場下で二十歳位の通行人を擁し同様金品强奪、同月二十一日午後十一時頃千金寨後新市街に於て通行中の四十歳位の男より同様方法で金品を强奪その他餘罪ある見込で目下取調中

この殘忍性を帶びた兇賊は山東省濟南府生れ李福有(三五)と云ひ共犯者同地生れ范增玉(三七)同劉某(三七)と共謀本年九月六日午後七時頃機械工場番外地雜貨員祐和員店こと鄭瑞昌方に押入りブローニング拳銃を五發亂射被害者を震へ上がらしめ金品を强奪、同月九日午後七時三十分前記二名と楊柏堡三十三號雜貨商范芝春(三)方に侵入同様拳銃を亂射金腕輪、現金等を强奪越えて十月十三日午後五時四十分東鄉神社北側路上で通行人三名に拳銃を亂射威嚇金品を强奪その他餘罪多數の見込なるもなかく〳〵犯行を自供せず係官を手古摺らしてゐる

雜貨屋に拳銃强盗
店主は負傷

二十一日午後九時十分頃直隷省生れ、現撫順萬達屋雜貨商王信恒(三)方に五人組の拳銃强盗現はれ表戸を破壞侵入せんとするので被害者は店員數名と是を防禦せんとする矢先賊彈二發飛來し店主王信恒の右腕上膊部その他に貫通銃創を負はし尚も屋内へ亂入せんとする騷ぎ出したので附近の者が折納銃器をさきつけた附近の者が騷ぎ出したので一物も得ず老虎臺採炭所方面へ逃走した

拳銃を亂射し强盗を重ねる

到る處で拳銃を亂射して金品をかすめ住民を脅かしてゐた强盗を廿一日午後五時車庫前と歡樂園との中間楊柏堡川堤に於て逮捕した、

短刀で自殺未遂
集金横領の道樂者が

過般滿鐵社員の自殺に共鳴してでもあるまいが又々二十二日午前八時邦人の自殺騷ぎがあつた、この男は本籍熊本縣八代郡上松球磨村現平康里三十七番地公議院事務所宮原誠次氏集金係前川米藏(二七)と言ひ同支那遊廓地帶に於ける宮原氏所有數十軒の貸家の家賃集金人として雇はれてゐたものであるが年に似合はず三拍子揃つた道樂者で家賃の巨額を横領費消その穴埋に窮し前記時刻自宅で刄渡三寸の短刀で左右頸部及び腹部をえぐり血まみれになつてじたばたしてゐる所を同家のボーイ買品三(三)に發見され市内天生醫院長栗牢氏の應急手當を受け撫順醫院にかつぎ込んだが目下虫の息である

は來る十一月三日の明治節をトし温泉倶樂部において盛大に開催することゝなつた規定は第一回と同樣で會費一人二圓五十錢(晝食付)本月末迄に申込まれたいと猶今回は會場の都合により五十組と制限してあるので定數に達した場合は締切前でも申込みを拒絶する由

◇

二十一日午後六時頃千代田通同義台呉服店前に於て北寧線より來奉せる劉王氏と稱する支那老婆は彼が所持せる手荷物を持つてやると甘言を以て騙取し逃走せんとしたが迅速な係官の追跡により青葉町六番地先に於て逮捕した此奴は住所不定無職張景祥(三〇)と稱し餘罪取調中

◇

市内橋立町十五番地大工伊藤某の管理に係る家屋から出火し大事に至らず消し止めたが原因は煙突の不完全、損害約十圓

◇

廿一日午後四時頃郵便局内に於て日吉町小久保寫眞館同居人王傳章に用事のある如く裝ふて近寄りポケットから財布を掏らんとして逮捕された彼は住所不定無職劉府錫(四二)と稱する强か者であると

奉天

州外柔道團體優勝旗爭覇戰
來る廿七日奉天道場で擧行

滿鐵運動會奉天支部では來る廿七日午前九時から州外柔道團體優勝旗爭覇戰を奉天道場にて擧行することになつたが出場團體は奉天以南營口瓦房店まで一組奉天以北長春まで一組安奉線一組撫順一組奉天一組の五團體で正選手七名補缺二名、出場資格は三段以下(無段者差支なきこと)で高點試合により優勝を決定する由

金融組合總會

奉天金融組合では廿一日總會を開き協議の結果春日町四番地に移轉することに原案を可決した猶事務所移轉は十一月三日頃で四日から新事務所において事務を取扱ふ豫定であると

林總領事歸奉

北滿方面を視察中の林總領事は廿六日歸奉の筈であつたが豫定を一日延ばし廿七日に歸奉する

日獨選手歸る

三國陸上競技に出場した日獨一行は多數の人に送られて廿一日午後三時半發安奉線にて歸奉についたがドイツ選手は…

觀世謠曲大會

奉天謠曲會では來る十一月三日明治節をトし奉天寺に於て左の如く觀世流秋季謠曲大會を開く由

羽衣、櫻川、玉葛、烏帽子折、熊坂、熊野、富士太鼓、鐵輪、俊寛、紅葉狩

この外仕舞として

熊野(中道たみえ)敦盛(益田おさめ)蟬丸(菅原獅子)笠の段(菅原夫人)網の段(浦部夫人)班女(堀越喜博)東北(高畦一郎)八島(永井今朝太郎)山姥(河合積太郎)花筐(荒尾文雄)藤戸(白瀨三郎)

警察家族會

奉天警察署の家族會は本年は新廳舍移廳祝賀記念に來る廿六、七の兩日新廳舍裏庭に於て盛大に開催されることゝなつたが餘興には第一、二、三號獨身宿舍領事館各宿舍總出で行…

瀋陽駄話

廿日から北陵の學良府が如何なる態度は對露問題、對西北問題について東北省政府主席各幹部等の重要會議に於て如何に決定するか各方面から非常に注目され▲曰く東北省は誠心中央を擁護する曰く對露問題は露國側が誠意を以て交渉をなさゞれば支那側はどこまでも積極的行動に出る又曰く西北問題は嚴正中立を守り西北西南の戰事にて絶對出席せずなど▲各種各樣に傳へられてゐるが結局西北問題に關しては中立を厳守し對露問題については此を思へば▲東北省政府としての腰は益々鞏固に彌々嚴正に以前と全く變つた態度を探るやうになつたのも蓋し時代の趨勢によるものである歟

人事

▲三宅關東軍參謀長 廿二日急行にて來奉
▲寺内守備隊司令官 廿二日公主嶺より來奉
▲長野縣青年團十名 廿二日鞍山へ
▲宮崎實業補習學校教員養成所生廿一名 廿三日長春へ
▲川越靑島總領事 廿二日過奉大連へ
▲横田滿鐵專務 廿一日來奉ヤマトホテル
▲鵜飼生氏(吉長鐵路局長) 廿一日夜長春へ
▲村田步兵第卅三聯隊長 廿一日夜歸奉
▲山川博士(東大教授) 廿一日安奉線にて來奉

鐵嶺

奉天鐵嶺間の送電工事進む
近く主要驛に點燈

奉天鐵嶺間の送電工事は着々と進捗して鐵道に沿える鐵柱も殆ど立ち只奉天市街附近を僅かに殘すのみ虎石臺新城子新臺子附近は既に電線架設工事に着手されてゐる程で鐵奉鐵間主要驛にも電燈の光に照まれる時が近づいてゐる

防火宣傳と放水演習
好績を示す

滿鐵居留地衞消防聯合の防火宣傳秋季演習は廿二日午前九時半より擧行され公園前にて大内署長…

中日懇談會

奉天鐵道事務所管内の鐵道事故防止中日懇談會は管内各地で催ふされるが鐵嶺では來る三十日開催と決定した

産業主任來鐵

關東廳産業主任島大四郎氏及屬水野宗之助氏は鐵嶺に於ける物價並に勞銀調査の爲め二十一日來鐵商工會議所に於て參考資料を蒐め即日離鐵した

全滿大弓大會

滿鐵運動會鐵嶺支部主催の下に來る廿七日午前十時より滿鐵クラブ射場に於て全滿の大弓競射大會を擧行すべく目下準備中で全滿各地弓道部に對し參加案內狀を發送したから參加選手も夥だしい數に達し盛會を見る事であらう

出口氏通過

大本敎の出口王仁三郎氏は從者六名と共に二十一日十七列車にて當地通過北行したるが驛頭には在鐵大本敎信者中路才助氏以下二名支那側紅萬字會員十數名出迎へ停車中は大本敎讚歌を唄つて盛なものであつた

天勝一座開演

各地に好評を博せる松旭齋天勝の一行は今二十四日鐵嶺に乘込み公會堂に出演する由一行が最も得意とせる今回の新案は五節笹の五段返し奇術象の出現切拔人形等で其他音樂舞踊寸劇等悉く目新しいもの…

安東

花競馬開催愈よ認可さる
新に命令條項が出る

安東競馬倶樂部では既報の如く規則の一部改正に就き當々協議を重ねた結果十九日改正規則に添へて花競馬開催許可願を安東署に提出した所同日午後認可された、許可と同時に安東署では競馬會に對する命令條項二十一ヶ條を附したがその中一般の心得べき事は

第七條 勝馬投票券の發賣は競馬一競走に附き一人一枚を限りとす

第九條 學生々徒、未成年者、競馬會員、開催執務委員、從事員調教手、騎手、馬丁には入場券及勝馬投票券を發賣すべからず

第十二條 勝馬投票券は之を二連切符とし一片は之を購買者に交付し他の一片は之を競馬會保存す

第十五條 勝馬投票券の發賣は當該競走に參加すべき馬の確定したる後之を開始し馬が競走の出發點を出發する前之を締切るべし

第十七條 勝馬投票券發賣後當該競走に附左の各號の一に該當する事由を生じたるときは其の投票を無効とし競馬會は券面金額を以て勝馬投票券の買戻に應ずべし、勝馬投票券に表示せられたる馬、馬場に出さるときは其の馬に對する勝馬投票券に付亦同じ

一、馬場に出でたる馬一頭のみとなりたること

二、同一所有者の馬のみが馬場に出でたる事

南京虫退治の虎石臺守備隊

虎石臺守備隊では鐵道に出沒する不逞の徒輩よりも營内に巢喰ふ南京虫の爲めに兵員の苦む事一方ならず今回徹底的に南京虫退治を行ふ事になつて兵士は二十日以來交官屯新臺子間各驛に分宿せしめ兵營内では目下全力を盡して南京虫退治中であると

詐欺犯人逮捕

既報陸軍主計中尉橋本政一と名乘り新義州に於て數ヶ所詐欺を働いて京城方面に逃走した犯人增田定藏(三)は新義州憲兵分隊より追跡せし憲兵兩名が龍山憲兵分隊とつげた

華人朝鮮へ
商工所の催し

安東商工會議所は朝博開會を利用し日本産業紹介を爲す意味にて支那人朝博觀光團を計畫し總商會並に商務會に諒解を求め贊成を得たので安東在住者支那側有力者を網羅し商議當事者引率のもとに出發する事となつたが一行は博覽會を見物して昌慶苑、秘苑、總督府廳舍等を見物する筈にて歸安は二十七日頃の豫定であると

幼稚園運動會

降雨の爲め中止となつてゐた滿鐵幼稚園の運動會は二十日午前九時半より鎭江山麓山の中央廣場に於て開かれた、此の日風は少し强かつたが惠まれたる好日和にて園兒の父兄母姉達は可愛い我が兒の競技を見んものと續々と押かけ午前十時頃には場の周圍は之等の父兄で埋まつた、競技はプログラムの順に進められ天眞らんまんたる園兒の遊戯や遂騎リレー等に何れも元氣よく三十數回の競技を無事に終了し午後三時過ぎ盛會裡に終りをつげた

兒童愛護デー

鞍山小學校では十一月三日より一週間兒童愛護デーを催すべく二十五日小學校に於て學校敎化團新聞關係者等會合し打合せ會を催す筈であるが、大體左の通りである

▲三日 創立十周年記念祝賀會、展覽會及音樂會
▲四日 東京童話界の權威者水谷…

鐵山

警察署消防隊の聯合防火宣傳
廣場では壯烈な演習

火の用心

金州

腸チブスの猖獗
傳染病棟入院患者は十五名の多數に上る

豫防注射開始

南山會の賑ひ
落成祝ひで

遼陽

奉票の現在高調査

村民の御禮

開原

戰鬪射撃演習

菊花展覽會

懇親野球大會

中學軍教檢閲

會吏朝博見物

殉職警官の奮戰物語
大石橋驛頭に出迎へた同僚巡査の美しい友情

【大石橋發】二十一日午後六時三十分頃であつた陽は暮れて間もない月はまだ山端にもかゝらぬ頃の闇夜に他山驛の寒寂を破つて時ならぬけたゝましい

銃聲が響

いて人々の心を驚かした、此れぞ澤幡巡査が四名の賊を相手に奮戰沖闘遂に貫き殉職の犠牲に殪れた記念すべき時であつた、四名の馬賊が闖入した家屋は他山驛を距る西方僅かに三四十間の處にある永興臨と號ぶ支那雜貨商である、四名の賊は各自二挺の拳銃を携へ家族を威嚇しながら片つ端から…

恐怖の餘

胸部にも

支那苦力

地方人も

澤幡巡査略歷

不在中に盗まる

蛙鳴集
奉天醫大助敎授 辻忠治

五、氣候に關する諺詩

六、中國昔の醫者

町の便り

棊盤目盛

御園クレーム
パッチリした瞳・
眞白な豊頰・
御園クレーム・
純情の輝き!
MISONO
御園白粉本舗發賣
肺病、肋膜には
眞正獺の肝
(御注意)獺肝には類似品多し
大連市榮町二
發賣本舗 佐々木洋行
火鉢各種荷揃
そばや用丼類
義太夫本滿洲發賣元
美術陶器卸・小賣
牧川洋行
大連吉野町二三
電話四四九番
安田經營
海上火災保險
滿洲總代理店
國際運輸
保險部
大連市山縣通り　電三一五一
沿線各地ノ國際運輸ハ最寄店所へ
RIUKAKUSAN
The Cough and Asthma
Good Medicine
(登錄商標)
龍角散
たんせきぜんそく
龍角散あり、形の文明に負ても名藥に負ず!
呼吸器學の原理及び臨床醫學の證明する通り、たんせきぜんそく藥は刺戟の強い鑛化藥では不可ません。藥質は軟く、爽に、而して速効のある事を理想と致します。同時に亦、肺炎、肋膜炎、肺結核への變症を防止する事が肝要とされて居ります。此點に於て我が龍角散は最も安全確實て、長年の治療成績は殆ど斯道に於ける最高標準となりつゝあります。
龍角散著効表
(一)たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
(二)ぜんそくにてゼイゼイ息切れする人
(三)せき頻りに出て夜中オチオチ眠り兼る人
(四)流行感冒より起るたんせきの人
(五)肺病にて常に力なきせき出づる人
(六)たん臭氣を帶び時々血の交る人
(七)百日せき又は痲疹せき、小兒のせき一切
(八)音聲のかれ咽喉のいたみ胸の痛みの人
(九)その他呼吸器疾患すべてのたんせきの人
全國藥店にあり
定價 四日分三十錢 八日分五十錢 十八日分一圓 四十日分二圓 六十五日分三圓
本舗 東京市神田區豐島町
藤井得三郎
振替口座東京九一番
電話浪花(圓)九二〇番 八〇五番

文藝

近郊探勝記

紅葉谷　透

秋色漸くたけなは——

◆◆

西、譚家屯裏の山から松山臺、中央公園、春日池附近にかけ東、寺兒溝後方の峰つゞきを小南山、若草山、櫻花臺につらなる大連市南方一帶の山は、大連市のみが有つ自然の一大公園である。

◆◆

だが、市民朝夕の散歩地として山上から北に全市を俯瞰し、乃至は山麓から山の姿を仰ぎ見つゝ散歩する人はあつても、更にこれらの山をどの地點からでも南に向つて越え、要塞地帶の禁止區域に立入らぬ範圍に於て、道はなくとも心にかけず、足にまかせて谷を渉り、林を分け、枯草に坐しては國木田獨歩の武藏野に所謂「四顧して傾聽し」峰によぢては思ひがけず眼下に展開するお伽噺を聯想するやうな支那人部落の物佗しい風景に、ふる里を思ひを通はしつゝ斜面を横切り、どこやらに幽かな囀り鳥の聲を聞いては又徘徊するなど、寂しくも懷しい秋の自然をゆくまゝ深深に味はひ樂しまんとする人はありや。

◆◆

秋の散策は總じて眺むるよりは聽くにふさはしく、語るよりは默想するに適する。從つてこの邊近くのそゞろ步きには、五人よりは三人、二人よりは寧ろ一人孤獨の方が、自然に對する人間の微妙なる靈機を把捉するに都合がよい。

◆◆

眺望の良否は眼の高さの二乘に比例すると云ふ公式を信じない人は、馬に乘つて見るがよいとは國木田野騎兵中尉の乘馬經驗であるが、同じ理窟で穢い石道街の支那人部落も、譚家屯の山頂から遙かに遠く俯瞰すると、さながらアラビヤンナイトの魔法の町のやうに美しく見ゆる。

◆◆

先づ路傍の背を稻妻形に切開いたやうな南山と寺兒溝の山合を、澄み渡る秋空に響く大連市の雜音を後に老虎灘の方へ杖を曳いて見給へ、野菊は左に薄は右に、山にも谷にも田圃にも、秋の野趣は至る處に滿ち溢れて、見渡す方に見返る方に、小鳥も蟲も鳴く音佗びしさうに我ら散歩子を歡迎するであらう。老虎灘に辿りついたら、序に一時間二三十錢の舢舨を奮發して秋の海の波靜かなる嶺甲灣を斜に渡つて、嶺家山莊の絕景を探勝したまへ。

◆◆

嶺家山莊は實に大連市民の氣付かぬ隱れた勝地の一つである。舢舨が老虎灘の灣に着いたら、一瞬の躊躇もなく岩山と岩山の間を分け行き給へ。二三十步も歩けば直ぐ谷一杯に入口をふさいだ池が現はれる。水は幾星霜の枯葉にさびはてゝ、時には全く枯渴することもあるが、秋雨の後などで若し滿然と水をたゝへてゐたら君の幸福である。秋草みてる山の姿が底深く水に沈んで、蒼穹を狙撃する白鷺の映る美しさ。

◆◆

秋草には少し時期が過ぎたけれど、薄、苅萱、女郎花、萩も桔梗も、秋は池の落から野菊と共に叢を交し、袖をつらねて谷一面。君は荊が裾を引いても可憐な野菊など手折らずに靜かに進みたまへ。

◆◆

斜面をなした兩側の山ふところに雅致ある姬小松林が、綠の色は幾分褪せても、所謂大連近くでは見られぬ趣きである。

◆◆

山の峽の浮世を餘所なる二三軒の支那人百姓家から、突然犬が吠へ出しても驚くことはない。乞食の子のやうな支那少年達が珍しげに近寄つて來たら、君は愛相よく笑つて彼等の頭を撫でゝやりたまへ。彼等は嬉しげに先に驅出して、行くてに高く小松林の梢越しに聳ゆる砲臺へ案內するであらう。其處に立つた時、君はその絕景に默禱するであらう。來し方の谷間の秋色は暫くおき、波穩かな渤海灣を前にして、右星ケ浦から小平島、左老虎灘一帶三山島へかけての眺望の素晴らしさ。若しこの時沖を白帆が走つて、すぐ眼下斷崖の下なる白灘に美しい女の群でも遊んでゐたら更に一入の幸福であらう。若又それが若い男女の一組であつたら、君は氣付かれぬ樣にこつそり踵を返したまへ。

◆◆

一體に大連近郊、殊に老虎灘から傅家庄邊一帶にかけての景勝は道路を離れた山や谷にある。水產試驗場裏から山越へに、光風臺附近の電車線路に出るまでの山路には、大連近くにこんな佳い處があるかと驚くやうな勝景がある。山と山との峽には支那人の寂しい村落があつて、黃葉した雜木林小松林が急斜して走る谷間には、秋草の花の露が落ち合つたやうな綺麗な小流れさへ屢々發見される。

◆◆

放牧の驢馬のあの亡國的な嘶き聲も、秋は殊に此の邊で聞くと周圍の情景に調和して、何となく詩趣がある。この邊から前に記した寺兒溝から老虎灘に通する道の中程にぬける一筋の小道が谷間をうねつてゐるが、君が唯一人孤獨の快感を味はひつゝ、ステッキ振り振りしながら此の山路を辿るならば海から谷に餌を獵りに來てゐる澤山の大千鳥が、美しい聲に鳴きたてゝ、ゆく先々の秋草の中から突然消魂ましく飛立つのに驚かされるであらう。

◆◆

處どころに荒廢した支那人の墓があつて、狹いこの谷間を世界として見窮らしい生涯に滿足して逝いた亭主の土饅頭の前に、還子の子供を連れた女房が墓まいりして、支那人一流の大業に泣いてゐる變つた光景も時たまには見受けられる。さてこの細道を北に向つて山谷の見境なく、足に委して跋涉したら、逢坂町東方附近に出るまでには、まだ／＼人々の知らぬ景勝の場所が發見されるに違ひないが、殘念なことに要塞地帶などの關係で、これ以上近くの野趣を探ることが出來ない。

◆◆

傅家庄街道、露國戰死者墓地、初音町刑務所附近、春日池市民射擊場以上四ヶ處から石道街に結ぶ各線をも、野越へ、山越へ盲目滅法に歩くと、その何れにもそれ／＼まだ人々の氣付かぬ詩趣にみちた一歩一景の景勝がある。老虎灘は俗惡で星ケ浦のバタ臭味に飽いた人は、手近に自然が秘してゐる新なる勝地を探るのも、萬更興味ないものでもない。

マダム「X」と語る

津無字曲

第三夜

——カフヱになど出入りするなんて、あなたらしくもないわ。

——おや、誰がそんな告げ口をするんです。恐れ入りましたね。

——あなたは、この間、今のカフヱには敵意をさへ感ずると仰言つたばかりじやないの。

——カフヱ業者にはね。そこに働いてゐる吾がウエイトレス諸孃にはちつとも敵意など感じませんね。

——そんなに感じの出る人がゐて？

——所が、どれもこれも九州は天草の産が多くて困るんです。昨日某邸の臺所で働いてゐた女が急に白粉にエプロン姿つて瞬が多すぎるんです。それにしてもちつとも憎んだりなどしませんよ。

——じあ、あなたは女給さんを追つ掛ける手合ではないのね。

——ところが、いつかの晩に素晴らしく感じを出してるウエイトレスを見つけたんですよ。生憎彼女は少々お婆アさんで、そのよひよつとしたら肺病じゃないかしらと思ふんです。そんな具合で、やつぱし感じの好い女を懸命に探してはゐるんです。

——そんなに感じの好い女を見たいんなら、會社のタイピストの方が手つとり早くはなくて？

——そこですよ。僕はこの頃しきりにそれを考へてるんです。協和會館のレコード、コンサアトに毎回私が出ばるのもそこを考へての事なんです。一遍來てごらんなさいな。この前なんか、街のさる喫茶店の有名な娘さんさへ來てゐて具合ですからね。

——妾の知つてる人かしら。

——名前位は聞いてる人ですよ。つまり、彼女らは一體何が爲にレコードを聞きに來るのか、僕の判斷に從へば、やはり僕と同じ樣な理由ぢやあるまいかと思ふんです。

——では協和會館のコンサアトはつまり、街を散歩して途上で出會ふのを樂しみにしてた人たちにもつと好い適當な場所を提供したのだと仰言りたいのね。

——それほどでは、ありませんがね。例の捜漢は多少、娘さんだちにはアトラクチイヴなものを感じさせる爲かも知れませんよ。少し妬けますよ。つまり、吾々は、かの捜漢をおとりにして、あの娘さんたちをおびき寄せて、ばつくり横合から喰ひつかうつてんですね。

——まあ、恐ろしい狼だこと。

——も少し僕の理想から言ふと麗かい日には、あの倶樂部の庭先でコンサアトをやるんです。吾々が時々草原に寢込んで聞いてゐる少女たちの間に割り込んで、時には青空を、時には健康な彼女たちの明るい頰を、明るい太陽のもとで見度いものだと思ひます、どうです、これなら狼ではないでせう？

——あなたは常にロマンチストなのね。

——僕がカフヱを作り度いと思ふ心もちも、そのロマンチストがさせることかも知れませんが、僕はその意味で、明るい心と朗かな笑ひとを持つた美しい少女を女給に選ぶつもりなんです。そして、お客さんよりも、僕自身が自分のカフヱで醉つて見度いんです。カフヱ漁りをしたり、タイピストを探すのに大切なお晝の散步を犧牲にしてまで協和會館に行つたりしなくても、ゆつくりと自分のカフヱで落ちつきたいんです。

——それ、そんなに惡るい夢ではないわ。その點、多少、妾がアドヴイスしても好いと思ふ事があるのよ。あなたの夢に、もつと美しい色彩をつけてあげるわ。

——どうぞ、奥さん、いつ迄もあなたは僕の好い友です。

映畫展望臺

俳優と興行價値

——淋しい秋のシーズン——

永賀見太郎

秋の映畫シーズンも漸く過ぎて行かうとしてゐるのに大連映畫街の淋しいとはどうした譯か「ザン、ライズ」一本では餘りに惠まれない秋のシーズンである「キング、オブ、キングス」が上映されたが、ファンにとつては特殊な存在である。殊にパラマウントに至つては遂に一本も上映されずに終るらしい。大日活が開館すれば多少は惠まれるかも知れないが、之も決してファンにとつては期待されないであらう。ユナイト社の特約店である福島商會はチャプリンとダグラス以外は配給せぬ事にしたものか、換言すれば興行價値の絕對的安全率のあるもの以外は手を染めぬ方針であるらしく觀られる。アラケロフ氏がブローカーする上海のプリントも秋のシーズンに入つて漸々不振となり服部氏は消極的の逃避行に出で現在僅に上るものには僅かに「ジャングル」と「炭坑」の二篇である。これは一頭殺しと西洋映畫を上映する帝國館が新たにフオックス社と契約した爲めにフイルムの捌け口を失つた事も大きな原因であらうが、も一つ見逃せないことは低級極まる大連に於けるスター、バリュウが禍をしてゐるものと考へられるのである。

▼▲

即ちヤニングスにスター、バリュウなく「ヴアリエテ」はそのエロティシズムによつて辛うじて水平線上に出たのみでありバンクロフトに及んでは內地の人氣は夢のやうである。其他クラ、ボウにせよ（但し私は彼女からイットを感じない）ジョン、バリモアにせよ大連に於ける影の薄いことは映畫業者が餘りによく知りすぎてゐる。チャプリンとロイドとダグラスを除いて誰がスターバリュウを確保してゐるか。

▼▲

バンクロフトの人氣が阪妻や長二郎を斷然壓へるとは毛頭考へてはゐないが、たゞ映畫館主に向ひその宣傳子に向ひ聲を大きくして大連のファンをしてスター、バリュウに更新せしめよと呼び度いのである。ファンの腦裡にない俳優の映畫を上映するが如きことが過去に於てなかつたであらうか、そして一興行の不成績を以てその俳優を見捨はしなかつたであらうかと反問しない。

▼▲

手近な例を以て言へば「サン、ライズ」によつて果してジャネット、ゲイナーの名前が完全に宣傳されたであらうか。ファンはたゞ「第七天國」を待つてゐるのであつてジャネット、ゲイナーの姿をスクリーンに求めてはゐないであらう。之がロイドであればファンはロイドの姿に渴望してゐるのである。今茲に大連の映畫業者に向つて餘り低きスター、バリュウと興行價値に就いて一考を煩はす次第である。

木村莊十氏主宰の月刊『響』を評す

——十月改造第一號を觀て——

横澤　宏

——（承前）——

私は此の改造第一號のなかから木村莊十氏の持つ意圖の一端を嗅ぎわけてみよう。

——權勢に阿ることなく黄金に屈せず有るが儘に曲筆せざるもの幾許ありや（卷頭言より）

——多少でも世間に奉仕する所があり、五分間でも諸君の退屈を凌ぎ得るものが出來れば滿足だ（身邊雜事より）

——新聞に書けない話、新聞が書かない話、新聞記事の結論、新聞記事の訂正（編輯局より）

この三つの氏の言葉を以て、氏が月刊「響」を構成せん抱負であるだらう、とみられる。私はそう觀ずる——そして此の三つの氏の抱負を敷衍して事實化されさた處の月刊「響」十月號をみる時、私は最初に——木村莊十氏の雜誌觀なるものに疑問を感じる。私から考へれば（具體的に目次を拾ひあげて見よう）——

▲司直の手滿鐵に及ばざるや

▲石炭電氣の値下要望

▲奸商滿洲牧場を膺懲す

等々……若し雜誌なるものが新聞の延長であり、新聞の出店であるならばいざ知らず——若し雜誌なるものが新聞と對立し、正しく存在理由があるとすれば、斯の如きは惜げなく新聞記者に與へてやるべきものではなかつたらうか。

雜誌の編輯（併せて經營）は勿論讀者のインテレストを引くことを第一義とするかも知れない。だが讀者をインテレストするものは所謂「ニュース」のみでもなければ或はまた「十戒に背けるもの」のみでもない。其處に雜誌の生きて行く途が儼然とありはしないだらうか、と私は考へる。それ故、私から見れば氏の態度は些か途を外れて居ると感ぜられる、そして其の「踏み迷える」原因となつたものは氏の身體から未だ拔けきれない「新聞人臭」の禍ひではなかつたらうかと思ふ、そして其の「新聞人臭」が誌面の隨所に或る一種の萎縮した感じをみせても居るのである（例せば「滿洲利權物語」「禁制品内輪話」の如き上乘の讀物に特に名を秘すとか〇〇町の藥屋など「首なき登場人物」を出す處新聞人の惡癖ではないであらうか——私の贊しないものである）

故に私は何者より先づ氏が斷然「新聞人臭」から脫殼し、旣に屢々繰返へされた滿洲雜誌編輯（併せて經營）上の「定石」的な處から高く飛躍するの日を待望したいのである。以上が私の月刊「響」に對する內的要求一端である。勿論、內的に或は外的に幾多の傑出せる點もあるのであるが、私は今茲に部分的批判を下すべく些か多忙であり、而も日々繁然たる現下の私である。たゞ根に横たはる疑問——雜誌のレエゾン・デートルに就いて——を釋然たれば其れで足りる。先輩木村莊十氏の御教示を待つ次第である。

敎唆、實に自から恥とする盲評を敬する先輩木村莊十氏の寛恕をひたすらに乞ふものである（完）

明暗

藤間久枝一行と共に來滿する筈であつた野口雨情氏は遂に渡滿を中止したと。誰が彼をそうさせたのか？

◇

立花高四郎氏に次いで村田實氏來る。次は牛原虚彦氏の順番。

◇

文士に續いて映畫人頻りに來る 曰く東京シネマの芹川氏、評論家岩崎昶氏、シナリオ、ライター木村千疋男氏等賑やかなことなり。

滿鐵社員が競つて社宅入りを熱望
依然として緩和されない大連の借家難と家賃高

世を擧げての緊縮風を逆に吹つ飛ばす程の勢ひで譚家屯、聖德街等西部大連方面を初め昨今大連近郊にドシ／＼建築されてゆく新築家屋三百餘棟、その大部分は住宅向貸家であるが、人口の激增はそんなことでは追ッつかず、市中借家の難は依然として緩和されない現狀である、從つて大連の家賃は市民の生活上

他の物價に比較して

著るしく高いのは事實で、多數の貸家業者の中には借家拂底の店子の足元につけ込んで土龍が下から持ち揚ぐれば蝙蝠が翅に乘せて飛んでも行きさうな貧弱なぼろ借家を、三年越し疊も替へないで、それで一疊當り三圓などいふ途方もない家賃を取立てゝゐる店子泣せかの惡家主もある始末、何分にも彼等の所有貸家の多くが申合せたやうに好況時代に高い金利の金を銀行から借出して饒倖に高い値で買收乃至建築したものだけに少々位憎まれても高い家賃で貸さぬことには金利關係からして算盤に合はぬのだから、何んのことはない借家人達は家主の擔保物件の上に

金利を背負はされて

ゐる形である、それが苦痛なら立退き明け渡せばよいやうなものゝ破障子の軒ながら星が覗かれても隙漏る冷風は骨に徹しても他に手頃の住宅がないのだから家主の横暴に悲憤の涙を振ひながらも我慢してゐなければならぬといふ次第から云つた借家難、家賃高の結果はさすがに室育ちの滿鐵社員達にも影響し、從來兎角散宿を希望してゐたものが此頃は反對に我れも我れもと競つて社宅入りを熱望し、爲めに社宅係では毎日之が應對に惱み拔いてゐる有様だといふ、目下大連丈けで社宅住まひの社員三千餘名、散宿者一千五六百名といふ處だが、有りつたけの社宅全部滿員でその

一つでも空かう

ものなら後釜狙ひが殺到して凄じい爭奪戰が起る、社宅係の私宅を訪ねてうまく渡りをつけやうとしたり電話で泣きを入れたりは先づ以て扱ひ易い方、中には若い美しい奧さんを社宅係へやつて綺麗な目から鬢玉のやうな涙の粒をぽとりぽとりと產まして哀れつぽく口說き落さうとする智慧者があるかと思ふと、血相變へて呶鳴り込んで否應云はさず社宅へ住み込まうといきまいてかゝる豪傑もあるといつたわけで、社宅係ではほと／＼持て餘してゐるとか、何にしても大連の住宅難も何とか緩和策を考へて貰はねばならぬ問題の一つであらうと

壯烈極まる海陸軍の大演習
新兵器の粹を盡して
廿五日から本舞臺

【舞鶴二十三日發電】去る廿一日日本海上に火蓋を切られた海、陸聯合演習は奇策縱横の名提督谷口大將及中村中將の率ゐる攻防艦隊に依り新兵器の粹を盡して行はれ砲聲煙幕は渦巻き日本海上を壓し夜は燈火管制の下に鼓を鳴し更に壯烈なる空中戰が行はれてゐるがいよ／＼廿五日より戰ひは本舞臺に入り我海軍の全力を擧げて凡有新兵器新戰術を以て雌雄を一擧に決することゝなつた、なほ今回の演習には我海軍始めての試みとして毒瓦斯が使用され列國の注目の的となつてゐる

智利大統領射撃さる
少年刺客に

【サンチヤゴ二十二日發電】本日午後智利大統領カルロス・イブネーツ氏が博覽會からの歸途を擁し僅か十八歳の少年が大統領の暗殺を企てた、乃ち少年はピストル三發を發射したが狙ひが外れて目的を達せず其場で逮捕された

電燈發明五十周年祭
エヂソン研究所で頗る盛に

【デアボルン二十一日發電】エヂソン翁の電燈發明五十周年記念祭は當地エヂソン研究所で盛に擧行され、フ大統領、ラヂウム研究所で有名なキユリー夫人、自動車王フオード氏等も出席して翁の偉業を稱えた、また英皇太子殿下ドイツ大統領ヒンデンブルグ氏等から祝電が寄せられた、翁は多數來賓の前に亢奮に震えつゝ五十年前電球を發明した當時の器具をもつて當時その儘の發明の過程を演じて見せ數千名の會衆から萬雷の如き拍手を受け今は亡き翁の發明の助手同伴者の功を稱え演說した

按摩の妻君鈴木翰長を訴ふ
結婚前に暴行したと

【東京廿三日發電】東京市芝區南佐久間町二の一五按摩大野七五三の妻じんは廿三日午後一時内閣書記官長鈴木富士彌氏を相手取り氏が前内閣内務省參與官たりしころ當時未婚の同女を强姦しその後合意の情交を續けるうち同女は姙娠したが、同氏は强制的に服藥せしめて墮胎に至らしめたとの告發を東京地方檢事局に提起したので金澤檢事は直ちに調査を開始した、なほ右につき當の鈴木翰長は

そんな話は以前から屢々持つて來た者があつた、然しそれは恐喝がましい態度であるから相手にしなかつた

と語つた

陸軍機
太刀洗歸着

【太刀洗二十三日發電】臺灣から太刀洗へ歸還飛行中の中村中尉操縱の四十號機は無事午後七時十八分太刀洗に到着した、尚加藤機は少し遲れて到着の模様である

警官檢閱式

【東京二十三日發電】警視廳管下七千五百名の警官檢閱式は二十三日午前九時より二重橋前廣場で行はれ丸山總監は檢閱を行つたのちマイクロフオンを通じて訓示を朗讀した

突如大西洋横斷飛行へ
米國飛行家

【ニユーヨーク二十二日發電】モンタナ州ビリングスの飛行家ユーエス、ダイテマン氏は不意にグレースハーバーより出發したが、右はロンドンに向け大西洋横斷飛行の途に上つたものと見らる

國土號桑港を出發

【サンフランシスコ廿三日發電】訪米機「勞農の國土號」は今夜當地發シエヌに向つた

鹿山遂に起訴
背任横領罪で

【東京二十三日發電】收容中の大阪畜産組合長鹿山貞次郎氏は二十三日背任横領の罪名で起訴された 氏は京電疑獄事件の鍵を握るものとして嚴重な取調を受けてゐたが 飽く迄頑張つて口を開かず其間偶々大阪競馬倶樂部の横領事件が發見されて氏の起訴となつたものである

滿蒙映畫の製作で映畫人の往來頗る旺ん
近く村田監督らを中心に座談會

◇…昨今 の滿洲映畫界は秋のシーズンに入つて擬はない映畫街と反比例して多數の全日本的に知名な映畫人を送迎して珍しい賑ひを呈してゐる、その多くは文士に次いで映畫人を招聘した滿鐵情報課の活躍であるが、先づ秋に入つて最初に來滿したのは東京映畫社の松本良二氏であつた、氏は滿鐵が請負として出した名古屋ハルビン間の陸路に於ける貨物輸送狀況の映畫製作のため沿線各地に於て

◇…撮影 をなし去る十九日のうらる丸で歸京した、その間映畫評論家でキネマ旬報の社友である岩崎昶氏が來連し滿鐵社會課の厚志で沿線各地の映畫界視察に赴き本日歸連の豫定である、また去る廿日入港のばいかる丸で日本に於ける敎育映畫製作者として有名な東京シネマの芹川正一氏が情報課の招聘で來連したのに次いで二十三日入港のはるぴん丸で日本映畫界の名監督として

◇…名聲 を博してゐる日活撮影所の村田實氏が脚本部員木村千疋男、カメラマン靑島順一郎氏と共に來連したので滿鐵社員倶樂部では映畫委員を中心に小林檢閱官其他映畫關係者を招き岩崎氏を加へて滿洲では珍しい映畫人揃ひの顔觸れで近く座談會を開く豫定だといふ、斯く多數の映畫人が一時に來滿したことは滿洲映畫界始まつて以來のことである

滿鐵が米國から購入したメリノー羊
寫眞はきのふアラビヤ丸から陸揚したところ

貔子窩沖で生捕つた海賊を押送
きのふ大連檢察局へ

過般大連水上署が遼海丸で討伐に向つた際貔子窩沖で逮捕し貔子窩署に留置取調中であつた海賊九勝こと黄鶴貴(三一)ほか八名は二十三日午後一時半、手錠、足錠を固くはめられた上、木内巡査ほか八名の警官に嚴重警護され大連檢察局に押送されて來た、右海賊等は貔子窩署で取調べたところによると小長山島の派出所を襲撃し警官を慘殺したうへ同地の富豪を片つ端より襲つて金品を掠奪する計畫中に逮捕されたものであると

人見絹枝選手
大連には來ぬ

奉天における日支親競技に出場した人見絹枝選手が來連の豫定になつてゐたので神明高女にては着々その準備を進め來連の日を心待に待つてゐたが、急用のため來連不可能となり急遽奉天から朝鮮經由にて歸國したと

鮮銀の窓口で二千圓盗む
犯人は直に逮捕さる

大連市山縣通深井商店(假名)支那人店員張廣禎(二三)は廿三日午後二時半頃主命により鮮銀大連支店に使ひに行き同行窓口に於いて行員の隙を窺ひ約二千圓程を持逃げせしが、犯行後大連警察署の大活動により午後七時頃に至り逮捕され目下嚴重取調中であるが、同人は同様手段を以て是迄數回持逃げを爲せる常習犯人を觀られて居り今明日中には餘罪續々發覺の見込であると

立教先づ勝つ
對法政一回戰

【東京二十三日發電】法立野球第一回戰は二十三日午後二時二十五分神宮球場に新田、横澤兩審判の下に法政先攻で開始、立教は三回三點、法政は四回一點を得て三アルファー對一で立教先づ一勝す、閉戰四時六分、バツテリー法政若林—藤田、立教辻—小笠原

秋季全滿弓術大會

時日　十月廿七日(日曜)自午前九時至十時半受附
場所　中央公園武德會弓術道場
方法　尺二的六射、七五三的四射　遠的四射
主催　大日本武德會大連支所
後援　滿洲日報社

獨逸選手は實に强かつた
フオームも教へらる
南部選手の感想

競技會毎に記錄を新にし、遂に走幅で七米突五六の日本新記錄を生んだ南部忠平選手を大連運動場に訪れると、滿鐵退社說を否定し乍ら東京、京城、奉天の三ケ所を通じて感じたドイツ選手の感想を語る

實際ドイツは徹頭徹尾强かつたそれに試合毎に其實力を發揮してゐたやうです、殊に感心したことは昨年來た佛蘭西人チームに比べて非常にノーブルで人格があり、どの試合でも**眞劍にやつ**てくれたことで、之れは非常に感心しました又私達としても嬉しいことでした、實際ドイツは强かつた、然しそれには體格が良かつたことも非常に影響をしてゐます、體重二十六貫の偉大漢高州君等の居る日本のスロアー連の身體を少し小さすぎると言ふ彼等ですから實際體格は立派でした、しかもそれを考へないで一部の人では獨逸が强いから何もかも獨逸に見習へと言ふ人がありますが、此れは少々贊成をしかねます、事實日本の選手は彼等に頭からフオームが惡いと言はれましたが、元來日本の選手のフオームは亞米利加に此れを見習つてゐるのです、然し獨逸はフオームを自分自身で作つてあくまで米國に對抗をしやうとしてゐます、そして勿論其處には缺點もあるのです、然し彼等はあくまでも自說を曲げず歐洲の代表國として**世界一を誇**る米國を倒すまでは決して其のフオームは改めないでせうし、事實自分のフオームが一番良いと信じてゐます、其處に缺點もありませうけれど力強いドイツの國民性を窺ひ知る事が出來るではないでせうか、又ドイツは短距離でスパイクを六本使ふが日本は四本しか使はないと言つた人もありますが、之れは日本も六本は使つてゐますから何かの考へ違ひではないでせうか、然し中距離は全然勝味がなく又フオームも大に敎へられる處がありました四百に就いて言ひますと日本は終始スプリントで走つてゐますが(腰は使はない)獨逸は初めの二百を足と腰の捻りで走り最後の二百を上體で走つてゐました又走幅ではケツヘルマンのバネの**强さには驚**ろきました長距離は完全に日本が勝ちましたし事實北本君が强かつたと思ひます、獨逸の選手が一番褒めもし驚ろいてゐたのは早稻田の西田選手の棒高で、ワイツアーは西田君は必らず今度のオリムピツク大會で世界記錄を破るに違ひないと口を極めて褒めてゐました

曳馬狂奔
自動車を蹴る

二十二日午後六時半ごろ大連寺兒溝雙盛永こと馬某かた荷馬車夫劉弈(二七)は市中から歸宅の途汐見町十一番地に差し蒐つた際、過つて荷馬車を窪地に落したので曳馬は驚き跳狂ひその側面を通りかゝつた大連タクシー運轉手藤原薫(三七)の操縱する自動車に約十圓の損害を與へた

津田兄弟洋畫展開催

津田正豐、津田正周兄弟兩氏の洋畫展が本廿四日と五日の二日間大連醫院長戸谷銀三郎氏其他の紹介で滿鐵社員倶樂部に於て開催されるゝ津田兄弟は津田青楓畫伯門下の秀才で第十五回以來二科展に續けて入選した外大禮記念、國際展、關西展等に出品してゐるが津田畫伯は「彼等二人は未來の畫壇に必ず大きな浪を描き其作品は未來に於て大畫家の若き日の記錄として尊重される日のあることを信ずる」と激賞してゐる、尚兩氏は連れ立つてフランスへ留學する筈であると

琴古流演奏會

菅井一童氏の主宰する琴古流尺八演奏會は本二十四日午後六時彌生町高等女學校講堂に於て開催されるが入場無料一般の來聽を歡迎すると當夜の演奏曲目左の如し
▲雲井獅子▲六段之調▲茶之湯▲晉頭▲新高砂▲さむしろ▲春の夜▲酒▲磯千鳥▲末之契▲浮船▲千鳥の曲▲若菜▲深山獅子▲七小町

けふのラヂオ

昭和四年十月廿四日(木曜日)
自午前十一時へ相場(特産、錢鈔株式、各地相場)
自午後〇時三十分　相場(特産、錢鈔、各地相場)　ニユース
自午後三時三十分　相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)　ニユース
自午後七時
一、ニユース
二、支那語講座　第三十課實用支那語會話　滿鐵學務課　秩父固太郎
三、宗教講座　靈魂の輝き　西本願寺　井藤義雄
四、長唄　秋の色種　北村席唄歌榮、三味線歌子
五、俚謠　安來節　北林席唄、三味線松百々
六、料理獻立
七、天氣豫報
八、ラヂオ體操

愛慾の窓（137）

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

謎（九）

檢事の言葉は、久彦を或る不思議な心理にまで陷いれた。成程、こんな忌まはしい場所へ倭文子を參考人として呼出すやうなことは、この場合愼まなければならないことだ。たとへそれが久彦自身にとつては必要であるとしても。

次にまた久彦は、檢事の訊問に應へて、倭文子と自分との間の戀愛關係の有無を明らかにすることに異常な心の苦痛を感じた。示された寫眞は、實は倭文子のものではなく、絹子といふ自分の亡き初戀人の寫眞であるといふ事實を述べることに心の痛みをおぼえたのである。むしろ彼は、示された寫眞を通して、倭文子と絹子とが同一人視されてゐることに、ほのかに歡びに似た感情を味はつた。そしてこの感情は、久彦自身をすら、倭文子と絹子とを同一人視する錯覺の上に立たしめようとするのであつた。

被告久彦は、深い沈默とともに首垂れてゐた。水を打つたやうな靜けさが、暫くの間、法廷を領した。

「……あゝ、やつぱりあの人だわ！あの晩の男だわ！」

ふと、その靜けさのうちに、美知子は自分の右隣に坐つてゐる派手な洋裝の女が、さう呟くやうに洩らしたのを耳にした。その言葉はびりびりと顫へてゐる美知子の神經にひゞいた。彼女はそつと顏を向けて、未知の女の横顏を眺めた。

女は、ひどく疲れた顏色を、目立たぬ程の化粧で糊塗した、カフヱーの女給かダンスホールの踊子か、と云つたふうに見えた。支那めいた圖樣の、黄いろい地のワンピースを身に着けてゐる。

「……あの人だわ！どう見たつてあの人だわ！」

彼女は再び嘆息のやうに呟いた。そしてぢつと久彦の顏に注いでゐた眼を伏せると、膝の上で組み合せてゐる自分の手に視線を落した。美知子に觀察されてゐることなどには、全く氣づかないやうに見えた。

するとその時、傍聽席には目に見えぬ動搖が起つた。參考人として召喚された小森英輔が出廷したからである。瀟洒としたモウニングの姿の英輔は、剃り立ての色白の顏をやゝ青ざめさせ、少し迷惑さうな表情で眉を顰らせてゐるのだつた。

型の如く參考人として宿所氏名の訊問がすみ、宣誓が行はれると、檢事は英輔に向つて被害者友永と被告草野久彦との關係を質問した。

「……私は、被告とは友人でも何でもありません！草野君は、御承知と思ひますが、東京興信所の人間です。で、友永倭文子と私との縁談に就いて、殺された友永君に依頼されたと稱して、屢々、私を訪れて、金品を強請したことがあるのです！」

意外な陳述に、被告席に在つた久彦は顏をきつと擧げて、英輔の横顏を見た。

「で、私は、友永君が果して依頼したかどうかをすら疑はしく思ひかつて友永君にそれを糺したことがある。すると友永君の答へは實に意外であつた。彼はこの草野君に對して、別に私の身許調査など依頼したおぼえはないと申しました。すなはち草野といふ人間は、友永君と古くからの知合であるのに乘じ、興信所員の地位を利用して一圖に私の結婚を妨害しようと企んだのです！何故か、これは私の口からはいふに忍びない事實でありますが、草野君は私の現在の妻倭文子と古く戀愛關係があつた仲なので、何うかして倭文子が私の許へ嫁いでくるのを妨害しようと努めたのです！この點はすでにもう調べが行屆いてゐることゝ思ひますが、この際、草野君流の興信所員は、充分懲らしめていただきたいと思ふ。私は、愛する妻の兄を殺した下手人として、草野に對しては一方ならぬ私憤をおぼえてゐることはいふまでもありませんが、同時に社會の公人として人を強請つたり脅迫したりすることを常習としてをる悪德興信所員に對して、公憤を禁じ得ないものであるんです！」

英輔の悪意に滿ちた毒々しい放言に、久彦はおぼえず唇を嚙みしめた。

滿日文藝

雜吟 「盲」 月南選

盲目と見えぬ按摩〃馴れた足 大連 新生
盲目も矢張り朝を起きて來る 〃
盲啞校不憫ながら無邪氣なり 大連 喜一
盲判廻轉椅子の忙しさ 〃
文盲の嘲りをよそに好くかせぎ 撫順 阿喜良
いゝ喉で盲不自由なく暫し 〃
盲縞四十の坂へ手がとどき 金州 素綠
盲目と思ひぬ指の感のよさ 〃
つめ腹を切るとは知らぬ盲判 旅順 柳月
支那盲蛇味線彈いて人を寄せ 瀋陽 登美坊
盲獸馬力いつぱい生きてゐる 〃
盲目になれず理性のふかむ秋 旅順 亞鳳
盲人の挨拶兩手もてあまし 大連 滿山
盲判上から順に押し下げる 〃
盲愛は海鼠のやうに育て上げ 〃

新刊紹介

▲大衆（十一月號） 瓦斯鬪爭の戰線ゴーリキーの「モスクワ印象記」其他大衆諸物多數あり（定價金二十五錢、東京市芝公園十號の四、大衆社發行）
▲子供の友（十一月號） 子供たちには一番ためになる面白い繪本（定價金二十五錢、東京雜司ケ谷上り屋敷婦人之友社發行）
▲大陸（十月號） 森氏の「露支紛爭の前途」「官吏と滿鐵社員の給料値下を斷行せよ」松岡前滿鐵副總裁の「日支經濟提携の根本義」及新關東長官と新滿鐵總裁に對する在滿同胞〃聲〃其他面白い讀物が多い（定價金五十錢、大連市西公園町三三五大陸社發行）
▲實業公論（十月號） 關西號（定價金二十五錢、東京市牛込區矢來町一 實業公論社發行）
▲東海卓球界（十月號） 定價金四十五錢、名古屋市中區南大津町二丁目、名古屋卓球協會發行）
▲みづがき（十月號） 定價金四十錢、甲府市櫻町三ノ八朝日館書店内みづがき社發行
▲矛盾（十月號） 定價金十錢、東京市小石川區林町四三矛盾社發行
▲實業青年（十月號） 定價二十錢 東京市麴町區平河町六ノ二四實業青年修養會發行

一寸見は地味だが儲けはタップリ

笸棒に積立金してセッセと稼ぐ 埠頭の水上行商人連

大連は港だ滿蒙の玄關口だ、從つて港をバックにした數々の商賣が營まれ日每夜每激しい商戰に火花を散らしてゐる、ブルウファンネル一隻着けばその荷役の後始末だけでも二三千圓ゴロリと儲かるこんなぬれ手に粟式の勇ましいあきなひもあれば組合への加入金五十圓を取り返すまで二三ヶ月を要するデッキパッセンヂャー相手の菓子、餅子、飴を商ふ露天商もある、いづれも一樣に船相手の商賣に變りはない◇特產積取りの船が赤腹を出して入港する、スルと蝗の樣に柚飯が同船目指して群集ふ、食糧雜貨を賣込み、靴を修繕し、或ひは洗濯物の註文取りに血眼な水上行商人達である、だがこの方は國際都市の面目上水上署の方で取締り餘りに亂雜になる事を防止してゐる、元來これ等の人達によつて組織されてゐる水上商組合は艀船用達部と水上行商部に分れ二百三十一名の會員を有し車夫收容組合に次ぐ多人數の組合で、積立金一萬六千餘圓が常備されてゐるといふ頗るガッチリしたものだ、肥後組合長はこの積立金がある事は船にモーターがある樣なもので組合機能を働かすうへに大きな力になつてゐる◇この船相手の商ひのうち、珍しいものを數へれば、ボイラーの掃除、オイルタンクの修繕等々々…勞力を供給するもの、ダンネージ即ち荷積材料商、洗布專門、藥品の買入れ等どれも着々利益をあげてゐる、なほ最も多いのが食糧雜貨で商人は外國人七名、支那人九十二名、しかして國民政府の統制改正で一番好い目を見たのが大連の水上商だといふんだから何が幸ひになるか分らぬと何商にかぎらずホクホクもの、恐らく支那沿岸貿易港中最も割が好いといはれ外國煙草なども今日では大連が最も安いといふ◇東洋一を誇り滿洲前衛の俗謠に『大連埠頭を見てごらん』と歌はれる港を背景に力闘する水上商人よ『うんと儲けてくれ』

今度は大連へ明後日飛來する

太刀洗の豫備機が

【東京二十三日發電】目下太刀洗にある陸軍の臺灣飛行豫備機二臺は飛行成功により不要となるのでうち一臺を以て太刀洗、大連飛行をなすに決しいよいよ二十五日野田大尉、嶋田中尉操縱し早朝太刀洗發一千キロの海を越え大連に到着歸路は二十七日大連より所澤まで千八百キロを一氣に翔飛して歸還する豫定であると

渡臺の陸軍機

けさ歸還の途につく

【所澤二十三日發電】所澤臺灣屏東間の歸還飛行は二十三日午前決行された、一番機齋藤中尉操縱加藤大尉同乘機は六時五十五分、二番機中村中尉操縱、花澤大尉同乘機は七時いづれも屏東飛行場を出發一氣に太刀洗に向つた

家を飛出した十六の娘 親から取押の願

撫順東三番町富士山宇一長女さち子(一六)は廿一日現金九十圓を持ち家出したが、內地に行く形跡があるからと廿二日水上署宛親元から取押へ方願出た

飛んだ行商人

市內土佐町二四水上行商人隋官鼓(二〇)寺內通り一七同姜忠祥(二〇)の兩名は二十二日午前十二時ごろ第二埠頭二十番バース繫留中の第二十一共同丸にて行商中、乘客に毆打され懷中時計を强奪されたと訴へ出たので水上署員が現場に赴き取調べたところ右は眞赤な僞りで實は兩名は乾魚を行商中同船の客某が値切つて買はんとしたが生憎所持金不足で後刻買ふといつたところ、隋等は怒つて右某を散々毆打したので居合せた乘客等が見兼ねて隋等を毆打した爲め前記の如き虛僞の訴へをしたこと判明、二十三日水上署に呼出され油を絞られたうへ兩名とも營業を取消された

風呂田氏葬儀 廿五日署葬で

廿一日殉職した小崗子署巡査部長風呂田武三氏の葬儀は來る廿五日午後二時より小崗子署出棺若草山西本願寺において署葬にて執行すると

米國から珍客 蒙古羊改良に

滿鐵がメリノー羊購入

廿三日午後一時大連埠頭に商船のアラビア丸で遙かにアメリカから珍客が參りました◇これは滿鐵の公主嶺農事試驗場で土着種蒙古羊を改良するため支配する北米ワイオミング、ユタ地方の優良メリノー羊三百十頭で陸揚げの後直に公主嶺に送られる筈ですが、先月の廿六日シャートルを積出されて以來殆ど一ケ月間船底で燕麥や乾草を喰べて來たのです◇滿鐵の着手してゐる蒙古羊の改良計畫はその規模の大なる點に於て世界にも稀なものでその第一期試驗を終るのに二十年を要すると稱せられ世界のエキスパートが注目してゐる大實驗だそうです◇滿洲でも漸次改良事業の成功により濠洲羊毛に劣らぬ優良な羊毛が生產される樣になり勸業公司邊りでは千住製絨所へ滿蒙產改良羊毛を供給するまでになりました◇國民衣服資源の上からも蒙古羊の改良種の普及は大問題ですが、滿鐵では更に蒙古牛を食肉牛として改良するため同じく北米からショートホルン種牛約四十頭をも取寄せる計畫でこれは來月中旬ごろ大連に着く筈です

岡部平太氏の夫人 ダイヤ指環盜まる

星ヶ浦水明莊滿鐵社員岡部平太氏夫人フテ(三二)さんは廿三日午前八時ごろ沙河口驛構內自働電話室內においてダイヤ入指環、腕時計、勸業債券入枚現金一圓七十錢(合計時價約五百圓)を何者にか竊取され沙河口署へ屆出でた

自動車またも人力車と衝突

二十二日午前九時五分ごろ大連浪速町と大山通りの十字路に於て若狹町六一第一タクシー運轉手竹田直行の自動車と若狹町車夫合宿所內車夫張長龍の人力車が衝突し人力車は車體を破損して約六圓の損害を負はされた

七千圓の首飾り

賣りに赴泥の使ひドロン 張宗昌氏第十二夫人の痛事

市外星ヶ浦黑石礁に佗住まひの張宗昌氏第十二夫人盛氏(二七)は最近家計の窮迫から自己所有の首飾り(眞珠入り時價七千圓)一組を上海方面にて賣却せんと約二ヶ月前張氏腹心の部下李某をして上海に向はしめたところ、その後杳として消息なきため盛氏は更に李某の搜査のため去る十八日出帆の大連丸にて部下を上海に派遣したと

大連油房聯合會の石炭の過斤をゴマかす

使用支那人の不正事件表面化 委員連善後策を協議

當地油房業は疏安に壓迫され內地輸出も思はしくなく近來稀に見る不況のどん底に陷り、如何にしてこの不況を打開するかにつき苦心してゐたところ、圖らずも大連油房聯合會の運炭部の一支那使用人が石炭の過斤をごまかす等の種々不正事件を働き現在判明しただけでも約一萬圓の不正を働き借家を建て給料の少ないのに似合はず豪奢な生活をしてゐたこと判明、油房聯合會では善後策を種々協議し今廿三日も早朝より理事室に委員參集し帳簿の檢査を行つた、右につき某消息通は

この問題は最近起つた問題ではなく二三年前から繼續してゐた問題である、この支那人が不正を働いてゐたことは判然と判つてゐたのですが、今日まで首も馘られずに使用されてゐたことは

不思議です、この問題は一支那人のみの問題でなく相當な人まで及びはしないだらうかと思ひます

數百名の車夫電車を襲擊

電車賃値上げ要求容られず 凄慘の氣滿つ北平

【北平二十二日發電】當地車夫工會員一萬餘名は生活問題から電車會社に對し電車賃値上げを要求して容れられなかつた爲め今夕から數千名の車夫等は手に手に獲物を携へ進行中の電車を襲擊して一氣に數百臺の電車を滅茶々々に破壞し去つたが、夜に入つて暴徒の一隊は電車會社に押掛け破壞しつゝありこれがため全市の交通は全く杜絶し無警察狀態に陷り凄慘の氣に充たされてゐる

遂に全市へ戒嚴令

【北平廿二日發電】車夫の電車襲擊猛烈なるため廿二日午後十時全市に戒嚴令布かれ二百餘名檢擧されたが市內電車は一臺も餘さず破壞された

顚覆したヤマトホテルの連絡バス

十三名を乘せたヤマトホテルバス顚覆す

紅葉町で衝突を避けんと急カーヴ 數名負傷者を出す

廿三日午前十時十五分ごろ市內兒玉町四小林幸佐久(二六)の運轉するヤマトホテルの大連、星ヶ浦ホテル間連絡バス第四六○號が來客十三名(外人十二名、日本一名)を乘せて星ヶ浦から大連に向ふ途中市內紅葉町一番地慈惠病院前カーブにおいて沙河口方面に向ふ電車を避けながら紅葉町派出所前に差し掛つたところ、西公園より更に進行して來た自動車を避けんとして左に急カーヴを切つた爲めその反動で電車線路橫において顚覆し乘客は重なりあつてその下敷となり、數名は窓硝子の破片等にて負傷したので直ちに大連醫院に收容し應急手當を施したが、小崗子署からは猪股、柴田兩主任現場に急行實地檢證を行ふと共に各關係者を本署に引致して目下取調中

他山驛前で賊彈に斃れた澤幡巡查部長とその遺族

お馴染みの村田監督ら來連

けさのはるびん丸で 滿洲ロケーションの下檢分に

日活撮影監督村田實、同脚本部員木村千疋男、同撮影技師青島順一郎氏等の一行は滿鐵情報課の招聘に依り滿洲におけるロケーション下檢分のため二十三日入港のはるぴん丸にて來連した、村田監督は語る

從來滿洲を背景とした映畫は可成りありますが皆ほんとうの滿洲を現したものは無い、私どもは此度脚本家、撮影技師と共に各地を檢分してよく滿洲の實狀を取り入れたものを作りたいと思ひます、撮影にとりかゝるのは私どもが一旦歸つて一行を引連れて來てからのことで時日は滿鐵側と交渉のうへ決定致します

【寫眞右から本村千疋男、村田實、青島順一郎の三氏】

鮮人元巡捕が無錢遊興

朝鮮新義州古城面麻田洞生れ當時住所不定無職金志鎬(三二)は二十二日午後九時三十分ごろ大連越後町二支那料理店福興樓に至り八十五錢分の支那料理を無錢飲食しその筋に突き出されたが、同人は大正十三年十一月關東廳巡捕を拜命し同十四年一月旅順署勤務となり更に同年六月安東署に轉勤、翌十五年四月阿片およびモルヒネ、繼續の橫領罪に懲戒免職のうへ懲役六ケ月二年間執行猶豫となり、本年一月又復詐欺罪で擧げられ懲役六月に處せられ服役後十月九日出獄したもので餘罪あるらしく目下大連署で取調中

粉曳用や荷馬車用の馬を追つ拂ふ

◇文化村の老虎灘街道から

文化住宅地とされてゐる大連老虎灘街道には相當の設備をして收容してゐる乘用、馬車用の馬匹以外に何等の設備なく飼養してゐる粉曳用や荷馬車用の馬匹尠くなく、その數百五十頭に上り公衆衛生上遺憾に堪へないのみか甚だしく風致を害するので大連署では近くこれを他へ追拂ふ事になつてゐるがこれが爲め馬と共に轉住せねばならぬ者のため二十三日午後一時から民政署で大連署の大津衛生、原田保安兩主任も出席し種々打合す處があつた

石炭を喰ふ榊丸 他の航路に廻す

新造船の竣工と共に

大汽においては航路改良、所有船舶の改善に鋭意努力を續けてゐるが、今回上海定期航路に就航せしむべく奉天丸、大連丸同型の姉妹船を建造する事となり既にデザインを終り長崎の三菱造船所に依囑建造中にて來年八月より就航を見る筈である、噸數は奉天丸同樣三千九百七十五噸、內部の構造には更に改良を加へると、なほ現在上海航路就航中の榊丸は僚船奉天、大連に比較して石炭を喰ひ不經濟であるといはれてゐるが、新造船の就航後は天津、青島、上海三角航路もしくは上海、香港航路に當てるといふ、因に新造船は長春丸と命名されるらしい

金州街道の辻强盜 三人組へ判決

金州街道に出沒し前後六回に亘り辻强盜を働いた當時住所不定無職の孫雲亮(二一)同郝春榮(二一)同于洪賢(二一)の三人に對し大連地方法院では二十三日午前十時懲役各六年の判決を言ひ渡した

これも辻强盜

周水子附近の畑中に於て前後四回に亘り通行人を脅して金品を强奪した辻强盜當時住所不定無職の牛貴富(三一)は廿三日午前十時半大連地方法院に於て懲役六年の判決を言渡された

集金橫領店員

大連紀伊町三一洋服裁縫業佐久間誠かたに外交員として傭はれ注文取および集金に從事中、この七月五日より八月二十五日まで滿鐵本社員本村某ほか二十名から現金三百三十八圓八十錢を集金して橫領したほか他より修繕を依賴された洋服や外套を入質してカフェーで費消した前科二犯植田穗積(二一)は廿三日午前十一時大連地方法院で公判の結果小田判官より懲役二年の判決を言ひ渡された

東支と滿鐵 連絡輸送打合せ

運轉、車輛等について研究 けふから哈爾賓で

東鐵管理局にては既報の如く特産大豆及小麥の運賃を引下げ一般商人の利益を圖り南行輸送に關し極力運轉能率の増進を考へて居るが南滿聯絡輸送が果して圓滑に行はれるかどうかに就き東鐵側より滿鐵側に特産聯絡輸送に關する專門的の研究をしてはと提案ありこれにより廿二日滿鐵事務所から石原運輸課長と福井主任が管理局を訪問し下相談をなしたが滿鐵本社鐵道部からは專門の技術者が廿三日頃來哈し東鐵側運轉、車輛課等と打合せ協議を遂げることになつた現在のところでは寛城子長春聯絡が問題であるが滿鐵側としては東鐵の輸送する數量だけは充分南行聯絡せしめる自信を有してゐると

土地家屋等の賣買減切り減る

銀安と時候の關係で 郊外の地價二、三割下落

市内外の高級住宅及び郊外の住宅地區は一時南方動亂のため支那大官や富豪が避難し來り、値段の如何を問はず借入れ又は買收した爲めに、貸家拂底となり高級住宅の如きは殆んど支那人によつて獨占されたかの觀あり、郊外住宅地も亦未曾有の騰貴を呼んでゐたが、昨今、これ等避難者がバツタリ停つて寧ろ再び南方へ引揚げる者すらあり、かたがた銀の暴落に支那人筋の購買力著しく減退したのと冬季に向ひ建築不可能の關係ト郊外の地價は最近二、三割下落し目下のところ全く賣買が行はれぬ模樣である、一方正隆、滿銀、鮮銀及び東拓では所有家屋の處分がつかぬので、家賃の揚高によつて利廻りを有利に導くべく考慮してゐるが、現在銀行所有の家屋の利廻りは七分程度で、決して不利ではないから、景氣回復を待つて處分すべき方針にあるらしく、從つて市中の家屋相場は地價に反して變動がないと云はれてゐる

ダリ銀債權 整理は困難

主要帳簿を持去らる

既報の如くダリバンクの債權事務を引繼いだドイツ東方擴張及金融銀行は同國總領事の命令で突如閉鎖したが、支那側は飽くまで行政長官の布告を楯に保管委員の手にて整理すべく十九日ダリバンクから押收した帳簿及びダリバンク引揚げ後回收した金額其他に關しポクレベツスキー以下行員立會のドにモストワ街銀行公會の樓上に於て一切の整理をし全部支那側保管委員會に引渡しめたが、其の結果ダリバンクの支那官商民側に對する債權百四十萬圓餘（内二割は回收濟）は支那保管委員の手に移つた、ドイツ借款銀行が突然自發的に閉鎖したことは勿論ダリバンクの整理不可能になつたことが直接の原因であるが、又無法な支那官憲が行政長官の布告を無視し違反したとの理由で何時家宅搜査をされるか判らぬので其の豫防線を張る爲に先手をうつたのであつた、然しダリバンク職務整理に殘つた行員等は支那側の命令に服從して書類を全部提示したが既に貸付金回收に必要な原簿はヘルツ總裁が歸國する時政府に報告のため持ち歸つたので假令支那側保管委員會が整理しやう

商船遂に折れる

支那人荷主側の要求通りに 貨物損失に對し辯償

從來上海向滿洲特産物輸送の際大阪商船では袋物其の他の破損によりて生ずる損失に對しては辨償金を支拂はなかつたため支那側荷主は之を不都合だとして商船への積込みを拒絶してゐた、商船側としては荷造りの事情より生づる損失は荷主の負擔に歸すべきもので船會社の責任にあらずとしてゐたが支那人荷主は假令、僅か一部分の損失でも當然運送するものが負擔すべきであると不積同盟を組織して頑強に拒むので、やむなく商船側では種々考慮の結果、大汽に於てもやむを得ず此の辨償金を負擔してゐるので、辨償金負擔を承諾することゝなり此の程上海向の荷物を漸くにして輸送することゝなつた、但し支那荷主が急に商船の船舶を利用したのは時局紛糾の結果支那船が徴發を恐れて上海行きを避けたるため支那荷主自體が困惑したものであらうと

經濟雜叢

採算とれぬ 果樹園經營

販賣方法の研究不足 市場測量の話（一）

今年は林檎が非常に安い、昨年の半値位だ、こう言つても實際一般消費者はそれ程安く供給を受けてゐないかも知れない、しかし生産者は昨年の半値或はそれ以下で賣つてゐる、これが市中で昨年の値に小賣されてゐないのは中間人に利益を壟斷されてゐるからだ、これでは生産者は立つ瀬がない、道樂に農園を經營してゐる者は兎も角、多少でも採算的に經營してゐる者にとつては考ゆべき事だ。

◇

そこで大連近郊の果樹園經營者は近く會合してこれが對策を講究するそうであるが、これは大連ばかりの問題でない、州内はもとより沿線に亘り最近果樹園の發達は目覺ましいものがある、州内における農園經營は最初金持のお道樂的に着手されたのであるが、その後州内における邦人にとつて最も有望なる事業の一つとして關東廳の獎勵により、これが事業的に經營されることになつた。

◇

現在では果樹園經營者は大連管内だけでも百六名、其他州内及び沿線百五十名の多數にのぼつてゐる。これは主として林檎の栽培であるが、年々林檎は増産の率が高まつてゐるので數年後には關東州内は林檎の洪水を招來するだらうとさへ言はれてゐる、こうした狀勢にあるのに今から生産者が採算がとれないやうでは困つたものである、今年林檎が安かつたことは一般の不景氣とか銀安の關係にもよるが、生産者が採算がとれないといふのは外に原因がある。それは林檎を造ることばかりに氣を取られて販賣の研究が出來てゐないからである。

◇

即ち市場において林檎はどんな風に販賣されてゐるか、州内の消費力はどの位であるか、如何にすればより良く消費者の要求に應じ得るか、價格はどの程度が好いか新販路はないか等の研究が足りないから、折角立派な林檎を造つても、多くは問屋或は中間商人に利益を壟斷され、採算がとれなくなる。

◇

一體これは單に關東州内の果樹園經營のみに止まらず、世界中の人間が兎角物を作る事のみに氣を取られてゐて、物を賣る方の研究がおろそかになつてゐるのは疑ひのない事實である。全て生産組織の發達に併行して販賣組織や販賣技術も亦合理化されねばならぬ。

◇

合理化とは細く分裂してゐるものが合同して大きくなる事である、そして大きくなつたものが整然と組織化され、その大組織が科學的統制に從つて能率的に働く事である。

◇

そこに行くとアメリカ等は今日の繁榮を來した丈けに其方面の研究が行屆いてゐる。物を造ることが化學的に研究されてゐると同樣に賣ることも又專門的技術者により科學的研究が行はれてゐる。第一に市場の調査、或は市場測量といふことに力を入れられてゐるがこれは果樹園經營者のみならず全ての生産業者、或は一般商人に對しても必要なことであるから少しくこれを説明してみよう。

奉天の特産 綿糸布界

九月中の狀況

九月中に於ける奉天の綿糸布界は月初米棉高を傳へたが第二回米棉公表發表待と對外輸出商談不振とに産地は氣迷ひ保合、當市場は依然地方實需なく之に加ふるに銀入月決濟期を前にして決濟に急にして金融逼迫先物には買氣なく新規商談は全然見送られ、且つ銀暴落を入れて先行不安ありて警戒され殆ど商内を見ず相場不勢、節句明け市場は猶地方實需拗き不振三品安銀價安等の惡材料に包圍され問屋筋の嫌氣を増し手持の賣拔けに新規商内殆どなく市況沈衰相場も投物潜みにヂリ安を辿つた、九月中綿糸布相場は左の如し

	最高値	最安値
綿糸銀月	二三三、〇〇	二二六、〇〇
細布軍人	九、四五	九、一〇
粗布一牛頭	七、七〇	七、五〇
大尺布象冠	二、七八	二、七〇

更に奉天驛發着數量は左の如くである

品種	到着	發送
綿糸	一、三三八梱	八、三九梱
綿布	四、七五六	二、七七六

次に特産物は黃大豆は未だ新穀出廻り期に入らざるも白眉大豆は十日頃より弗々新豪子、奉天附近に出廻りを見るに至り、月末積七圓見當にて定り物の手合あり、月半ばの如し（單位百斤）

	最高値	最安値
混保大豆	五、四五	五、二五
白眉大豆（新）	七、五〇	六、九〇
粟	五、九〇	五、七〇
大麻子（新）	八、〇〇	七、六五
高粱	五、四五	五、一〇

尚奉天驛發到着數は左の如し

品名	到着	發送
大豆	三車	四車
粟		三八車
大麻子	四車	四車

東京筋の入注に七圓五十錢に鼎騰したが大勢は出廻り増、先安氣配に七圓十錢と下押したるも大連筋は實物多く之等は奉天方面出廻り少なきと營口河豆の下流馬賊騷擾による舟止めに豫想の出廻りなき結果思惑外れ崩れ買向ひの爲め七圓三十錢迄ル騰、手當一巡後月末は七圓十錢に軟化越月した、新民府大麻子の出廻りあつたが內地不勢に警戒見送られた特産相場は左の如し（單位百斤）

現大洋票の上場

奉天取引所で計畫 總會で正式に決定

奉天地方に於ける最近の日支取引は奉票の低下により殆んど大洋建となりつゝあるので奉天取引所でも奉票取引に鑑み豫て現大洋票上場を計畫中であつたが同所では來る二十五日臨時總會を開き該建議案につき具體的方法を決定することゝなつたと

來月早々 國債發行

五千萬圓乃至七千萬圓

【東京廿三日發電】政府は十二月の國債利子諸事業費其他支拂のため來月早々日銀割引賣出しの方法で通貨收縮を兼ね國內債券を發行する筈、發行額五千萬圓乃至七千萬圓期限三月利率日歩一錢見當

經濟往來

◇減俸ぢやない増俸　減俸案が出で全國の官吏が大騷ぎを演じて居るのを尻目にかけて岡山市役所では庶務、產業兩課を始め給仕に至るまで百二十一名に對して増給を行つた、守屋市長曰く「此際皮肉に聞えるが豫ての計畫を行つたまでだ」と一同拍手喝采

◇銀底三錢の株　兵庫縣出石郡高橋村久畑小學校では全兒童三百五十名に金三錢を一株として株式組織をなし全校生徒の學用品供給に便益を與へる事となつたがそれから生ずる利益金は年一回株主たる兒童に配當すると

◇世界一の海底隧道　關門海峽のトンネル工事は鐵道省の大井上技師の設計になるが月末から東京で開催される萬國工業會議に出席の爲め來朝中のドイツの鐵道技師連はその完全なる設計に感服し「關門海峽の如き急潮流と船舶の輻輳地に於て斯る工事は未だ世界にないこのトンネル完成の曉は世界のトンネル學者に多大の參考資料を與へるだらう」と云つて居る

伊太利レーヨン 東洋への輸出

支那が最大顧客（上）

本年上半期に於けるイタリーのレーヨン輸出額は非常な増加を示してゐる

	數量（キログラム）	金額（千リラ）
上半期	九、三四一、三三〇	二三九、四四四
昨年同	六、八六三、三五六	二六六、三四一
一昨年同	七、四三三、二三一	二〇六、六六一

東洋へ輸出著増

右表で見ると本年上半期のイタリーレーヨン輸出數量は昨年同期よりも三割五分の激増となつてゐる、これは東洋諸國への輸出が目覺ましく増した結果で、東洋諸國への輸出増加率は次ぎの如くになつてゐる

支那	二倍
日本	十二倍
インド	五割増
蘭領東インド	五倍
シャム	二倍半

これで見ると支那に對する輸出は日本や蘭領東インド向の輸出のやうに増加してゐないが、右は割合であつて、實際の數量から云へば本年は昨年よりも百七十萬キログラムも激増して居る、即ち支那がイタリーレーヨンの最大市場となつてゐるのである、次がインドの三十四萬七千キログラム増である

ドイツへは漸減

ヨーロッパ諸國への輸出もフランスを初めポルトガル、ユーゴスラビア向け等が著るしく増加してゐる、ドイツへの輸出も今年の上半期は去年の上半期に比べると増加してゐる、然し去年の下半期の數字に比べると勘い、今年の下半期には一段と減少を示すものと豫期される

蔬菜果實の輸出組合

組織を計畫す

關東州内の蔬菜及果實は近年著しく發達し、本年の收穫は昨年に比し倍加の豐作であつたが未だ販路の確立を見ずして寧ろ生産過剩の狀態にあり、加ふるに銀安のため生産者は何れも困憊し上海方面に販路を求むべく努力してゐるが採算上これも望み薄く、今日の如く市價協調も圖らず自由競爭にまかせて置く時は、自然消滅の外なしといふので、さきに當業者會合しこれが對策及び將來の發展策を協議したが、その結果市價協調と販路擴張を目的とする輸出組合を創置するに決定し、目下五名の委員によつて具體案を作成中であると

吉林省の小麥 麥粉輸送

【ハルビン廿二日發電】吉林省にては小麥、麥粉の輸送について從來は一縣から他縣へ送ることも許されてをらなかつたが、今回各縣内への運搬は許可することになつた

吉海瀋海兩鐵道の電線連絡

【吉林發】吉海、瀋海兩鐵道の客貨連絡が來る十一月十日から實施することゝなり目下準備中であるが、尚吉海鐵路局では客貨連絡に從つて電線の連絡も缺くべからざるものであると去る十九日瀋海電務員を奉天に派遣した

三井信託配當据置

【東京二十三日發電】三井信託は來月二十八日重役會議を開き配當率を決定するが、前期同樣五分一厘五毛据置となる模樣である

三井支店長事務

三井物産大連支店長代理貫虎孟太郎氏哈爾賓出張所長轉任に決したので之が後任として同支店石炭支部長代理室岡孫次郎氏受渡掛主任中澤尚次郎兩氏の兼任となり二十四日引續ぐことゝなつた

高橋正隆專務

朝鮮博見物を兼ね京城、仁川地方の商工業ならびに產業情況視察のため來る廿七日赴鮮十一月十日頃歸連の豫定であると

奉天紡紗廠借款

奉天紡紗廠では新棉購入のため官銀號より奉大洋一千萬元の借款が成立し條件は六個月據附利率月八分で去る十九日全額の貸渡しを受け紡紗廠では目下各處に人員を派遣し新棉購入に着手してゐる

黄塵

◇…節約官僚の裏を行き街では醫文拂藏ざらひ、ストーブの大競爭で大童だ。

◇…減俸令撤回でサラリーマンは大安心これから大に働くそうだ。

◇…官營奉天取引所では新大洋票を上場しグレシアムの法則を逆に行き惡貨を驅逐して大いに儲けるそうである。

◇…金解禁近しの聲には驚かずどうにかなる主義の錢鈔畑でも現物取引改善で市場振興策に腐心中。

◇…豆粕以外は總じ大繁昌、不景氣風は埠頭には吹かないと高くとまつてゐる豆信も往年關組合長の横車でオジヤンになつた包米再上場に頭をヒネツテ居るそうだ。

◇…霜降として秋は暮れ、戀い多が來る。働け、働け。

市況

特産 材料添はず 無味平調

一般に材料添はず無味平調大引であつた、現物大豆は油坊三十車豐年、三菱、松本、廣源太、瓜谷、建成で四十車豆粕は日清、瓜谷、建成で二千枚今日の油坊生産高は三萬六千枚操業工場は十六軒

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込）	六八五	六八五
大豆（裸物）	六五六〇	六五六〇
出來高	七十車	
普通大豆（出來不申）		
豆粕	二一九五	二一九〇
出來高	二千箱	
豆油	一九一五	一九一五
出來高	千箱	
高粱	四四五〇	四四五〇
出來高	三車	
包米（出來不申）		

株式 内地株强含み 當市變らず

今朝北濱諸株は小堅く東京も强氣配を入れたが不氣乘の當市は依然氣配變らず五品新豆錢鈔共閑散裡の釘付商狀であつた現物の大新は一圓高新東六十錢高鐘新七十錢高出來高定期二百三十枚現物三百六十枚

錢鈔 標金安で鈔票軟り

豆

頃日來逹したる材料もなく一般に無味平調を呈せる氣先今朝も依然新材料表はれず平凡な場面であつた▲大豆は軟弱氣配に推移せる所昨夕場小戻しを見せたが今朝は又出廻り増加及び三井の約六十車賣りで軟調▲出廻りも漸増し今朝約二百六十四車の多數に及んでゐる▲歐洲の買氣も特筆する程はなく又內地の買氣は一般の態であるし又北滿貨物二百五十萬噸が盡く南行するらしいので目先き一段と安値を示すだらうと見られてゐる▲高粱も目先き新材料が表はれそうにもないので出廻りが順當に行けばやはり弱氣配を示すだらうと▲油坊聯合會では既報の某事件で每日種々議論をめぐらしてゐる▲かゝる不祥事は一時も早く解決し現今の不況打開に躍進せんことを望む

銀

倫敦銀塊は廿二片十六分の十五と同事、紐育は八分の一高、孟買は十六分の一高▲爲替は日米十六分の一高米日同事を入れ上海標金は減俸問題撤回確定と日本の在外正貨増加し金解禁準備進歩の報で昨後場は軟り商狀を辿つてゐたが▲今朝は滿支軍對峙形勢惡化の報で弱く廿一兩三と寄り廿一兩臺を低迷したので地場鈔票は小戻を見せた▲時局は徐源泉寢返りの爲許州陷落し尚中央軍は鄭州を距る十支里の地點迄壓迫されて居り鐵道一部不通の報もあり▲人氣惡るいが▲反面日米軟り銀塊底意弱の材料で標金は突張り合であるが時局懸念の方が濃厚であるだけ目先底意軟り模樣であると觀測されてゐる

奥地市況（廿三日前場）

上海爲替情報

爲替相場（廿三日正午）

市場電報

銀塊及爲替

棉花

大阪株式

東京株式

大阪期米

東京期米

神戸豆粕

横濱生糸

印度麻袋

平安異香 (148)

葉多默太郎作
中一彌畫

髑髏の革袋(二)

あつといふ間もなかつた。
まさかと思ふ事を女面の小太郎はやつたのである。
鐵の環を締めたまゝの手が地に轉がつて、ピク〳〵指の動くのを見るまでは、誰しも鎖に喰ひこむ刄の音を豫期して、山盗の無邪氣な意地張りを嘲笑つてゐたのだつた。
だからすつかり氣を呑まれて、誰も聲を出すものがなく、一種不氣味な沈默が、しんと皆んなを抱き竦めた。
そして——
「ホ、、、、、」
と唐突にその沈默を破つたのはいふまでもなくお館の方の嬌笑だつた。
「面白い男、小氣味のよい奴、ホ、、、、見事に鎖が斬れたなう。自ら暇をとらす、自まゝに行きやれ」
「チツ女狐め!——」
きつと唇を嚙んで小太郎、腕の斬り口の血を押へて見返りもせず行つてしまつた。
捕吏の目の前で盗賊を解放したのである。源八郎は最大の侮辱を感じないわけにはゆかない。ゐたゝまらず、
「御免を蒙る」
つと立つと、
「お待ち——」
お館の方の聲だつた。
そして相模を簾の中へ呼びこんで何か云ひつけたらしい樣子だつた。
相模は出て來て、
「源八郎殿、上へ——との仰せぢや。そなたに内談なさりたい事があるとの御樣子」
といふ。
相手は淨海入道の息女であり長官の奥方だ。拒むわけにはゆかない。
「承知仕る」
と足を擦つて簀子に膝行すると
「こちへ」
といふ。

で廂をくゞると、お館の方は既に几帳の蔭へ入つてゐる。そして几帳越しの話である。人拂ひをしたので侍女はいふまでもなく、侍女頭の相模さへも、何故か次室へ下げられてゐた。
「源八郎、そちは確か獨身であつたな。妻女もなく子もなく……」
「——さやう、天涯孤獨の境涯でござります」
「身輕でよい。何時お役職を離れようと、何處へ行つて暮さうと自まゝぢやな」
「……………」
「人は進退の時期を考へねばならぬ。進退を過つては後の世の名も如何たものぢや」
「御方樣は——御用向は何でござります」
「性急な——まあ妾のいふことをお聞き。この春、大物の浦で大悲山の山盗冷泉夢之助を捕へんじてより、そちの高名は地に墜ちたと聞く。なんぼ源八郎が秦の司馬懿でも、大悲山の夢之助の方が一段と上ぢや——といふてゐるさうぢや。それに東山の邸へ現はれた怪しの男もまだに捕れないばかりかその素性さへも探れないのが、またそちの聲價を低くしてゐる。使廳でも鬼や角いふてゐるさうぢやが、市井でもそちを神ぢや鬼ぢやと思ふてゐたつけに、すつかりそちに失望をして、惡口をいふもの
さへあるさうぢや。そこへ又昨夜のこともある。使廳の思惑世の取沙汰はどうあらう。第いそちにはよう分る筈——」
「……………」
「他意ばない。そちの高名のすたれるを惜んでいふのぢや。辱しめるのなんのと思ふては慨ぢやよ」
「伺ひまするが、どうせいと仰有るのでござります?」
「慾食なもの言ひぢやな——黒住源八郎の名をいやしいものにしたくないので、只今のうちにお役職を退いてはどうかと思ふのぢやが
妾が勸める上からは、捕吏を止めても餘世の立ちゆくやうにいろいろと心遣ひはしてあるのぢや。地持になるなと公卿の執事になるなと……」
「重々恐れ入ります。二、三日考いたしまして——」

安奉線八景 愈々撮影される

【奉天發】奉天鐵道事務所で豫て計畫してゐる安奉線八景の宣傳活動寫眞は一兩日中東京シネマ撮影班が奉天に行くのを機會に同會社に依嘱して撮影すべく目下交渉中で實現されるものと觀られる

映畫界東西

小石、杉山、月形のトリオが擇尾の傑作と意氣込みで製作中の「白野辨十郎」は一カットだにゆるがせにせず監督以下共演者一同寢食を忘れて撮影中であつたが、愈々ラストの修道院の作りで完成の運びに至つた

◇

東亞キネマ時代劇部へ今回市川壽三郎といふ新スターが入社した今後同社ではスターとして賣出すといふ

噂話

滿鐵音樂會秋季演奏會は二十七日であるが▲一寸目先きが變つて居る樣で、倚考へさせられるのがマンドリン合奏幻想曲合唱附と稱するもの▲映畫屋片桐さん、最近貴金屬商に商賣變して毎晩活動街を廻つてゐる▲岩崎氏を始めとして芹川氏、本日來連の村田氏一行等、映畫人に惠まれた映畫界▲此の際座談會でも開いて滿洲映畫界に貢獻する所ありたいもの▲入營中の帝國館松葉君最近に歸館するが▲どうも兵隊さんにめぐまれたのが帝國館で▲宣傳部の原君が十一月に入營の爲歸國する

◇◇愛の風景◇◇

オー、ヘンリー作「最後の一幕」より山本嘉次郎が脚色し、田阪具隆監督、入江たか子、南部章三主演の日活現代劇、二十三日より浪速館に於て上映

明治卅八年十月二十五日 第三種郵便物認可

滿洲日報

本大系は燦として輝く全日本の姿

改造社版

日本地理大系

改造社版日本地理大系は國家的意識と民族的理想の下に最近地理學の原理に則つて編纂した我が日本の傳統的美と鬱勃新興の生命を表現せんため先づ優秀なる寫眞として其の美的生命を捉へ之に附するに專門學者の解説を以て地理的現象として解析し更に權威ある編輯委員の手に依り之を綜合編纂した。勿論國家的權威と民族的使命の重大なるを知るが故に茲に最善を盡して未曾有の完備せる寫眞班を組織し且つ全學界を動員して之が記述を依囑したが此の劃期的企畫は先づ全國中等學校地理歷史科教員協議會員代表百餘氏の推薦するところとなり更に全國各學校より殺倒的申込を受けた。我等は努力の酬いられたるを深く謝すると共に茲に全力を盡して此國家的事業の大成を盟ふ。

第一回配本（第七卷）
近畿地方　近日配本

十月二日、五日に亘つて擧行された伊勢神宮式年遷宮は國を擧げての大祭である。此の二十年一度の機會に際し記念のため第一回配本「近畿篇」卷頭には古式に據る內宮御遷宮式圖（紙面用二頁大、特刷原色版）を掲げ、三重縣の部には特に一般撮影を禁止されし得難き神宮の寫眞（御手洗、浮流、皇大神宮一ノ鳥居、皇大神宮正殿及東西寶殿、同正面、登受大神宮正殿、同正面、內宮御田植、外宮御田植式、神宮御鹽田、二見ケ浦御鹽製造場等）十數葉を掲載し加ふるに內務省考證課長、文學博士宮地直一、造神宮技師大江新太郎、神宮皇學館教授佐藤虎雄氏の正確詳細なる解説を付し、寫眞、解説、印刷共に斷じて他の追隨を許さない。國民思想涵養のため各學校は勿論各家庭に必ず備へられよ。

第一回配本に限り分賣

絢爛たる裝幀

高雅なる卵白色特製クロースに船來鞣皮を用ひ眞紅の旭日に黄金の輪光を現はしたる表紙に櫻花の見隅を配し祖國日本を象徴せる裝幀は將に我出版界空前の美觀である。本大系が我が麗しの日本を如何に國民的衿持と周到なる科學的用意を以て取扱つてゐるかは此の裝幀に依つても知れる。—全國書店にて實物見本を見られよ—

航空寫眞班の特設

近代地理學の原則に則り全卷二千五百の航空寫眞を滿載す。陸海軍各新聞社航空班の援助は勿論だが特に航空寫眞班を新設し全領土を空中より撮影する。我航空界の權威御國飛行學校長伊藤酉夫氏を班長に、一等操縱士熊川良太郎氏を主任操縱士、二等操縱士藤田武明氏を豫備操縱士とし三菱式RI—2型「改造號」を主機にアブロ式504K型を補助機とする改造社航空班は東京市外立川を根據地として活躍する。此の國家的事業の爲め江湖の援助をお願ひする。

特典

會員には一人殘らず本社が斯界の權威者に委囑作製せる掛抽用

新日本大地圖　贈呈

全十五卷　一冊 貳圓八拾錢　申込金不要

內容見本進呈

東京芝區愛宕下町
振替東京八四〇二
電話芝(43)二一二一・二一二二・二一二三・二一二四

改造社

此壓倒的團體申込を見よ!!　第一回發表

[illegible]

末弘嚴太郎博士責任編輯

申込の殺到是れ何を語るか?

大學に學ばずして最高最新の法律知識が得られる、獨學で文官試驗の受驗準備が十分にできる。日常發生する諸問題に對して即座に明快な斷案が下される。同僚會談の際、上長より諮問を受けた時、言下に明答を與へ得る、是れ本全集讀者の强味!

活きた法律の生命を說く

末弘博士「發刊の趣旨」の一節

無論民衆の爲めにする講義は民衆に向つて引き下げられた講義であつてはならない。民衆を引上げるこそ正に吾々の任務でなければならない。其意味に於て「現代法學全集」は大學の講義そのものである。吾吾は聊かたりとも程度を引下げず又調子を下すことをしてゐない。唯從來多數の法律書が無用の形式に充ちてゐたのに對して吾々は活きた法律の生命を說かうとするのである。現代の最も進步した法律知識を最も活々した而も最も理解し易き形式に於て說かうとするのである。

豫約募集　申込金不要　內容見本進呈

一冊一圓　全廿五卷

日本評論社

東京丸の內昭和ビル　振替東京一一六　電話丸の內(23)自四一三一至四一三三

其意味に於て吾々は、先づ第一に憲法・行政法・民法・商法・刑法・訴訟法等主要法典に關する講義を現に諸大學に於て其等の科目を擔當しつゝある最も權威ある諸教授に委囑した。第二に又此等以外の諸法に關する講義を、それぞれ專門の最も權威ある學者にお願ひした。第三に、從來の法律講義錄等が徒に法律の形式的知識を秩序なく又精神なく與へ得るに過ぎないと云ふ缺點に鑑み、吾々は教科書的形式に捉はるゝことなく讀者をして自ら法律の活きた生命と精神とを體得せしむる目的を以て例へば牧野博士の「法律講話」穗積博士の「判例小話」の如きものを本計畫中に加へることにした。

受驗の秘訣

第一卷穗積重遠博士「法學入門」の一節

こゝらで一つ受驗の秘訣を傳授しやう。御誂の通り受驗の秘訣が即ち研究學習の秘訣だからである。しかし秘訣なるものは多くの場合聞いて見ると他愛もないものである。或水泳の名人が決して溺れぬ秘訣を傳授しやうと云ふ。どうぞ願ひますと頼むと、脚を出させて、膝の下に墨で横に線を引き「これより深い所へはいるな」と云つたとか。受驗秘訣も先づそんなものかも知れない。受驗の秘訣は今日は何の試驗だと云ふことを知ることである。何だ馬鹿馬鹿しい、そんな事なら誰でも知つてる。今日は債權法の試驗とチャンと時間割にも出て居るではないか、と云ふだらう。所が大間違ひ。そんなことだからいけない。今日は債權法の試驗ではない、民法の試驗である。イヤ民法の試驗ではない、法律の試驗なのである。民法を知らなくて債權法の問題に答へることが出來たらうか。法律其ものを知らなくては、民法の試驗に合格覺束ない。（以下略）

立證された法科大學の開放!!

一ヶ月以内に哈爾賓占領の提議
勞露執行委員會で可決
極東軍司令官に命令下る

【ロンドン廿二日發電】モーニングポスト紙シリガ通信員よりの情報に依れば、最近共産黨中央執行委會幹事長スターリン氏司會の下に行はれた會議で東支線及哈爾賓を一ヶ月以内に占領すべしとの提議を可決し、勞農露國極東軍司令官ブムルーヘル將軍に命令が發せられたと

最高軍事會議で對露持久戰の覺悟
軍費捻出に借款三千萬元を起す
官號銀に準備中

【奉天特電二十三日發】東北軍の軍費は既に二千萬元に達し露支間なほ持久戰となるべく軍費捻出に苦心し東北最高軍事會にて軍費問題を討議の結果、各省にて借款を起し、これに中央に送る殘餘金を加へ、なほ不足のときは省庫より保證することゝなり目下官銀號で準備中、右につき一説によれば張學良氏は二十二日各軍ご機關、各銀行首腦者を招集し對露軍費捻出問題につき左の如く決定したと

各銀行より省庫に擔保として一千萬元づつを借款し用軍鈔票三千萬元を發行して對露持久軍費に備へること

保境安民で押通す
東北省の態度を決定

張學良氏は廿一日午後六時より長官公署に張作相、湯玉麟氏ら最高軍事會議を召集、南方時局に對する東北省の態度につき協議した結果、張作相氏の主張により東北政府に飽くまで保境安民で押通すことに決定した、而して國民政府に對しては體裁上、東北省政府各將領連名にて中央政府の後援として盡力すべく打電したと

伯林の露支交渉
支那側は中止に決定

ベルリンにおける露支交渉は依然として露國側の態度強硬にして何らの進展を見ること能はざるため國民政府はこの上の交渉を中止することに決定、今日までの交渉經過および交渉中止に至るまでの顛末を公表すべく既に外交部において、その宣言の起草を終了したるを以て近く發表すべしと

行詰つた露支紛糾
支那側平和解決を希望

【ハルビン】邊境守備のため吉、黑は第二として、遼寧省からは東北軍を東支沿線に増派して來たので出兵のため三省は約四百萬元を既に濫費したと稱してゐる、出兵は自給自足の方法を講じてゐるが防寒具の準備に増給その他のために、それぐらゐの軍費は勿論、消費した處が露支現狀は容易に平和的解決の氣運に到達しさうもなく双方ともに小鬪を繰返しただけに仕末が悪い、ソウエート側は支那内訌のため東北四省が單獨に露支正式會議を提議し折れて出て來るだらうと豫期してゐるが、現在の東北四省としてはたとひその希望はあつても南京政府は簡單に片づけない政府としては反蔣運動が遂に不成功に終るものと考へてゐるからソウエートの豫感にピッタリ合致しない、張學良氏としても中央政府の運命がいづれかに決定するまでは矢張り單獨的に露支交渉を開催する意思は有してをらぬものと見られソウエートの支那内亂利用政策は先づ當分の間は見込ないものであらう但しソウエートが積極的に出れば問題は別である、從つて東北四省主席會議は今のところ開催されぬであらうといはれゐる

白系避難民
ハイラルに殺到

【ハルビン廿二日發電】三河地方に於ける勞農パルチザンのために被害を蒙つた白系農民は既にハイラルに五百名以上避難して來てゐる、毎日多數の團體が家財道具を捨て着のみ着のまゝで逃げて來る光景は慘澹たるもので、米國副領事リリエンストロム氏の報告によつても其の牛面が窺はれるが、結氷期までには約一萬五千の避難者が殺到するであらうとみられてゐる、

警察費の天引から内務省が大狼狽
省議で復活を要求

【東京廿三日發電】減俸案撤回の結果、明年度既定經費節約はいよいよ峻嚴となり各省の復活要求は殆ど認められぬ模様であるが内務省では警察費に大削減を加へられ東京、大阪警察連帶支辨金において百七十五萬圓の減額となつてゐるので強硬にその復活を大藏省に交渉してゐるが若し復活不可能となれば遂に人員整理の已むなきに至るべく中央、地方の警察界は非常な不安に陷つてゐる特高警察費は査定のままでは本省保安課を縮小し各府縣特高課員を減員せねばならず、かくては思想警察の機能を發揮し難く内務省側は絶對に普通天引標準十一割五分以上の減額を肯ぜずとして居り二十三日この善後策につき内務省議を開き右の方針により復活要求をなすことに決定した

民政黨總務會
減俸案撤回是認
申合二項を首相に進言

【東京二十二日發電】民政黨の定例總務會は二十二日午後二時本部で開會減俸問題につき富田幹事長より、藤澤總務より詳細經過を述べ、本日の閣議終了後藤澤、富田、牧山等の諸氏は濱口首相に召致され正式諒解を求められた旨を報告あり、次で諸氏より各方面の情報を交換し減俸問題につき協議の結果、政府が減俸案の取り止めをなせるは非常な英斷で總務會は之れを是認するも結局左の申合せをなし四時散會した

一、義務教育費國庫負擔金増額の件は減俸案取り止めに關係なく明年度豫算に必ず計上すべきを政府に交渉する事

二、政府は今後重要問題につきては必ず與黨幹部と事前に協議する樣藤澤總務富田幹事長より政府に進言する事

依つて兩氏は右申し合せに基き直ちに官邸に濱口首相を訪ひ右の旨を進言し善後策につき協議した

中島秘書官を政友會が告發
拳銃發射事件

【東京廿二日發電】政友會官紀濫用調査特別委員會は廿二日午後開會されたが、濱口首相秘書官代議士中島彌團次氏の首相官邸に於ける拳銃發射事件は綱紀紊亂の甚だしきものとして、同黨代議士立川太郎氏の名を以て直に東京地方裁判所に告發した

減俸案撤回に就いて

政府の非常な決心は最早當にならぬ
森政友會幹事長談

【東京二十二日發電】政友會森幹事長の談

現内閣は始め脱兎の如く終りは處女の如く減俸案を扱つた、國運打開、經濟の根本的立て直しを標榜し死を以て當ると迄云つた政府の行爲として之れで濟むかどうか、尠くとも

一、濱口内閣の常套語たる非常な決心で臨むと云ふ樣な主張は最早や當てにならぬ

二、政府が良く云ふ範を國民に示す事は之れからも出來る、即ち官僚政務官が俸給を國庫に返還して範を垂れたらどうか

三、世論の趨に據つたと云ふ事は實は現政府は世論の實際を見ると

政府攻撃の反響は不明
松岡均平男談

【東京廿二日發電】公正會松岡均平男の談

政府の責任論は當然反對黨側から起らうが、然し其の攻撃が國民に果して受けるかどうかは判らぬ

よい新例
湯淺倉平氏談

【東京二十二日發電】同成會湯淺倉平氏談

政府が公明率直に撤回したのは良い新例である、既に非を認めて政府が撤回した以上餘り追窮する樣な事はあるまい

關東廳官吏は漸く一安心
減俸令取消の電報で

關東廳では去る十五日拓務大臣よりの減俸令に關する電報通牒があつたので直に之に關する調査等を遂げるし一方所屬官吏一同は大恐慌を覺てゐたが、二十二日に至り拓相及び太田長官より右案は同日の閣議に於て撤回となりたる旨正式に通牒取消しの電報があつた官吏連は檢事團其他の反對運動政府の撤回説等に心中大なる期待を注ぎつゝも尚心配してゐたが右の通牒で全く安堵の胸をなで下した明がなかつた事を示す、而も世論と云ふが安達内相の話では地方農村中には官吏の俸給減額を希望してゐる事は明かである、從つて撤回の理由は官吏の反對的團結にあつた爲である

四、井上藏相は物價低落を理由とすと辯したが遂に政府の官吏に其の嘘であつた事を激へられた國政の大機に在る濱口内閣は今少し眞面目に眞劍に考慮する必要がある

二百五十萬噸の北滿貨物盡く南へ
大部分は冬期三ヶ月間に殺到
長春驛では轉手古舞

【長春特電二十二日發】露支紛爭の結果北滿貨物は盡く南行し多期の繁忙期が近づくに連れて長春驛積替の連絡貨物は日一日と増加し二十一日には三百十八車といふ最高數量を示し連絡ホームは苦力八百人を以て作業してゐるが本年は

東行杜絶と

いふ特殊の事情があるので北滿の貨物二百五十萬噸約一萬車が盡く長春驛に仕向けられ其の大部分は十一、十二一月の三月間に殺到するので長春驛では總動員の準備をしてゐるが尚廿一日森田驛長は趙東鐵聯絡驛長と會見聯絡事務上の打合せをなした、滿鐵の多期繁忙期に於ける對策を聽くに滿鐵は全力を長春驛に注ぎ作業苦力の千五百人を用意し南行し來る貨物を直ちに積卸す準備をしてゐるが、萬一露支問題の進展に連れて北滿貨物が

一時に殺到

し輸送しきれない場合は新田野球グラウンドトラックに臨時引込線を敷設し此處に野積する計畫で、是に備へる爲枕木十萬本アンペラ二十萬枚を用意するに決した

北滿特産南下激増
時局の影響で

滿鐵々道部の北滿特産輸送狀況は上旬一日平均百二十二車、中旬同百四十五車で二十一日からの輸送は二十一日百八十九車、二十二日二百八十四車、二十三日三百九十車で本月の輸送貨物は前年度同月と比較して約二倍半といふ激増ぶりであるこれは時局の關係上、東支東部沿線の貨物が一齊東行を閉鎖されて南下すること及び北滿特産の出廻り期が例年より早いことと大豆の相場が好轉してること逐年需要増にある歐洲における植物油が極度に不足を告げてゐること等がその主要原因として見られてゐる、なほ社線内を見ると上旬四萬二千九百三十六トン、中旬五萬四百九十四トン、下旬七萬五千トン（豫想）即ち十月中に十六萬八千四百三十トンを輸送しようと努力してゐるが二十二日の社線への貨物總特込數は六萬七千五十トンその車數二千百十九車は本年度におけるレコードであつた

日本全權の通過と米國との協定説
一般には信ぜられない

【ワシントン廿二日發電】ロンドン海軍會議に日本全權はアメリカ經由渡英の際、アメリカ首腦部と諸問題につき協議すると見られてゐるが何ら取纏まつた協定を見るに至るまいと、また潜水艇全廢につき英米の意見一致したとはいへアメリカをして今後の行動を約束せしむることは出來ぬと

佛内閣失敗原因
賠償金問題の祟り
ブ氏はロンドン會議に出席せず

【パリ廿二日發電】ブリアン内閣の敗北は全く突然のことであつたが右はラインランド撤兵には贊成なるもヘーグ賠償會議協定に反對を表明してゐた左翼各派に右翼各派が提携を畫したによるもので海軍々縮會議に關する是否も若干原因となつてゐる模樣である、ブリアン氏は形勢挽回のため演説を試みたが成績よくなく氏はヘーグ會議でフランスのとつた政策方針についての賠償協定最終調印の終るまでは語らぬと沈默を續けた、氏が自己の所管事項より辭職するに至つたのは、これが最初で氏の外相再任は疑はしい、後任は未だ判明せぬがブリアン氏は辭職した上はロンドンの軍縮會議には自ら出馬せぬ模樣である

靖國神社祭
勅使を御差遣

【東京二十三日發電】二十三日は靖國神社例祭につき天皇陛下におかせられては午前九時勅使として掌典小出英延子を神前に御差遣あらせられた

製鋼所
委員會は二十五日開催

昭和製鋼所、滿鐵總裁の更迭によつて再考といふことになり現に調査委員會を特設し研究を進めることになつてゐるが、二十六日には仙石總裁も着任するといふので二十五日には該委員會を招集し調査を重ぬる上に一應、その結果を總裁に報告し、なほ調査會を進め廠地などは何れとも決定するまでに研究は進められず、製鋼所そのものの利害得失を調査中にありといふ

製鋼所
小委員會開催
二十四日續開

二十三日午前九時半より總裁室にて開催された昭和製鋼所小委員會（委員長神藤理事）は正午で一旦打切り二十四日さらに續開することゝなつた、總裁着任までには小委員會だけは結了するものと見られてゐる

駐獨大使を召還
館員の怠慢を憤慨し

【ローマ二十二日發電】イタリー政府は駐獨大使マレスコッチ伯ならびに大使館員に召還命令を發したが右はイタリーの電報秘密暗號が大使館より盜み出されたにつきムッソリニー氏が館員の怠慢を憤慨した結果であると傳へらる、なほ後任は現駐トルコ大使ルーカ・オルシニ・バロニ氏の筈

二十六日着任後の滿鐵總裁
沿線巡視は見合せか

仙石滿鐵總裁はいよいよ二十六日うらる丸にて着任することゝなつたが着任後の總裁の豫定はうらる丸より上陸、直ちに總裁用自動車にて滿鐵本社に入り總裁應接室において各重役の挨拶を受けた後、協和會館で社員に着任挨拶と訓示とを行ひ再び總裁應接室において各課所長ならびに滿鐵の關係會社々長專務らと面接し二十七日は日曜で休養、二十八日は社内の巡視を行ふ模樣である、昭和五年度の滿鐵豫算、昭和製鋼所の調査委員會報告その他の事務報告は二十八日以後に行はれることにならうとなほ沿線巡視については目下豫定にはないが病後のことであるから多分見合せになりはせぬかと見られてゐる、因に總裁の着任招宴等は一切斷る方針だとのことである

滿鮮の思想調査
思想檢事が出張して

【東京二十三日發電】東京控訴院思想檢事棚町丈四郎、司法省刑事局思想主任池田克兩氏は二十六日午後八時東京發三週間の豫定で滿鮮方面に思想狀態調査に赴くと

滿鐵の産業助成
獨自の立場から考察

滿鐵は明年度においても本年度同樣の産業助成金を計上し滿蒙の經濟的開發に努力することになつてゐるが、坊間ややもすれば右の資金を關東廳に委任し支出するならんなどと傳ふるものあるも右の如きことは全然の虚報として滿鐵としては關東廳の意見を尊重するとかまたは各地方商工會議所等の意見を徴するやうなことは必要とするも各機關の整備と相まつて助成の目的を達成すべく攻究されつゝあるものゝ如くである

樺太疑獄の大檢擧
近く着手か

【東京二十二日發電】樺太山林疑獄事件につき地元の犯罪捜査を行つてゐた樺太廳警察部土屋司法主任は、證據を握つたものゝ如く二十一日入京捜査の結果を縣長官に報告した、縣長官は二十二日午後二時半松田拓相を拓務省に訪ひ大塚警保局長の來省を求めて約一時間に亙り密議を凝らしたが、此の結果愈々某元樺太廳高官を始め關係者の大檢擧に着手する模樣である

臨經報告
委員長より副總裁聽取

大平滿鐵副總裁は二十三日午後三時より臨時經濟調査委員會委員長石川鐵雄氏を副總裁室に招致し同四時まで二時間に亙つて事務報告を聽取するところがあつた

吉林法定利率
月二分四厘に

【吉林】吉林省政府はこのほど國民政府から一般貸借利率は月二分を越ゆることを得ざる旨通令に接したが、同政府では本省ト特殊の情勢にあり、かつ金融恐慌の折柄、直ちに國府規定の利率を適用することは不可能であるとし財政廳に命じて考究の結果、月息二分四厘を擬定し第五十六回省府委員會に提り討議の結果これ

肇縣榮陽間で小衝突

【鄭州二十二日發電】政府軍の前線は鞏縣、榮陽間にあり前月來小衝突あるも主力の衝突に至らず、目下鄭州は唐生智指揮の第五路軍五ヶ師團で固め内部の變化なき限り安全である、今朝政府軍の飛行機は孫良誠軍洛陽の本營に爆彈を投下した

武道會の定期試驗

大日本武德會本部の定期試驗は弓道十一月十、十一日、劍道、柔道十三、十四日京都武德殿に於て執行の筈であるが希望者は弓道七日其他十日迄受驗の請求をすべしと

小倉子爵逝去

【東京廿二日發電】陸軍大佐貴族院議員子爵小倉英季氏は豫て病氣療養中のところ廿二日午前六時五十分大久保の自邸にて逝去した

專門學校檢定試驗

關東廳の第八回專門學校入學者檢定試驗は左記の通り旅順、大連、奉天の三地に於て施行さるゝことゝなつたが、受驗者は來月十日まで規則に依る願書を提出すべしと尚開始時刻は毎日午前十時からとなつてゐる

△十一月廿五日英、修△廿六日歴、化△廿七日國、漢、博△廿八日數△廿九日物、圖△卅日地體（以上男子）△廿五日國、修△廿六日歴、家△廿七日裁△廿八日數△廿九日理、地△三十日體（以上女子）

衞研學術集談會

滿鐵衞生研究所第二十四回學術集談會は二十五日午後一時から開催されるが、當日の演題は

猩紅熱血清效力檢定法に就て（安藤洪次氏）漢藥店に用ひらるゝ漢藥の名稱に就て（島田源太郎氏）翁草に含有さるゝ強心性有效成分に就て（兒玉得三氏、後藤良輔氏）「發疹チフス」の實驗的研究▲「發疹チフス」感染モルモット」の臨床的及び病理學的診斷の標識（兒玉誠氏、高橋三郎氏）▲「發疹チフス」感染モルモット」の白血球像の變化（河野通男氏）發疹チフス病毒の濾過性に關する研究（星崎相陽氏）

辭令

【東京二十三日發電】
關東廳遞信事記　松本鴻三郎
同　清水楠次郎
任東廳遞信副事務官（六等）各通

人事

▲山西恒郎氏（撫順炭坑所長）二十二日二十二時三十分着の列車にて奉天より來連ヤマトホテル
▲中川増藏氏（吉長鐵道滿鐵派遣員）同上

安樂椅子

世は緊縮節約で緊縮たる秋となり柳暗花明の巷は多少寂れたといふが近頃、流行のカッフェーなどは大繁昌だ▲紅い灯、青い灯に吸ひ込まれて行くのは若いモガ、モボだけと思つら、それは大違い▲ある秋の一夜、市内某カフェーをのぞいたら若い女給を對手に盛んにジャズ氣分を味はつてゐる老頭兒紳士連があつた▲顏觸れをみれば佐藤至誠、神成季吉君らのお歷々▲お歷んなことですなと冷かせばイヤ時節柄お茶屋行きを節約し時勢のテンポに歩調を合せてカフェーにしましたとは苦るしい辯解▲これが大阪でなくて仕合せだつたよといふものである。

特産

定期後場（銀建）

▲大豆（低落）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	六七六〇	六七八〇	六七二〇	六七二〇
十一月末	六七二〇	六七二〇	六七〇〇	六六八〇
十二月末	六八〇〇	六八一〇	六七八〇	六六八〇
一月末	六八〇〇	六八〇〇	六六八〇	六六八〇
二月末	六八一〇	六八二〇	六八〇〇	六八〇〇

出來高 百四十九車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	二三七〇	二三七〇	二三七〇	二三七〇
十二月限	二三八五	二三八五	二三八〇	二三八〇
一月限	二三六〇	二三六〇	二三五〇	二三五〇
二月限	二三〇〇	二三〇〇	二三〇〇	二三〇〇

出來高 四千枚

▲豆油（軟調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一六七五	一六八五	一六七五	一六七五
一月限	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇
二月限	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇

出來高 四千五百箱

▲高粱（強調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	四三三〇	四三三〇	四三三〇	四三三〇
十一月末	四一五〇	四一七〇	四一五〇	四一六〇
十二月末	四〇八〇	四〇八〇	四〇八〇	四〇八〇
一月末	四〇六〇	四〇六〇	四〇六〇	四〇六〇
二月末	四〇九〇	四一〇〇	四〇九〇	四一一〇

出來高 四十三車

▲包米　出來不申

現物後場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込）六八一〇		六八〇〇

大豆（裸物）出來高 二十車
普通大豆 出來不申
豆粕 二一九〇 二一八〇 出來高 一萬一千枚
豆油 出來不申
高粱 出來不申
包米 出來不申

錢鈔

定期後場（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
近期	八三五	八三九	八三二	八三〇
遠期	八三九五	八三九五	八三九五	八三九五

出來高（期近七十九萬圓、遠期百二十四萬圓）

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	一二八五		一四一三
二時半	一二八五		一四一三
三時半	一二八〇		一四一五

出來高（銀對金、銀對洋）四千圓

商品

後場

●麻袋（保合）
銘柄 約定期 値段 枚數
鐵筋延 十月末 三四六 二〇
出來高 二萬枚
●綿糸布（保合）
◇定期
銘柄 約定期 値段 梱數
綿助 二月限 二〇〇五 一〇
出來高 十梱
麥粉 出來不申

神戸特産（廿三日）

大豆現物 七一〇
大豆先物 六一〇
豆粕現物 二一〇
豆粕先物 二一七〇
滿洲小麥 四二〇
豆油現物 六三〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	一七〇〇	一七二〇
鐘紡	六二八〇	六二八〇
鐘紡新	二四五〇	二四六〇
日糖	一〇六〇	一〇六五
郵船	不申	六七〇
東新	五九五〇	六〇〇〇
	一〇七〇	一〇六九〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	一九九〇	一九七〇
東株新	一六九〇	一六八〇
東新	一〇九〇	一〇〇〇
中	不申	不申
先	一九〇	一九〇
先	不申	不申

東京株式（短期）

銘柄	後場寄	後場引
新	一二九〇	一二八〇
中	不申	不申
先	不申	一二六〇

銘柄	品	東新
寄値	五七〇	一〇七三〇
引値	一七〇	一〇七一〇
高値	不申	一〇七四〇
安値	一七〇	一〇六六〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十月	三一七九	三一八〇
十一月	二九七一	二九八五
十二月	二九六二	二九五九

滿洲日報

露支紛糾を忘却するな
東北省は自由手腕を揮ひ

沒法子とニッチヴオの國民だけに、東支鐵道を中にした露支の抗爭、依然として展開せず、東支による歐亞の連絡も、杜絶の狀態を以て越年せんとしてゐる。その間に、支那の形勢は幾變轉、さしも優勢だつた蔣介石の運命も、時間の問題だとされるに至り、東北四省の外交權統一も、うやむやに推移せんとするの情勢にある。勿論奉天側もロシヤ側も、互ひに强いことをいつてゐるが、事實は如何のものにや實力において、兩方ともに强大を期すべくもなく、殊に財政の問題において、相すくみといふことにならぬだらうか。現に奉天側は、中央政府を以て任ずる南京政權からは、鐚一文の補給なく、來るものは勝手放題な命令ばかり、それも昨今は、對馮戰に忙殺され東北邊境の問題など、全く忘れたるかの如き有樣。そこになると現金なもの、一時は、外交權を捲き上げ、あわよくば、東支鐵道を奪つて、その收入を南京政權の培養に使用せんとしたものゝ、脚下から反蔣聯盟が起り、討蔣運動となつて、長鞭、東北の馬腹に及ばず、對露交涉は、張作相ら主張の如く、利害關係の最も密接なる東北軍閥に於て、自由に解決せざるべからずと徹し、その段取りに進まんとするが、停頓、今日の如きに至つては、ドイツの仲介にのみ信賴し能はず、さりとて、直接の交涉もならず、互ひに小手先の宣傳は怠らぬが、事に馴れて刺戟も薄く、右から左へと手ッ取り早く事件解決と進捗せしめず、そのうちに嚴冬に入り、まづ第一に困るのが東北四省の支那兵、何といふても防寒の用意がない。ロシヤとても知れたものではあるが、それでも支那兵に勝り、馮系軍隊が、凶作の陝甘から、河南、湖北に押し出さんとするの勢ひを示した如く、パン粉に缺乏してゐる赤衛軍は、北滿の曠野が、一面に凍結せんか、黑龍江より松花江の氷上を、パンを求めてハルビンに殺到することは、夏の河蒸汽より容易であり、一たびハルビンにして赤衛軍の手に落ちんか、東支鐵道は期せずして勞農露の掌中に陷ることは明白である。まさかと思はるゝが饑餓に瀕せる赤衛軍は、何の眞似をするか、分つたものではない。奉天軍閥としては幸ひ、關內に事あり、ここ暫くは、東北關外の鐵則たるべき、保境息民に根據し、蔣馮の喧嘩は國の審判に一任し、當面の急務として、對露交涉を、何とか片づくるをにせねばなるまい。支那側としては東支鐵道の收入は丸取り、碌な修理も得せず、掠奪し得るだけ、軌道や車輛を酷使するのであるが、それにしても收入は、少なく見積りて一千五百萬元に上るべく、ロシヤに折半するの要もなく、また南京政權に分配するほどのこともなかるべく、取れるだけ取り、また都合によつては、うんと運賃を値上げし、値上り運賃を、一般農民に轉嫁さするも勝手放題の支那のことであり、例の官商なるものが、青田からの買占め運動を、うんと發揮さするにおいては、二千萬や三千萬の軍費、戰費、何かあらんやといふことにもなるが、また考へて見れば、ロシヤと兵を構へて、血を流し、骨々削るの思ひをして見たところで、支那の寸土では猫措我不關焉。下等動物の切斷されて斷々に生命あるが如きは、奉天側としても、心血を濺ぐに及ばずと感ずべく、國境對峙に緊張疲れのするよりは、相當のところで媾和し、圓滿の解決を期するに如かずといふことにならぬか。東支鐵道の一部分の收入を丸取りしたところで、軍費、戰費を償ふに足らず、その上もし、松花江の氷上からハルビンでも占領されんか、それこそ由々しき重大事とせねばならぬ。このこと、必ずしも支那當局者の杞憂にあらず、あるひは可能性ある事項として考へ置くの安全であり、支那側、いや奉天側としては、關內の形勢、漸く混沌たらんとするの秋に方り、國內問題は保境息民の鐵則に立脚し、今日當面の問題として、露支交涉を急ぐの緊要事たるを思はぬか。外交權の移讓なども、責任回避の口實にはならうが、支那の實情にては、まづ覺束なしと知らねばならぬ。張作相ら、東北四省の治安を雙肩に負擔してゐる責任者は、ただ時日の推移にのみ放任するは決して東北關外の幸福を增進する所以ではあるまい。

馮庸義勇軍一旦歸校に決定
必要に應じ出動する

【奉天發】目下西部國境に出動中の馮庸大學義勇軍は滿洲里驛西南部六千米突の防禦線にあるが未だ一度も赤軍と交戰せずその必要も認めない處から十月末一旦歸校して授業し更に必要に應じては再び出動することゝなつたと

同江縣城の避難者に
復歸の命令

【吉林發】吉林省政府軍民政廳長は同江縣城が赤衛軍に攻陷せらるゝや同縣四千餘名の老幼男女避難民と同縣長張錫侯氏等は縣城を距る二百華里の向陽川、二龍山の兩地に逃れて居たが既に露軍去り大風一過平靜に歸したので去る十九日電報を以て張縣長に對し速かに縣城に復歸する樣命令した、之れと前後して張縣長より省政府に對し縣城に於て住民の射殺された者は男三名、女二名で其他は皆安全地帶に避難したと報告して來た 尙廿日樺川縣長唐純禮氏から省政府へ報告に據れば同江、富錦兩縣より樺川に避難した者五千餘名に達するが之を如何に救濟すべきか速かに指示されたしと

方本仁氏の閻氏訪問
西北問題協議

【天津發】方本仁氏は蔣介石の親書を携へ十八日午後四時太原に到着し同夜五台に赴き閻錫山氏と西北問題を協議したが、親書中には黨國のため馮玉祥氏と共に入京して貰ひたいとの懇請の意を示したものである、尙十七日五台に閻錫山を訪問した支那側記者の話に秘書長賈景德の語る處に依れば馮玉祥氏は閻錫山氏の眞意を疑ひ何等意見を發表せず軍事は宋哲元氏の自由に任じ時局に對して何等の態度を表せず各代表が訪問しても面會を謝絕して居る、閻馮兩氏共に建安村にて會見中であると

旅券なしで赤系露人の南下
支那官憲に贈賄し巧みに關門を突破

【ハルビン發】支那官憲はソウエート人民に對して匪賊の如く旅券に査證せぬため赤系ロシヤ人は全く籠の鳥と同樣であるので最近はこの危險な籠拔けを工夫し南行するものがある、關門は車中と寬城子の境界線突破であるが支那官憲に贈賄して巧に南下してゐるもので支那側が赤系の旅券査證をせぬやうになつてからこの手で多數南下した者もあるらしいがいづれも成功し一名も引つ懸つたものがないとのことである

國民政府の視察員
東三省に派遣

【奉天發】國民政府は東北政治の現狀を視察せしめるため內政部より視察員陳希豪氏一行十名を派遣せしめることゝなり一行は大連經由來奉城內に入つたが廿一日は各機關を視察し約一週間滯在の上張學良氏と會見懇談をなし吉黑兩省を視察する

北平の僧侶が農工を勵む
時代の潮流に食を失ひ「農禪」「工禪」の宣言

【天津發】最近北平の佛教界は僧侶が時代の潮流に適應する必要に迫られて時に「農禪」と「工禪」と云ふ新工夫を廻らす事としたその宣言の要旨は次の如くである

▼ ▲

人類の生存權は平等で誰れも之を剝奪する事は出來ない、然してその生存は社會に立脚する必要上社會が相當の義務を負はなければ自然に淘汰されねばならない、元來和尙は人類向上の要求を滿足さす爲め割愛し出家し人生の老病死苦の問題解決に沒頭する者で社會に代つて重大な義務を分擔する以上當然社會から供養を受けねばならないが反對に今日の狀態になつた、

人類の向上的慾求は方向を變じて只物質上の滿足を求むるに急なるため經濟的競爭が激甚となり國家や人間の滅亡は捨て顧みず自己の慾望の達成のみを考へて居るが國家を愛し同胞を憫むためには國人が悉く生產的戰線に活動し其の生存を圖らねばならない時和尙許りが自活する事が出來ない樣では社會人として義務が果されない故に本會同人は各寺に於て適宜に「農禪」乃至「工禪」を組織し半日工作に從事し半日習禪して社會の係累たるを免れると共に向上的使命を達成したいと考へる、元來佛法はその本質的價値があり、北平の寺廟の佛像は全國の古跡美術の代表的なものであり之れが保存も極めて必要である、和尙が之れを喰ふ樣な事があれば社會に對する義務を忘れる事になる故此れは飽くまで保存せねばならない。

信教の自由は總理の遺教であり世界の何れに於ても同樣であるが正當なる信仰に導く必要ある我々は自ら高く身を持して社會の批判を待つ可きである

太平洋會議の支那側委員
學界の新人を網羅す

【天津發】京都に於て廿八日より開催される第三回太平洋會議の支那側代表は北京天津より學界の新人を網羅し二十日の夜行で奉天經由日本に向つたが委員の氏名は次の如し

顏惠慶、外交界の立役者▲鮑明鈐、北京大學教授▲陶孟和、北平社會調查會幹事▲徐淑希、燕京大學教授▲陳立包、北平青年會幹事▲任鴻雋、北京大學教授▲吳鼎昌、經濟學者及政通▲張伯苓、南開大學校長▲何廉、南開大學教授

東三省代表京都へ
太平洋會議とその提案

【奉天發】既報太平洋會議に出席する東三省側代表閻玉衡氏一行五名は二十三日十五時半發安奉線急行にて京都に向つたがその提案は左の通りであると

一、滿鐵沿線郵便權回收
二、支那內地における朝鮮銀行券の流通制限
三、諸外國の商業投資反對
四、南滿沿線旅大租界回收
五、駐屯軍撤退並に警官の制限
六、鮮人移民反對
七、州外鑛業漁業權回收

間島地方の鮮人學校を閉鎖
その代りに公立學校を設置
吉林教育廳から密令

【吉林發】吉林省政府教育廳長王莘林氏は此程間島地方卽ち延吉、琿春、汪淸、和龍の各縣教育局長宛に明年度より各縣內朝鮮人經營の私立學校を一律に縣立に改定し私塾を閉鎖して之に代ふるに公立學校を設置して縣教育局の監督下に置き其他鮮人經營の講習所に支那人の所長一名を配屬して教育事務を管掌せしむ、尙ほ龍井、琿春、局子街、百草溝、頭道溝、大拉子の六ケ所に模範小學校を建設して省政府が直接之を管理して日本政府補助學校に拮抗し以て支那教育權侵害を排除すべしとの密令を發した由であるが之が實施の曉きは相當問題を惹起するであらうと云はれてゐる

整理緊縮の投書を募集

經濟國難に直面し我が滿洲に於ても公私經濟緊縮委員會が設置され愈よ具體的運動に入つたがこの秋に際し、廣く一般讀者から八相欄に揭載すべき整理緊縮の合理化に對する投書を募集いたしますから奮つて御投稿下さい、行數は十五字詰五十行以內のこと

八相係り

『欅』出動
邦人保護のため山東方面に

旣に京漢線は不通となり山東一帶また不穩の氣が漲つてゐるので同方面にある邦人漁船商人保護のため、二十二日旅順より來航、大連港に碇泊中の帝國驅逐艦「欅」は二十三日出動の命を受け急遽山東に向つた

龍井村を特別市に
市政籌備處を移轉する

【吉林發】當地に於て傳ふる所に依れば、間島龍井村は國防上の見地から延吉（局子街）等よりは遙かに重要である故に吉林省政府にては龍井村を特別市に昇格せしめ而して延吉の市政籌備處を同地に移轉せしむる計畫であると 尙吉林全省公安管理處では郝秋鈞氏を龍井村特別市公安局長に內命し郝氏は近く吉林を發して赴任すべしと言はれてゐるが、一說では延吉の市政籌備處を龍井村に移轉することを特別市に改むるものと誤傳したのではないかと云つてゐる

川越總領事
青島へ赴任

【吉林發】既報青島へ轉任の川越吉林總領事は二十日着任の石射新任總領事に事務引繼を了し翌日二十四時十五分發列車にて新任地に向け出發した、在勤四ケ年餘の吉林を出發に際し在住邦人は勿論支那側に於ても省政府各委員、各廳處長其他外交關係の大官を網羅して盛大に歡送した

南征雜錄 (15)
難波勝治

ガルヴエストン

三千噸の鐵鑛を積込んだマニラ丸がモビルを拔錨したのは六日の午後一時過ぎ、爽かな南風に吹かれて下り行くモビル灣は濁り紅ながら雄大な景色である、翌一日は終日メキシコ灣の波を惱んで暮したが、午後四時五十分海上で邂逅したハバナ丸は同じ商船會社所屬のニユーヨーク航行船であつて、日本への歸途ヒウストンに寄港するとのこと、眼界を遮る物もない

雲煙漂渺 の間に船影を見るのは船籍の一であるが、殊にそれが日本船である場合の嬉しさは言ふばかりもない、八日午前六時目覺むれば既にガルヴエストン港口にあつたが、平洲遠く續く海岸を望んで水道を徐行すること二時間、カルヴエスト港の埠頭に着いたのは午前八時である、私は同船の西谷正吉君及びその母堂と上陸して市中見物に出掛けた、西谷君は神戶を根據として夙に外國貿易に從事し、歐戰當時ペトログラードに出張して滯在約一ケ年、當時未だ

弱冠の身 を以て目覺ましい活動をしたそうであるが、目下南阿とブラジルとに支店を有し、大信貿易商會としてリオ・デ・ジヤネロの內外人間に知られて居るが、昨年渡伯の際老後の母堂を慰むべく同伴したのであつた、私等は十時上陸して一時間半許り市中や郊外をドライヴしたが、フロリダに亞ぐ重要な商港といはれて居るに拘らず、人口未だ僅かに六萬餘のガルヴエストンには如何にも

百事草創 の感があつて、私は懸らず十餘年前の小浦を思ひ起させた、併しそうした小都市が有する港灣設備と每年取扱ふ貿易額とは驚くべき數字を示し、一千九百二十七年（昭和二年）度の輸出六億一千二百四十五萬六千餘弗輸入三千五百七十二萬余弗に上つてゐる、輸出入額に甚だしい懸隔あるは新開農業地帶の共通現象だが、ガルヴエストンの貿易史は

特に兩者 の双關的良傾向を語る者である、試みに一千九百十八年より一千九百二十八年に至る十年間の成績を見れば

年次	輸出額	輸入額
一九一八	[illegible]	[illegible]
一九一九	[illegible]	[illegible]
一九二〇	[illegible]	[illegible]
一九二一	[illegible]	[illegible]
一九二二	[illegible]	[illegible]
一九二三	[illegible]	[illegible]
一九二四	[illegible]	[illegible]
一九二五	[illegible]	[illegible]
一九二六	[illegible]	[illegible]
一九二七	[illegible]	[illegible]
一九二八	[illegible]	[illegible]

卽ち合計 **四十八億** 四千二百五萬八千五百十五弗の輸出額に對し、輸入額は二億七千二百五十八萬六千七百十七弗であつたが、最も著しい現象は前表に示すが如く歐洲戰爭後の一千九百二十年度から加速度に輸出が增加した事である、之れは戰爭の爲に農業地帶の活動を鈍らせて居た者が、戰後反對にこの方面への人氣を引立たせた結果である、隨つて輸出品の重なるものは農產物であるが其種類は極めて單純且ノ大量である

卽ち棉花 小麥、米、大麥、玉蜀黍、ライ麥等であるが、このうち棉花の外國輸出高は米第一位で、最近數年間は常に年額三百萬俵を下らぬ、處が歐洲戰爭前には英國とドイツとが最大需要國であつたが、今やイタリー、ベルヂユーム、フランス及び日本といふ順序となり、その中日本への仕向け高は年々增加し近く

百萬俵の 平均年額に達するだらうといふ、雜穀の取扱高は平均三千萬ブッセル位のだがそれが一昨年は五千萬ブッセルてふ巨額に上つて居るが、流石は廿六萬二千二百餘方哩てふ日本全土に匹敵するテキサス州と、之に隣接するオクラホマ州の大農業地帶とを背景とする威力を直感させられる

【ガルヴエストン埠頭に於ける穀物積込】

滿日地方版

撫順

巡警が正服で强盗を働く
通行人を専門に脅迫

堂々と巡警の正服正帽姿をして連續的に强盗を働いてゐた怪賊が廿二日正午手金寨北窯地に於て逮捕された右は遼寧省生れ現撫順瓢兒屯祁春寶(二一)と言ひ支那町商務會巡警をしてゐた者だが本年六月六日巡警姿で强盗を働いたかどで日本官憲に逮捕支那側に送致されたが保證金の名目で金をだしすぐ釋放されたのに味をしめその後自警團員となり强盗に備へる重大な任務につきながら共犯者直隸生れ孫更賢(三〇)と共謀相變らず巡警の

この殘忍性を帶びた兇賊は山東省濟南府生れ李福有(三五)と云ひ共犯者同地生れ范増玉(二七)同劉某(二七)と共謀本年九月六日午後七時頃機械工場番外地雜貨員祐和員店こと鄭瑞昌方に押入りブローニング拳銃を五發亂射被害者を震へ上がらしめ金品を强奪、同月九日午後七時三十分前記二名と楊柏堡三十三號雜貨商范芝春(三五)方に侵入同様拳銃を亂射金腕輪、現金等を强奪

越えて十月十三日午後五時四十分東鄕神社北側路上で通行人三名に拳銃を亂射金品を强奪その他餘罪多數の見込なるも犯行を自供せず係官を手古摺らしてゐる

短刀で自殺未遂
集金横領の道樂者が

滿鐵社員の自殺に共鳴してでもあるまいが又々二十二日午前八時邦人の自殺騒ぎがあつた、この男は本籍熊本縣八代郡上松球磨村現平康里三十七番地公□院事務所宮原誠次氏集金係前川米藏(四九)と言ひ同支那遊廓地帶に於ける宮原氏所有數十軒の家賃集金人として雇はれてゐたものであるが年に似合はず三拍子揃つた道樂者で家賃の巨額を横領費消その穴埋に窮し前記時刻自宅で刄渡三寸の短刀で左右頸部及び腹部をえぐり血まみれになつてじたばたしてゐる所を同家のボーイ賈品三(二三)に發見され市内天牛醫院長栗牢氏の應急手當を受け撫順醫院にかつぎ込んだが目下虫の息である

◇

二十一日午後六時[illegible]溫泉倶樂部において[illegible]は來る十一月三日[illegible]ること、なつた[illegible]様で會費一人二圓[illegible]本月末迄に申込み[illegible]は會場の都合によ[illegible]してあるので定數[illegible]締切前でも申込み[illegible]

◇

二十一日午後[illegible]義台呉服店前に於[illegible]奉せる劉玉氏と稱[illegible]彼が所持せる手荷[illegible]と甘言を以て騙取[illegible]たが迅速な係官の[illegible]町六番地先に於て[illegible]住所不定無職張昌[illegible]餘罪取調中

◇

市内橘立町十五[illegible]の管理に係る家屋[illegible]に至らず消し止め[illegible]の不完全、損害約十圓

◇

廿一日午後四時頃郵便局内に於て日吉町小久保寫眞館同居人王傅章に用事のある如く裝ふて近寄りポケットから財布を掏らんとして逮捕された彼は住所不定無職劉府錫(四二)と稱する强か者であると

奉天

州外柔道團體優勝旗爭覇戰
來る廿七日奉天道場で擧行

[illegible]

浦鹽に渡りウスリ線經由歸國する由

雜貨屋に拳銃强盗
店主は負傷

[illegible]

拳銃を亂射し强盗を重ねる

[illegible]騒ぎ出したので一物も得ず老虎臺採炭所方面へ逃走した

到る處で拳銃を亂射して金品をかすめ住民を脅かしてゐた强盗を廿一日午後五時車庫前と歡樂園との中間楊柏堡川堤に於て逮捕した、

金融組合總會

[illegible]

林總領事歸奉

[illegible]北滿方面を視察中の林總領事は廿六日歸奉の筈であつたが豫定を一日延ばし廿七日に歸奉する由

日獨選手歸る

三國陸上競技に出場した日獨選手一行は多數の人に送られて廿二日午後三時半發安奉線にて歸國の途についたがドイツ選手は敦賀より

觀世謠曲大會

奉天審議會では來る十一月三日の明治節を卜し奉大寺に於て左の如く觀世流秋季謠曲大會を開く由

羽衣、楊貴妃、玉葛、烏帽子折、熊坂、熊野、富士太鼓、鐵輪、俊寛、紅葉狩

この外仕舞として

熊野(中道たみえ)敦盛(益田おさめ)蟬丸、菅原瓢子)笠の段(菅原夫人)網の段(浦部夫人)班女(狩越喜博)東北(高畦二郎)八島(永井今朝太郎)山姥(河合積太郎)花筐(荒尾文雄)藤戸(白瀧三郎)

警察家族會

奉天警察署の家族會は本年は新廳舍移轉祝賀記念に來る廿六、七の兩日新廳舍裏庭に於て盛大に開催されることゝなつたが餘興には第一、二、三號獨身宿舍領事館各宿舍總出で行ふべく目下準備中である

町の便り

奉天における秋季招魂祭は廿三日午前十時から忠靈塔において祭典を擧行した

◇

奉日社主催第二回秋季麻雀大會

瀋陽駄話

對露問題、對西北問題について東北省政府が如何なる態度は廿日から北陵の學良氏別邸に於て開かれてゐる東北省主席各幹部等の重要會議に於て如何に決定するか各方面から非常に注目され▲曰く東北省は誠心中央を擁護する曰く對露問題は露國側が誠意を以て交渉をなさゞれば支那側はどこまでも積極的行動に出る又曰く西北問題は嚴正中立を守り西北西南の戰事にて絶對出席せずなど▲各種各樣に傳へられてゐるが結局西北問題に關しては中立を嚴守し對露問題についてはこの

で東北省政府にて財政難を理由に問使軍費等ドシ〳〵奉天に來るのを思へば▲東北省政府としての腰は益々鞏固に嚴々嚴正に以前と全く變つた態度を採るやうになつたのも蓋し時代の趨勢によるものであるか

人事

▲三宅關東軍參謀長　廿二日急行にて來奉

▲寺內守備隊司令官　廿二日公主嶺より來奉

▲長野縣青年團十名　廿二日鞍山へ

▲宮崎實業補習學校教員養成所生廿一名　廿三日長春へ

▲川越青島總領事　廿二日過奉大連へ

▲横田滿鐵專務　廿一日來奉ヤマトホテル

▲韓麟生氏(吉長鐵路局長)　廿一日夜長春へ

▲村田步兵第卅三聯隊長　廿一日夜歸奉

▲山川博士(東大教授)　廿一日安奉線にて來奉

鐵嶺

奉天鐵嶺間の送電工事進む
近く主要驛に點燈

奉天鐵嶺間の送電工事は着々と進捗して鐵道に沿へる鐵柱も殆ど立ち只奉天市街附近を僅かに殘すのみ虎石臺新城子新臺子附近は既に電線架設工事に着手されてゐる程で愈奉鐵間主要驛にも電燈の光に惠まれる時が近づいてゐる

防火宣傳に放水演習
好績を示す

滿鐵居留地兩消防聯合の防火宣傳秋季演習は廿二日午前九時半より擧行され公園前に於て大內署長

中日懇談會

奉天鐵道事務所管內の鐵道事故防止中日懇談會は管內各地で催ふされるが鐵嶺では來る三十日開催と決定した

産業主任來鐵

關東廳産業主任島大四郎氏及屬水野宗之助氏は鐵嶺に於ける物價並に勞銀調査の爲め二十一日來鐵商工會議所に於て參考資料を蒐め即日離鐵した

全滿大弓大會

滿鐵運動會鐵嶺支部主催の下に來る廿七日午前十時より滿鐵クラブ射場に於て全滿の大弓競射大會を擧行すべく目下準備中で全滿各地弓道部に對し參加案內狀を發送したから參加選手も夥だしい數に達し盛會を見る事であらう

出口氏通過

大本教の出口王仁三郎氏は從者六名と共に二十一日十七列車にて當地通過北行したるが驛頭には在鐵大本教信者中路才助氏以下二名支那側紅卍字會員十數名出迎へ停車中は大本教讚歌を唄つて盛なものであつた

天勝一座開演

各地に好評を博せる松旭齋天勝の一行は今二十四日鐵嶺に乘込み公會堂に出演する由一行が最も得意とせる今回の新案は五節舞の五段返し奇術象の出現切拔人形等で其他音樂舞踊寸劇等悉く目新しいもの

蛙鳴集

奉天醫大助教授　辻忠治

五、氣候に關する諺詩

[illegible]

る。冬至即ち舊十一月十八日より起算し、冬期を九日づゝ九つ即ち八十一日に分つ、三九は舊十二月十日前後に當る。此時は一年中で最も寒い時で、寒くない年でも傑れ覺ると。立春は六九の第一日に當る。

九九八十一　窮漢受罪畢　纔開放脚眠　蚊虫蚤出

の生活を詠つたもので、九九八十一日の寒い冬を泣き暮らして、何やら足を伸ばして眠ることが出來ると思へば、今度は蚤蚊に攻められる。

四、一九二九不算九　三九四九氷上走　五九六九窮漢都束手　七九河開　八九雁來　過了九九黄牛滿地走

一九二九の間は未だ寒い程でもないが三九四九の時分は氷が張りつめ、五九六九に至つて貧民僂れ七九になつて河の氷が解け、八九に雁來り、九九を過ぎて牛が草の上に遊ぶ。

六、中國昔の醫者

扁鵲は春秋時代の名醫である。其若き時驛舍の長をして居たが、舍客長桑君と云ふ人扁鵲の有能を知り、厚く之を遇して曰く我に藥方あり子に之を傳へんと、懷中より之を取出して扁鵲へ與へ、且つ上池の水(竹木上の露未だ地に落ちざるもの)を取つて後に飲ましめ、曰く三十日にして物を知る可しと、扁鵲は言の如くするに果して效あり、爾來人の病を見るに、能く五臟の病源を透視し得たりと後來虢の地を過ぎ虢太子の死を蘇らせ、雒陽に入つては周人が老人を愛敬するを知り、耳鼻の病を治し咸陽に入つては秦人が小兒を愛するを見、小兒の病を治したりと。

華陀は三國の時外科の大家たり董卓[illegible]鶴髪飄然出世の姿あり。先に宣城に於て孫權を助け、赤身奮闘十二創を蒙つた周泰の傷を治し、後關羽が荊州に止つて、孫權のため擒かれ、毒箭に左腕を傷けし時肉をそぎ骨を削り、完全に之を治療した。其時關羽が腕一本を失ふか失はないかの大手術に平氣で客と碁を打つて居たといふことも、後々の物語りに傳へられて居る。

察するに華陀の方は、嘗藥を飼つたり、藥を飲ませたりする醫式のものでなく所謂今日の切開手術を施したもので今より數千年の昔、斯んな大家が中國にあつたとは驚く許りである。

降つて漢代に至り、韓康と云ふ仙人は常に一壺を携へ、仙藥を內に收めて人を助け、夜は自ら壺中に入つて寢たとのことである。以來病氣を診斷することを懸壺とも書き、今日此故典に因ふ、病院の

抜濟廣告に壺の畫を用ふる者あるに至つた。

昔尚醫者を杏林先生と呼ぶは、董奉と云ふ人が廬山に居て人の病氣を治した、其報酬として重き者には杏五株を植ゑて貰ひ、輕い者には一株を植ゑて貰つたので、數年後十萬の杏が鬱々と茂り林をなしたと云ふことから起る。

又醫者を橘井之仙と呼ぶは、蘇耽と云ふ人、橘を植ゑ井を鑿ち、病者を治したと云ふ古典に因る。即ち病人に橘の葉を食はせ、其井の水を飲ませると、病忽ちに癒ゆとのこと。

杏林春暖　橘井泉香

の春聯は此處に由來す。

安東

花競馬開催
愈よ認可さる
新に命令條項が出る

安東競馬倶樂部では既報の如く規則の一部改正に就き寄々協議を重ねた結果十九日改正規則に添へて花競馬開催許可願を安東署に提出した所同日午後認可された、許可と同時に安東署では競馬會に對する命令條項二十一ヶ條を附したが其の中一般の心得べき事は

第七條　勝馬投票券の發賣は一競走に附き一人一枚を限りとす

第九條　學生々徒、未成年者、競馬會員、開催執務委員、從事員調教手、騎手、馬丁には入場券及勝馬投票券を發賣すべからず

第十二條　勝馬投票券は之を二連切符とし一片は之を購買者に交付し他の一片は之を競馬會保存す

第十五條　勝馬投票券の發賣は當該競走に參加すべき馬の確定したる後之を開始し馬が競走の出發點を出發する前之を締切るべし

第十七條　勝馬投票券發賣後當該競走に附左の各號の一に該當する事由を生じたるときは其の投票を無効とし競馬會は券面金額を以て勝馬投票券の買戻に應ずべし、勝馬投票券に表示せられたる馬、馬場に出さるるときは其の馬に對する勝馬投票券に付亦同じ

一、馬場に出でたる馬一頭のみとなりたること

二、同一所有者の馬のみが馬場に出でたる事

三、競走成立せざる事

四、競走に勝馬なき事競馬施行規定に違反するが爲め先着を無効とせられたる馬に對する勝馬投票券は券面金額を以て買戻に應ずべし

の六箇條であるが尚競馬は二十六日より三日間六道溝在憲察前にて盛大に開催される筈である

南京虫退治の虎石臺守備隊

虎石臺守備隊では鐵道に出沒する不逞の徒輩よりも營內に巢喰ふ南京虫の爲めに兵員の苦む事一方ならず今回徹底的に南京虫退治を行ふ事になつて兵士は二十日以來文官屯新臺子間各驛に分宿せしめ兵營內では目下全力を盡して南京虫退治中であると

[illegible]被服器具の點檢を受け神社參拜後公園グラウンドに於て放水演習を開始したるが空前の好成績で筒先の支障を認めず高さ六十尺に達する水柱は白龍の躍るが如く燦く玉簾となつて壯觀を極め大內署長の激賞的講評があつて散會したのみを上演すると入場料は特等二圓五十錢一等二圓三十錢優待券(本紙折込)は二割引と

華人朝鮮へ
商工所の催し

安東商工會議所は朝博開會を利用し日本產業紹介を爲す意味にて支那人朝博觀光團を計畫し總商會並に商務會に諒解を求め贊成を得たので安東在住者支那側有力者を糾合し二十四日一行二十名の一團を組織し商議當事者引卒のもとに出發する事となつたが一行は博覽會を見物して昌慶苑、秘苑、總督府廳舍等を見物する筈にて歸安は二十七日頃の豫定であると

兒童愛護デー

鞍山小學校では十一月二日より一週間兒童愛護デーを催すべく二十五日小學校に於て學校教化團新聞關係者等會合し打合せ會を催す筈であるが、大體左の通りである

▲三日　創立十周年記念祝賀會、展覽會及音樂會

▲四日　東京童話界の權威者水谷まさる氏の童話會

▲五日　兒童デー各種催し

▲六、七、八日　千山立山櫻桃園慰問日

▲九日　鞍山に於て最後の會を催す

中學軍教檢閲

鞍山中學校の教練檢閲は二十一日午前八時より同校々庭に於て實施された、檢閲官は高木中佐、三瀦中佐、山口中佐、荒木少佐等來鞍し石田守備隊長、久留島在鄕軍人分會長、松木署長、日向青訓所長伊藤係長等の參觀者あり午前中五年午後四、三、二、一年の檢閲あり午後三時終了したが高木檢閲官の講評は大體に於て成績佳良益々教練に努むべしと

懇親野球大會

全鞍山代表の中老懇親野球大會第二回戰は廿二日午後四時より滿鐵グラウンドに於て地方聯合軍と實業軍とに依り開始せられたが其の成績は左の如し

(地方聯合)　留山野澤橋倉取本野比賀阿宇間能高土省四小
　　　　　　123456789

(實業軍)　塚禮田尻田上所藤地田犬牟森野太池税加菊根
　　　　　123456789

實業	201003	計
地方聯合	123405	8
	530000	8

會吏朝博見物

管內金州會、南山會、馬家屯會、劉家店會、龍家講會の五書記は朝鮮博覽會視察の爲民政署員に引率され四日間の豫定を以て二十三日午前九時四十二分金州發の急行にて北行した

鞍山

詐欺犯人逮捕

販賣車主計中隊間本政一と名乘り新義州に於て數ヶ所詐欺を働いて京城方面に逃走した犯人增田定雄(二八)は新義州憲兵分隊より追跡せし憲兵兩名が龍山憲兵分隊とつげた

口より侵入し六疊の押入及び奧座敷の箪笥の中に仕舞つてある男物紋付羽織外三十六點現金三十七圓五十錢合計八百五十圓程の現品を盜取滿鐵包の風呂敷に包み同じく裏口より逃走したらしい氣宅した妻女は此の有樣に吃驚し早速に本署に報じて來たので當局では目下手配中であるが妻女は衣類全部盜取されたので着換の着物が一枚もないと困つて居る

警察署消防隊の聯合防火宣傳
廣場では壯烈な演習

鞍山警察署及消防隊聯合の防火宣傳デーは既報の通り二十二日擧行された、參加者は林地方事務所長貝坊田鶴雄氏を始め消防隊伊藤今津兩正副監督同隊員二十五名、警察署長代理中木保安係主任大塚北川兩巡査部長同署員十五名、外に製鐵所事務課長井庶務係主任同守衛十餘名、實業青年團長植田繁造氏同團員十餘名、石川地方委員聯議長、堀不動産事務其の他を合し約八十名にて定刻の午後一時一同消防隊横廣場に勢揃をなし、警察署のオートバイを先頭に數臺の自動車消防器具等數十臺の自轉車を連れて警鐘を合圖に出發し富士通りより病院前に到り夫れより大正通、大和町、常町を經て社宅街に出で製鐵所、鐵道西、柳町等市中を一巡して午後二時四十分消防隊に歸着し三十分休憩の後同隊横廣場に於て壯烈なる擬裝火災演習をなし、終つて消防組頭の慰勞宴が催され

た、當日は各戶にわたつて煖房設備の檢査をなし左の如き注意書を配布した

火の用心

火災の恐ろしいと言ふ事は老人子供に至るまで悉知の事であるますれから火災季節に入ります、皆さん左の事柄を御熟讀下さいまして過ちのないやう心掛けて下さい

一、火災の虞ある場所に煖爐を据付けざること

一、煖爐の周圍に可燃質物を放置せざること

一、煖爐の不完全のものは修理の上ならでは使用せざること

一、床又は板場に煖爐を据付くる場合は不燃質の煖爐臺を用ふること

一、煙突の取付には充分注意し風雨などのためにも傾斜せざる樣堅牢たること

一、煙突の繼目は少くとも三寸以上に挿入して繼目より漏煙漏火等のことなきこと

一、煙突の可燃質物に接近したる部分は不燃質物にて絕緣し火災の虞れなからしむること

一、煙突の先端は軒高より二尺以上たること

一、破損煙突を發見したる時は直に修理若は取替ふること

一、煙突の掃除を怠らず又煤煙の飛散を防ぐこと

一、溫土爐の煙突は兎角不完全のもの多ければ之が改修方に付充分注意を拂ふこと

一、瓦斯は最も點火し易きものなれば多少にても臭氣を發する場合は直に其係に通知して檢査を受け尚且に其周圍にて火氣を弄せざること

一、電燈線の被覆に破損を生じ其の他電燈に異狀を生じたる場合は直に係に通知して檢査を受けること

一、喫煙後は煙草の火を消したる後灰落し其他に捨ること

幼稚園運動會

降雨の爲め中止となつてゐた滿鐵幼稚園の運動會は二十日午前九時半より鏡江麓山の中央廣場に於て開かれた、此の日風は少し强かつたが惠まれたる好日和にて園兒の父兄母姉達は可愛い我が兒の競技を見んものと續々と押かけ午前十時頃には場の周圍は之等の父兄で埋まつた、競技はプログラムの順序に進められ天眞らんまんたる園兒の遊戯や達磨リレー等に何れも元氣よく三十數回の競技を無事に終了し午後三時過ぎ盛會裡に終りをつげた

金州

腸チブスの猖獗
傳染病棟入院患者は十五名の多數に上る

冬季結氷期近づける今日當地に於ける腸チブスの流行は益々猛威を逞しうし目下傳染病棟入院患者十五名にして廿一日の如きは一日に三人の入院を見た、斯くては今後何の位蔓延するか豫想を許さず要は各人の徹底的豫防が必要となつて來た、警務課では二十日之れが豫防宣傳ビラを撒布して徹底的豫防を圖した

豫防注射開始

腸チブス猖獗しつゝあるに鑑み當金州醫院に於ては毎日午後一時より豫防注射を行ふことになつたが希望者は同醫院に赴き注射を受くる事但しワクチンは無料、ゴクチゲンは一人五十錢

南山會の賑ひ
落成祝ひて

昨年四月工事に着手し本年五月三十一日竣功を見たる南山會事務所及同派出所は二十二日有志多數招待の上盛大な落成式を擧行した出來上つた同家屋は金大渾路に面して金州西門岸を一眸に入れ風光明媚にして觀光・謀式等新味を加へて管內唯一の建築物と呼ばれ其の面積は事務所及宿舍七十一坪・附屬家屋十二坪・倉庫十二坪・便所二坪であつて工費に要したる金

[illegible]は約一萬圓の多額を要して居る、又前方廣場に於ては豐作祝を兼ねて支那芝居を一般に公開し非常な賑ひを呈して居る

人事

▲滿水賢雄氏(滿鐵工場課長)　廿一日來遼

▲加治惠武盛氏(前地方委員)　廿二日奉天へ赴任

遼陽

奉票の現在高調査

遼寧省政府は數日前官銀號を通じて奉天票の省內各縣實在高の調査を命じて來たが之が爲め官銀號支店では相當多忙を極めて居る

公友倶樂部例會

遼陽公會堂附屬公友倶樂部では廿六日午後五時から例會を催し會員の會食があると因みに公會堂の經營は遼陽驛から受けて居たが、九日限り解約申出であつて居るので管理者に於て目下後繼者物色中の由

村民の御禮

首山驛南方麥山子に於て馬賊の大集團を吾軍隊の力に依り放逐したので附近の住民は危難を免れるに至つたので附近十ヶ村の村民は深く感謝の意を表したいと二十二日正午麥山子村長宅に於て鞍山、立山、大石橋、遼陽等の各地の守備隊、警察、地方事務所、驛等の關係者を招待し御禮の宴を催した

菊花展覽會

明治節の佳日に際し例年の通り社會係主催にて公會堂に於て十一月一、二、三の三日間に亘り菊花展覽會を開催する事となつた

開原

戰鬪射擊演習

開原守備隊升高中尉以下九十名は廿二日九時廿八分發列車にて平頂堡に到り同地に於て戰鬪射擊演習を行ひ同日歸隊した

三笠保存會寄附金

三笠保存會の保存基金は兼て募集中であつたが寄附金總額金一百四十圓十八錢に達し二十二日保存會本部に宛送金したと

殉職警官の奮戰物語
大石橋驛頭に出迎へた同僚巡査の美しい友情

【大石橋】二十一日午後六時三十分頃であつた陽は暮れて間もない月はまだ山端にもかゝらぬ頃の夜に他山驛の寒寂を破つて時ならぬけたゝましい

銃聲が響

いて人々の心を驚がした、此れぞ澤幡巡査が四名の賊を相手に奮戰激鬪遂に貴き殉職の犧牲に殪れた記念すべき時であつた、四名の馬賊が闖入した家屋は他山驛を距る西方僅かに三四

十間の處にある永興隆と稱する支那雜貨商である、四名の賊は悉く各自二挺の拳銃を携へ家族の者を威嚇しながら片つ端から縛り上げた此の時用便のため屋外にあつた同店の小孩は此の有樣を見て青くなつて警察官派出所に駆け込んだ

恐怖の餘

り物もいへないてゐる小孩の云ふ事は明瞭ではないが馬賊が同店に闖入してゐる事は同巡査にも僅かに想像された澤

幡巡査は直にモーゼル銃を携へ臨其上に私有の拳銃をポケットに納め驛の後方に住まへる部下の巡捕に通知する事すらも賊を逸するの恐れありとなし單獨身を翻らして同店に駆け付けた賊は澤幡巡査の駆け來る足音に氣づき澤幡巡査が同店門前に突進するや早くも

馬賊四名

は一齊に同巡査に向つて猛射をあびせた併し澤幡巡査は元來勇猛果敢の士として定評あるの人である雨とする彈丸をものともせず拳銃を擬し身を挺して屋內に勇躍突進した屋內は闇かつた賊は何れも店內の櫃櫃を楯として猛射を續けた勇猛其もの、如き澤幡巡査は店々に堆積しある袋物を楯にして接戰奮闘を續けた[illegible]ず遂に貴き殉職の犧牲となつたのである澤幡巡査の前額に[illegible]の彈丸が貫通してゐる

胸部にも

二個の賊彈が貫通してをるそうして右手に一發、左手に一發合計六個の彈丸は無ざんにも此の勇猛鬼神の如き澤幡巡査の英骸を貫ふして四方に飛び散つてゐる、如何に澤幡巡査が勇敢猛烈に奮戰したかを想像する事が出來る、急報に接した植田本署長は直に部下の總動員をなし他山驛に急行し現場に駆けつけて檢視すると同時に他面逃走馬賊の追跡に全力を傾注して居る植田署長以下現場に臨んだ署員は勿論情報を傳へ聞いて駆付けた

地方人も

悉く澤幡巡査の勇猛果敢の働らき振りをたゝへながら貴き殉職の遺骸に對し涙を流し襟を正し手を合せ敬意を表せざるものは無かつた、一度此の報一般市民に傳はるや同情翕然として集り十一時三分着の南行列車にて澤幡巡査の遺骸着くと報ぜられ官民の主だつた者は勿論知ると知らざるに論なく出迎へに來るもの黑山の如く驛頭は一時非常に混雜を極めた列車は着いて遺骸は下ろされた、そうして遺骸を納めた棺が

支那苦力

の肩に依つてかつがれんとする時同僚の巡査六名は之を排して恭々しく各自の肩に擔いだ、出迎への總ては同僚たる巡査達の濃厚なる此の友誼振りに感激し涙を催さしめた本願寺に到るまでの辻々に婦人連や老人子供達が列をなして恭しく敬意を表することゝ涙の種であつたが本年六歲の長男昇君を頭に三男一女を連れて悲嘆に暮れる未亡人かね子氏(三〇)に對しては何人も正視することが出來ずたゞもう涙の挨拶であると

澤幡巡査略歷

澤幡巡査の葬式は二十四日午後二時警察署庭に祭壇を設け署葬として盛大に執行されることになつた

大籍　茨城縣多賀郡坂上村大字水木

澤幡政魔之助　當三十五年

妻　カネ　當三十年

長男　昇　當六年

長女　政子　當五年

次男　滿男　當三年

三男　武男　當一年

大正四年十二月一日步兵第二聯隊に入隊す、大正五年十一月二十日上等兵を命ぜらる、大正九年十月六日關東廳巡査拜命、大正九年十二月一日大石橋警察署勤務を命ぜらる、大正十四年三月二日刑事係を命ぜらる、其時强竊犯人其他有力犯人逮捕に依り賞を受くる事十三回、昭和二年四月十五日他山派出所勤務を命ぜらる、劍道一級、柔道二級

不在中に盜まる
箪笥二竿の內味全部を

市內四番通六丁目一番地秋山信一宅にて主人は旅行不在留守居の妻女が十九日午後五時より六時迄の間に三番通六丁目竹屋方に長唄の稽古に行つた留守の間に犯人は裏

滿日勝繼碁戰

第四回滿日勝繼碁戰(湯淺氏一回勝二回目)　先相先先番　宮武喜三太氏　湯淺唯二氏

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

○六六トの八の處粘ぐ

●一〇一ヲ十二　○一〇二ワ十三
●一〇五ヲ十三　○一〇六ヲ十四
●一〇九カ十一　○一一〇ヨ十二
●一一三カ十　○一一四ヲ八
●一一七ヌ十五　○一一八ヲ十六
●一〇三ツ十二　○一〇四カ十二
●一〇七ワ十一　○一〇八ワ十
●一一一ヌ十二　○一一二カ十四
●一一五ル十四　○一一六ル十五
●一一九ワ十五　○一二〇ワ十四

▲國崎四段講評　白百二以下の手段は本局の如き白優勢なる局面に對する道にあらず白百三の處より押し黑百五白百二黑百六白百廿黑百廿一白百十九黑百十八白百廿六黑い)のとき白轉じて(ろ)に詰めなば白勝勢確かなり黑百十一好機を逸す百廿より切りて戰はゞ形勢一轉して寧ろ黑の方有利に展開せしならん然るに黑百十一と緩着を下し白に百十二と粘られては最早如何ともなしがたく以下黑奮戰大に勉めしも遂に挽回の餘地なかりしなり

碁盤目盛　大連市三河町大連棋院內　坂口　電話七〇三三番

御園クレーム
MISONO
眞白な艶
御園クレーム
肺病、肋膜には
眞正 獺の肝
佐々木洋行
火鉢各種荷揃
そばや用丼類
美術陶器 卸・小賣
大連吉野町二三
牧川洋行
電話四四九番
安田經營
海上火災保險
滿洲總代理店
國際運輸
保險部
大連市山縣通り 電三一五一
たんせきぜんそく
龍角散あり、形の文明に負ても名藥に負ず！
呼吸器學の原理及び臨床醫學の證明する通り、たんせきぜんそく藥は刺戟の強い鎮化藥ては不可せん。藥質は軟く、爽に、而して速効のある事を理想と致します。同時に亦、肺炎、肋膜炎、肺結核への變症を防止する事が肝要とされて居ります。此點に於て我が龍角散は最も安全確實て、長年の治療成績は殆ど斯道に於ける最高標準となりつゝあります。
RIUKAKUSAN
The Cough and Asthma Good Medicine
（登録商標）
龍角散
龍角散著効表
（一）たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
（二）ぜんそくにてゼイゼイ息切れする人
（三）せき頻りに出て夜中オチオチ眠り兼る人
（四）流行感冒より起るたんせきの人
（五）肺病にて常に力なきせき出づる人
（六）たん臭氣を帶び時々血の交る人
（七）百日せき又は痲疹のせき小兒のせき一切
（八）音聲のかれ咽喉のいたみ胸の痛みの人
（九）その他呼吸器疾患すべてのたんせきの人
定價（四日分三十錢 八日分五十錢 十八日分一圓 四十日分二圓 六十五日分三圓）
全國藥店にあり
本舗 東京市神田區豊島町 藤井得三郎
振替口座東京九一番
電話浪花（長）一九二〇番 八〇五番
紐育のパラマウント劇場

文藝

近郊探勝記

紅葉谷透

秋色漸くたけなは——

◆　◆

西、譚家屯裏の山から松山臺、中央公園、春日池附近にかけ東、寺兒溝後方の峰つゞきを小南山、若草山、櫻花臺につらなる大連市南方一帶の山は、大連市のみが有つ自然の一大公園である。

◆　◆

だが、市民朝夕の散歩地として山上から北に全市を俯瞰し、乃至は山麓から山の姿を仰ぎ見つゝ散歩する人はあつても、更にこれらの山をどの地點からでも南に向つて越え、要塞地帶の禁止區域に立入らぬ範圍に於て、道はなくとも心にかけず、足にまかせて谷を渉り、林を分け、枯草に坐しては國木田獨歩の武藏野に所謂「四顧して低聽し」峰によぢては思ひがけず眼下に展開するお伽噺を聯想するやうな支那人部落の物佗しい風景にふる里渚きおもひを通はしつゝ斜面を横切り、どこやらに幽かな渡り鳥の聲を聞いては又徘徊するなど、寂しくも懐しい秋の自然をゆくまゝ深刻に味はひ樂しまんとする人はありや。

◆　◆

秋の散策は總じて眺むるよりは聽くにふさはしく、語るよりは默想するに適する。從つてこの邊近くのそゞろ歩きには、五人よりは三人、二人よりは寧ろ一人孤獨の方が、自然に對する人間の微妙な靈機を捕捉するに都合がよい。

◆　◆

眺望の良否は眼の高さの二乘に比例すると云ふ公式を信じない人は馬に乘つて見るがよいとは獨野騎兵中尉の乘馬禮讃であるが、同じ理窟で汚い石道街の支那人部落も、譚家屯の山頂から遙かに遠く俯瞰すると、さながらアラビヤンナイトの魔法の町のやうに美しく見ゆる。

◆　◆

先づ駱駝の背を稻妻形に切開いたやうな南山と寺兒溝の山合を、渡る秋空に響く大連市の騒音を後に老虎灘の方へ杖を曳いて見給へ、野菊は左に薄は右に、山にも谷にも田圃にも、秋の野趣は至る處に滿ち溢れて、見渡す方に見返る方に、小鳥も虫も鳴く音侘びしさうに我ら散歩子を歡迎するであらう。老虎灘に辿りついたら、序に一時間二三十錢の舢舨を奮發して秋の海の波靜かなる嶺甲灣を斜に渡つて、嶺家山荘の絶景を探勝したまへ。

◆　◆

嶺家山荘は實に大連市民の氣付かぬ隱れた勝地の一つである。舢舨が老虎灘の灣に着いたら、一瞬の躊躇もなく岩山と岩山の間を分け行き給へ。二三十歩も歩けば直ぐ谷一杯に入口をふさいだ池が現はれる。水は幾星霜の枯蘆にさびはてゝ、時には全く枯渇することもあるが、秋雨の後などで若し湛然と水をたゝへてゐたら君の幸福である。秋草みてる山の姿が底深く水に沈んで、蒼穹を徂徠する白雲の映る美しさ。

◆　◆

秋草には少し時期が過ぎたけれど、薄、苅萱、女郎花、萩も桔梗も、秋は池の渚から野菊と共に蕭を交し、袖をつらねて谷一面。君は荊が裾を引いても可憐な野菊など手折らずに靜かに進みたまへ。斜面をなした兩側の山ふところには雅致ある姫小松林が、緑の色は幾分褪せても、所詮大連近くでは見られぬ趣きである。

◆　◆

山の峡の浮世を餘所なる二三軒の支那人百姓家から、突然犬が吠へ出しても驚くことはない。乞食の子のやうな支那少年達が珍しげに近寄つて來たら、君は愛相よく笑つて彼等の頭を撫てやりたまへ、彼等は嬉しげに先に驅出して、行くてに高く小松林の梢越しに聳ゆる霞砲臺へ案内するであらう。其處に立つた時、君はその絶景に默し、秋の一日を天の恩寵に感謝するであらう。來し方の谷間の秋色は暫くおき、波穩かな瀚海灣を前にして、右星ヶ浦から小平島、左老虎灘一帶三山島へかけての眺望の素晴らしさ。若しこの時海を白帆が走つて、すぐ眼下斷崖の下なる白砂に美しい女の群でも遊んでゐたら更に一入の幸福であらう。若又それが若い男女の一組であつたら、君は氣付かれぬ樣にこつそり蹤を返したまへ。

◆　◆

一體に大連近郊、殊に老虎灘から傅家庄邊一帶にかけての景勝は道路を離れた山や谷にある。水産試驗場裏から山越へに、光風臺附近の電車線路に出るまでの山路には、大連近くにこんな佳い處があるかと驚くやうな勝景がある。山と山との峡には支那人の寂しい村落があつて、黄葉した雜木林、小松林が急斜して走る谷間には、秋草の花の露が落ち合つたやうな綺麗な小流れさへ屢々發見される。

◆　◆

放牧の驢馬のあの亡國的な嘶き聲も、秋は殊に此の邊で聞くと周圍の情景に調和して、何となく詩趣がある。この邊から前に記した寺兒溝から老虎灘に通する道の中程にぬける一筋の小道が谷間をうねつてゐるが、君が唯一人孤獨の快感を味はひつゝ、ステッキ振り廻しながら此の山路を辿るならば海から谷に餌を獵りに來てる澤山の大千鳥が、美しい聲に鳴きたてゝ、ゆく先々の秋草の中から突然消魂ましく飛立つのに驚かされるであらう。

◆　◆

處どころに荒廢した支那人の墓があつて、狹いこの谷間を世界として見窶らしい生涯に滿足して逝いた亭主の土饅頭の前に、還子の子供を連れた女房が墓まいりして、支那人一流の大業に泣いてゐる變つた光景も時たまには見受けられる。さてこの細道を北に向つて山谷の見境なく、足に委して跋渉したら、逢坂町東方附近に出るまでには、まだ／＼人々の知らぬ景勝の場所が發見されるに違ひないが、殘念なことに要塞地帶などの關係で、これ以上近くの野趣を探ることが出來ない。

◆　◆

傅家庄街道、露國戰死者墓地、初音町刑務所附近春日池市民射撃場以上四ヶ處から石道街に結ぶ各線をも、野越へ、山越へ盲目滅法に歩くと、その何れにもそれ／＼まだ人々の氣付かぬ詩趣にみちた一歩一景の景勝がある。老虎灘は俗惡で星ヶ浦のバタ臭味に飽いた人は、手近に自然が秘してゐる新なる勝地を探るのも、萬更興味ないものでもない。

マダム「X」と語る

津無字曲

第三夜

——カフェになど出入りするなんて、あなたらしくもないわ。

——おや、誰がそんな告げ口をするんです。困りましたね。

——あなたは、この間、今のカフェには敵意をさへ感ずると仰言つたばかりじやないの。

——カフェ業者にはね。そこに働いてゐる吾がウエイトレス諸孃にはちつとも敵意など感じませんね。

——そんなに感じの出る人がゐて？

——所が、どれもこれも九州は天草の產が多くて困るんです。昨日某邸の臺所で働いてゐた女が急に白粉にエプロン姿つて奴が多すぎるんです。それにしてもちつとも憎んだりなどしませんよ。

——じあ、あなたは女給さんを追つ掛ける手合ではないのね。

——ところが、いつかの晩に素晴らしく感じを出してるウエイトレスを見つけたんですよ。生憎彼女は少々お婆アさんで、その上ひよつとしたら肺病じやないかしらと思ふんです。そんな具合で、やつぱし感じの好い女を懸命に探してはゐるんです。

——そんなに感じの好い女を見たいんなら、會社のタイピストの方が手つとり早くはなくて？

——そこですよ。僕はこの頃しきりにそれを考へてるんです。協和會館のレコード、コンサアトに毎回私が出ばるのもそこを考へての事なんです。一遍來てごらんなさいな。この前なんか、街のさる喫茶店の有名な娘さんさへ來てて具合ですからね。

——妾の知つてる人かしら。

——名前位は聞いてる人ですよ。つまり、彼女らは一體何が爲にレコードを聞きに來るのか、僕の判斷に從へば、やはり僕と同じ樣な理由ぢやあるまいかと思ふんです。

——では協和會館のコンサアトはつまり、街を散歩して途上で出會ふのを樂しみにしてた人たちにもつと好い適當な場所を提供したのだと仰言りたいのね。

——それほどでは、ありませんがね。例の瘦漢は多少、娘さんたちにはアトラクチイグなものを感じさせる爲かも知れませんよ。少し妬けますよ。つまり、吾々は、かの瘦漢をおとりにして、あの娘さんたちをおびき寄せて、ぱつくり橫合から喰ひつかうつてんですね。

——まあ、恐ろしい狼だこと。

——も少し僕の理想から言ふと暖かい日には、あの俱樂部の庭先でコンサアトをやるんです。吾々が時々草原に寢込んで聞いてゐる少女たちの間に割り込んで、時には青空を、時には健康な彼女たちの明るい頰を、明るい太陽のもとで見度いものだと思ひます。どうです、これなら狼ではないでせう？

——あなたは割にロマンチストなのね。

——僕がカフェを作り度いと思ふのも、そのロマンチストがさせることかも知れませんが、僕はその意味で、明るい心と朗かな笑ひとを持つた美しい少女を女給に選ぶつもりなんです。そして、お客さんよりも、僕自身が自分のカフェで醉つて見度いんです。カフェ漁りをしたり、タイピストを探すのに大切なお晝の散歩を犧牲にしてまで協和會館に行つたりしなくても、ゆつくりと自分のカフェで落ちつきたいんです。

——それ、そんなに惡るい夢ではないわ。その點、多少、妾がアドヴイスしても好いと思ふ事があるのよ。あなたの夢に、もつと美しい色彩をつけてあげるわ。

——どうぞ、奥さん、いつ迄もあなたは僕の好い友です。

映畫展望臺

俳優と興行價値

—淋しい秋のシーズン—

永賀見太郎

秋の映畫シーズンも漸く過ぎて行かうとしてゐるのに大連映畫街の淋しいとはどうした譯か「サン、ライズ」一本では餘りに惠まれない秋のシーズンである「キング、オブキングス」が上映されたが、ファンにとつては特殊な存在である。殊にパラマウントに至つては遂に一本も上映されずに終るらしい。大日活が開館すれば多少は惠まれるかも知れないが、之も決してファンにとつては期待されないであらう。ユナイト社の特約店である飯島商會はチャプリンとダグラス以外は配給せぬ事にしたものか、換言すれば興行價値の絶對的安全率のあるもの以外は手を染めぬ方針であるらしく觀られる。アラケロフ氏がブローカーする上海のプリントも秋のシーズンに入つて甑々不振となり服部氏は沿線巡業の逃避行に出で現在僅に上るものには僅かに「ジャングル」と「旋坑」の二篇である。

これは一面殆ど西洋映畫を上映する演藝館が新たにフオックス社と契約した爲めにフイルムの捌け口を失つた事も大きな原因であらうが、も一つ見遁せないことは低級極まる大連に於けるスター、バアリユウが禍をしてゐるものと考へられるのである。

▼▲

曰ちヤニングスにスター、バアリユウなく「ヴアリエテ」はそのエキゾテイシズムによつて辛うじて水準以上に出たのみでありバンクロフトに及んでは内地の人氣は勿[illegible]のやうである。其他クラ、、ボウにせよ（但し私は彼女からイットを感じない）ジョン、バリモアにせよ大連に於ける影の薄いことはゐる。映畫業者が餘りによく知りすぎてゐる。チャプリンとロイドとダグラスを除いて誰がスター・バリユウを確保してゐるか。

▼▲

バンクロフトの人氣が阪妻や長二郎を斷然壓へるとは毛頭考へてはゐないが、たゞ映畫館主に向ひその宣傳子に向ひ聲を大きくして大連のファンをしてスター、バリユウに更新せしめようと呼び度いのである。ファンの腦裡にない俳優の映畫を上映するが如きことが過去に於てなかつたであらうか、そして一興行の不成績を以てその俳優を見捨てはしなかつたであらうかと反問しない。

▼▲

早近な例を以て言へば「サン、ライズ」によつて果してジャネット、ゲイナーの名前が完全に宣傳されたであらうか。ファンはたゞ「第七天國」を待つてゐるのであつてジャネット、ゲイナーの姿をスクリーンに求めてはゐないであらう。之がロイドであればファンはロイドの姿に渴望してゐるのである。今茲に大連の映畫業者に向つて餘り低きスター、バリユウと興行價値に就いて一考を煩はす次第である。

木村荘十氏主宰の月刊『響』を評す

—十月改造第一號を觀て—

横澤宏

——（承前）——

私は此の改造第一號のなかゝら木村荘十氏の持つ意圖の一端を嗅ぎわけてみよう。

——權勢に阿ることなく黄金に屈せず有るが儘に曲筆ぜざるもの幾許ありや（卷頭言より）

——多少でも世間に奉仕する所があり、五分間でも諸君の退屈を凌ぎ得るものが出來れば滿足だ（身邊雜事より）

——新聞に書けない話、新聞が書かない話、新聞記事の結論、新聞記事の訂正（編輯局より）

この三つの氏の言葉を以て、氏が月刊「響」を構成せん抱負であるだらう、とみられる。私はそう觀ずる——そして此の三つの氏の抱負を敷衍して事實化れさた處の月刊「響」十月號をみる時、私は最初に——木村荘十氏の雜誌觀なるものに疑問を感じる。私から考へれば（具體的に目次を拾ひあげて見よう）▲司直の手滿鐵に及ばざるや▲石炭電氣の値下要望▲奸商滿洲牧場を膺懲す等々……若し雜誌なるものが新聞の延長であり、新聞の出店であるならばいざ知らず——若し雜誌なるものが新聞と對立し、正しく存在理由があるとすれば、斯の如きは惜げなく新聞記者に與へてやるべきものではなかつたらうか。

雜誌の編輯（併せて經營）は勿論讀者のインテレストを引くことを第一義とするかも知れない。だが讀者をインテレストするものは所謂「ニュース」のみでもなければ誠はまた「十戒に背けるもの」のみでもない。其處に雜誌の生きて行く途が嚴然とありはしないだらうか、と私は考へる。それ故、私から見れば氏の態度は些か途を外れて居ると感ぜられる、そして其の「踏み迷える」原因となつたものは氏の身體から未だ拔けきれない「新聞人臭」の禍ひではなかつたらうかと思ふ、そして其の「新聞人臭」が誌面の隨所に或る一種の萎縮した感じをみせても居るのである（例せば「滿洲利權物語」「禁制品内輪噺」の如き上乘の讀物に時に名を秘すとか〇〇町の藥屋など「首なき登場人物」を出す處新聞人の惡癖ではないであらうか——私の贊しないものである）故に私は何者より先づ氏が斷然「新聞人臭」から脱殻し、既に屢々繰返へされた滿洲雜誌編輯（併て經營）上の「定石」的な處から高く飛躍するの日を待望したいのである。以上が私の月刊「響」に對する内的要求一端である。勿論、内的に或は外的に幾多の傑出せる點もあるのであるが、私は今茲に部分的批判を下すべく些か多忙であり、而も日々索然たる我不の私である。たゞ根に横たわる疑問——雜誌のレエゾン・デートルに就いて——を釋然たれば其れで足りる。先輩木村荘十氏の御敎示を待つ次第である。散慢、實に自から恥とする盲評を敢てする先輩木村荘十氏の寛恕をひたすらに乞ふものである（完）

明暗

藤間久枝一行と共に來滿する筈であつた野口雨情氏は遂に渡滿を中止したと。誰が彼をそうさせたのか？

◇

立花高四郎氏に次いで村田實氏來る。次は牛原虚彦氏の順番。

◇

文士に續いて映畫人頻りに來る曰く東京シネマの芹川氏、評論家岩崎昶氏、シナリオ・ライター木村千疋男氏等賑やかなことなれ。

多數の盲人達を充分治療してやる
料金は一文も取らずに
恩賜慈惠團と大連醫院が協力

暗から光明の世界へ―過般來州内の日支盲人に對して行つた恩賜慈惠團の盲人無料診料は、各地に於て全く非常なる歡迎を受け豫期以上の大成功を收めた、即ち右診療の結果は手術を以て直に開眼する者十九名、其他相當の治療をすれば開眼の見込たしかなる者三十八名、都合五十七名といふ多數の盲人を救ひ得ることが判つたが、慈惠團では是等開眼可能の不遇者をたゞ一回の診療だけでその儘に放つて置くのは氣の毒であり、又折角の企てを不徹底に終らしては遺憾でもあるといふので今回大連病院と協力し入院料及旅費を慈惠團が、手術料は病院側が負擔して當事者には一文の負擔もさせぬ所謂無料治療を行ふこととなり、本月末から金州管内を皮切りに順次入院治療を開始することゝなつたが、今回の恩典に浴して開眼する盲人數は左の通りである

△旅順一五名△大連九名△金州十六名△普蘭店一一名△貔子窩六名

赤ちやんの審査會二日目
百四十五名集まる
成績は來月三日に發表

社會館に於ける赤ン坊審査會第二日目は廿二日午後一時より審査委員永原りん、川島しげる、今井廣介、梅森實の四氏立會で集つた、赤ちやん百四十五名、孰れも自慢のお母さん附添ひで一人々々丁寧に審査し午後四時終了した、第一審査は廿三日迄あり、内第一審合格者より二十四日に第二審査を行ひ、十一月三日に成績發表賞品授與がある

電燈發明五十周年祭
エソヂン研究所で頗る盛に

【デアボルン二十一日發電】エヂソン翁の電燈發明五十周年記念祭は當地エヂソン研究所で盛に擧行され、フ大統領、ラヂウム研究所で有名なキユリー夫人、自動車王フォード氏等も出席して翁の偉業を稱えた、また英皇太子殿下ドイツ大統領ヒンデンブルグ氏等からは祝電が寄せられた、翁は多數來賓の前に光榮に震えつゝ五十年前電球を發明した當時の器具をもつ[illegible]

滿蒙映畫の製作で映畫人の往來頗る旺ん
近く村田監督らを中心に座談會

◇…昨今の滿洲映畫界は秋のシーズンに入つて振はない映畫街と反比例して多數の全日本的に知名な映畫人を送迎して珍しい賑はひを呈してゐる、その多くは文士に次いで映畫人を招聘した滿鐵情報課の活躍であるが、先づ秋に入つて最初に來滿したのは東京映畫社の松本良二氏であつた、氏は滿鐵が請負として出した名古屋ハルビン間の陸路に於ける貨物輸送狀況の映畫製作のため沿線各地に於て

◇…撮影をなし去る十九日のうらる丸で歸京した、その間映畫評論家でキネマ旬報の社友である岩崎昶氏が來連し滿鐵の映畫厚志で沿線各地の映畫界視察に赴き本日歸連の豫定である、また去る廿日入港のばいかる丸で日本に於ける教育映畫製作者として有名な東京シネマの芦川正一氏が情報課の招聘で來連したのに次いで二十三日入港のはるびん丸で日本映畫界の名監督として

◇…名聲を博してゐる日活撮影所の村田實氏が脚本部員木村千疋男、カメラマン青島順一郎兩氏と共に來連したので滿鐵社員倶樂部では映畫委員を中心に小林檢閲官其他映畫關係者を招き岩崎氏を加へて滿洲では珍しい映畫人揃ひの顏觸れで近く座談會を開く豫定だといふ、斯く多數の映畫人が一時に來滿したことは滿洲映畫界始まつて以來のことである

満鐵が米國から購入したメリノー羊
―寫眞はきのふアラビヤ丸から陸揚したところ―

西部大連の停電騷ぎ
一昨夜二時間も

二十二日午後五時三十八分より七時二十五分に至る約二時間聖德街沙河口、星ヶ浦一帶に亙り停電し折からの夕食時に西部大連は眞暗闇となり大騷ぎとなつたが、原因は日本橋下を通る沙河口神社裏變電所よりの電線に故障が生じた爲同變電所の變壓器オイル、スイッチがパンクせるに由り、是がため動力不足となり電市内一圓も三、四分停電し、電車は沙河口系統は十分間、歟島町系統四分間夫々停電した

非衛生な市場

千代田町公設市場横では刺に敏い支那小商人が非衛生極まる魚肉や蔬菜類を俥車や擔荷で持運んで客を呼び、酷いのになると腐れかゝつた材料を天麩羅やいり上げにして賣出してゐる、それで警官が立退きを命ずると蜘蛛の子を散らす樣に退散するが間もなく新市場を現出するので之が取締に手古摺つてゐると

殉職警官
部長に昇進
功勞章を附與

二十一日夜殉職した大石橋警察署巡査故澤飯殿之助氏(三一)は即日巡査部長に昇任され同時に功勞記章を附與、功勞加俸二十圓を交附された

葬儀は
廿四日執行

殉職した故關東廳巡査部長澤飯殿之助氏の葬儀は廿四日大石橋に於て執行さるゝが關東廳よりは中谷警務局長臨席の上弔辭を述べ、又太田長官以下の香典を贈ることゝなつた

按摩の妻君
鈴木翰長を訴ふ
結婚前に暴行したと

【東京廿三日發電】東京市芝區南佐久間町二の一五按摩大野七五三の妻じんは廿三日午後一時内閣書記官長鈴木富士彌氏を相手取り氏が前内閣内務省參與官たりしころ當時未婚の同女を强姦しその後合意の情交を續けるうち同女は姙娠したが、同氏は强制的に服藥せしめて墮胎に至らしめたとの告發を東京地方檢事局に提起したので金澤檢事は直ちに調査を開始した、なほ右につき當の鈴木翰長は

そんな話は以前から屢々持つて來た者があつた、然しそれは恐喝がましい態度であるから相手にしなかつた

と語つた

慶大再勝
對明大二回戰

【東京二十二日發電】慶明野球第二回戰は二十二日午後二時半より神宮球場に池田淺沼兩審判の下に慶應の先攻で開戰、左の如く二對零で明大再敗四時四十分閉戰した バッテリー明大、鬼塚、手塚 慶大、宮武、川瀬

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
先攻慶大	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
明大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

人見絹枝選手
大連には來ぬ

奉天における日支陸上競技に出場した人見絹枝選手が來連の豫定になつてゐたので神明高女にては着々その準備を進め來連の日を心待に待つてゐたが、急用のため來連不可能となり急遽奉天から朝鮮經由にて歸國したと

津田兄弟洋畫展開催

津田正豊、津田正周兄弟兩氏の洋畫展が本廿四日と五日の二日間大連醫院長戸谷銀三郎氏其他の紹介で滿鐵社員倶樂部に於て開催される津田兄弟は津田青楓畫伯門下の秀才で第十五回以來二科展に續けて入選した外大禮記念、國際展、關西展等に出品してゐるが津田畫伯は「彼等二人は未來の畫壇に必ず大きな渦を捲き其作品は未來に於て大畫家の若き日の記録として尊重される日のあることを信ずる」と激賞してゐる、尚兩氏は連れ立つてフランスへ留學する筈である

切羽詰つた女の淺墓
大瀧タキが詐欺を働く迄

女詐欺師として大連署に留置取調べを受けてゐる市内乃木町三ノ一ノ一大瀧タキ(三〇)が詐欺を働くまでにはコンナ經緯が秘められてゐる、五、六年前滿鐵社員辻倉某に夫の眼を掠め他より三百圓の融通を受けて又貸したが間もなく辻倉某は馘首された爲めこの三百圓を踏み倒された、一方債權者よりは火の樣に返濟を迫られ夫には話すことも出來ず切羽詰つた末、或る呉服屋より錦紗、反物を詐取し之れを二百五十圓で入質した事があつたが、告訴により夫より詰問され死を決して老虎灘海岸を彷徨ひ通行人に發見され目的を遂しなかつた、今回も右借金の遣り繰りに窮し女心の淺墓から詐欺を働く氣になつたものであると

貔子窩沖で生捕つた海賊を押送
きのふ大連檢察局へ

過般大連水上署が澄海丸で討伐に向つた際貔子窩沖で逮捕し貔子窩署に留置取調中であつた海賊九勝こと黄鶴貴(三一)ほか八名は二十三日午後一時半、手錠、足錠を固くはめられた上、木内巡査ほか八名の警官に嚴重警護され大連檢察局に押送されて來た、右海賊等は貔子窩署で取調べたところによると小長山島の派出所を襲撃し警官を殺傷したうへ同地の富豪を片つ端より襲つて金品を掠奪する計畫中に逮捕されたものであると

苦力の墜死

市内東山町三番地碧山莊苦力陳德順(三一)は二十二日午前十一時三十分埠頭一番バースに繋留中の鞍山丸にて作業中誤つて船底に落ち頭部を打ち即死した

秋季全滿弓術大會

時日　十月廿七日(日曜)自午前九時至午後十時半受附
場所　中央公園武德會弓術道場
方法　尺二的六射、七五三的四射、遠的四射
主催　大日本武德會大連支所
後援　滿洲日報社

ボイラー破裂し九名重輕傷を負ふ
長春の支那風呂屋で

【長春特電二十二日發】二十二日午後零時二十分頃長春日本橋通りと東三條通りとの角の支那風呂金紅池方に於いてボイラー破裂し、天井を突抜け階上の床屋の床半分及び壁を吹飛ばし機關取扱人三名、理髮師二名、理髮中の客二名は建物と共に投げ出され瀕死の重傷を負ひ他の客二名は輕傷を負つた、尚被害者は孰れも支那人にて重傷者は生命覺束なしと、原因目下調査中なるも多分ボイラー内の水が不足したのを氣付かず熱した爲に火爐の上部が熔け蒸氣が火爐を通つて吹出せる爲ならんと

曳馬狂奔
自動車を蹴る

二十二日午後六時半ごろ、淸寺兇薛慶容永こと[illegible]某が御用車夫薪(三)は市中から歸宅の途、豫見町十二番地に差し蒐つた際、過つて御馬車を溝地に落したので曳馬は驚き猛狂ひその側を通りかゝつた大連タクシー運轉手藤原某(三七)の操縱する自動車に約十圓の損害を與へた

突如大西洋横斷飛行へ
米國飛行家

【ニユーヨーク二十二日發電】モンタナ州ビリングスの飛行家ユー、エス、ダイテマン氏は不意にグレースハーバーより出發したが、右はロンドンに向け大西洋横斷飛行の途に上つたものと見らる

警官檢閲式

【東京二十三日發電】警視廳管下七千五百名の警官の檢閲式は二十三日午前九時より二重橋前廣場で行はれ丸山總監は檢閲を行つたのちマイクロフォンを通して訓示を朗讀した

國士號桑港を出發

【サンフランシスコ廿二日發電】訪米機「勞農の國士號」は今夜當地發シエヌに向つた

琴古流演奏會

菅井一童氏の主宰する琴古流尺八演奏會は本二十四日午後六時彌生町高等女學校講堂に於て開催されるが入場無料一般の來聽を歡迎すると當夜の演奏曲目左の如し

▲靈井獅子▲六段之調▲茶之湯▲新高砂▲さむしろ▲春の夜▲酒▲磯千鳥▲末之契▲浮船▲千鳥の曲▲若菜▲深山獅子▲七小町

自動車業者の福音
ガソリン節約器

大連における自動車界の發達は素晴らしいものであるがそれに刺戟されてか市内土佐町三十六米人ビーゼエイ、ホイリーシツク氏は目下アメリカ本國にて利用され人氣を博してゐる「バアバー、ヒミデフアル」と稱するガソリン節約器をひろく賣り出す事となつた、同器の効力については廿三日午前八時より大連警察署前にて中井同署技師立會のうへ實地につき試驗を行ふ由である、なほ同器はガソリン一壺につき約二割五分を節約し得るものであると

科學通俗講座

米國パーデユー大學教授ロバートソン博士は教授の職を退き基督教青年會に投じその專門の科學を通俗講演に依り一般に普及を計りつゝあるが今回發聲映畫を持參し廿五日基督教青年會館で晝は午後二時から夜は七時から二回上映すると

桔梗町市營小住宅

市内桔梗町の大連市營小住宅建築は着々工事進捗し二十五日上棟式を擧行の豫定であると

金光三代太郎氏

金光教祖の三代目金光三代太郎氏は山陽新聞主催の視察團に加はり鮮滿巡遊の途次數日前より來連、市内愛宕町金光教會に滯留中のところ二十二日出帆のばいかる丸にて岡山の金光教本部に歸つた

糞尿塵芥の搬出

大連市衛生係では糞尿、塵芥の搬出作業につき市内を十一區に分ち能率をあげることになつた、なほ大連農會へ配給する糞尿は西川會糞池を充たしたので香爐礁へ運ぶことになつた

うるさい麻雀

麻雀が流行して昨今の大連には料理店、待合を始めホテル、下宿屋などでも機に行はれ之れが爲め金錢を賭けて純然たる賭博行爲に出る者も少くないので大連署では治警取締上その行爲を絶滅すべく遺憾なきを期してゐるが、最近ナニワホテルに於て深更まで麻雀を行ひ他宿泊客の安眠を妨害してゐるとの聲あり、二十二日原田保安主任は經營者桑島氏を署に招致し嚴重警告を發する處あつた

日滿連絡下り機

二十二日の下り旅客機は午前九時二十分京城發午後一時三十九分周水子着陸、乘客は航空會社德留淸一郎朝鮮人金有龍の兩氏

日滿連絡上り機

二十三日上り旅客機は午前八時半周水子發、十二時十七分京城着、乘客は瓜谷長造、上西勝、最町文一、本田諦爾、德留淸一郎の五氏

けふのラヂオ

昭和四年十月廿四日(木曜日)
自午前十一時へ相場(特産、錢鈔株式、各地相場)
自午後〇時三十分 相場(特産、錢鈔、各地相場)ニュース
自午後三時三十分 相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)ニュース
自午後七時
一、ニュース
二、支那語講座 第三十課實用支那語會話 満鐵學務課 秋父尚太郎
三、宗教講座 靈魂の輝き 西本願寺 井藤義雄
四、唄 秋の色種 北村席唄
五、梁、理慧、安來節 北林席唄、三味線歌子
六、陳樹松百々
七、料理献立
八、天氣豫報
ラヂオ體操

愛慾の窓 (137)

戸川貞雄作
浅枝次朗畫

謎 (九)

檢事の言葉は、久彦を或る不思議な心理にまで陷いれた。成程、こんな忌まはしい場所へ倭文子を參考人として呼出すやうなことは、この場合愼まなければならないことだ。たとへそれが久彦自身にとつては必要であるとしても。

次にまた久彦は、檢事の訊問に應へて、倭文子と自分との間の戀愛關係の有無を明らかにすることに異常な心の苦痛を感じた。示された寫眞は、實は倭文子のもので はなく、絹子といふ自分の亡き初戀人の寫眞であるといふ事實を述べることに心の痛みをおぼえたのである。むしろ彼は、示された寫眞を通じて、倭文子と絹子とが同一人視されてゐることに、ほのかに歡びに似た感情を味よつた。そしてこの感情は、久彦自身をすら、倭文子と絹子とを同一人視する錯覺の上に立たしめようとするのであつた。

被告久彦は、深い沈默とともに首垂れてゐた。水を打つたやうな靜けさが、暫くの間、法廷を領した。

「……あゝ、やつぱりあの人だわ！あの晩の男だわ！」

ふと、その靜けさのうちに、美知子は自分の右隣に坐つてゐる斷髮の若い洋裝の女が、かう呟くやうに洩らしたのを耳にした。その言葉はぴりぴりと顫へてゐる美知子の神經にひゞいた。彼女はその顏を向けた。

女は、ひどく疲れた顏色を、目立たぬ程の化粧で糊塗した、カフヱーの女給かダンスホールの踊子か、と云つたふうに見える、支那絽めいた模様の、黄いろい地のワンピースを身に着けてゐる。

「……あの人だわ！どう見たつてあの人だわ！」

彼女は再び囈語のやうに呟いた。そしてぢつと久彦の顏に注いでゐた眼を伏せると、膝の上で組み合せてゐる自分の手に視線を落した。美知子に觀察されてゐることなどには、全く氣づかないやうに見えた。

するとその時、傍聽席には目に見えぬ動搖が起つた。參考人として召喚された小森英輔が出廷したからである。瀟洒としたモウニングの姿の英輔は、剃り立ての色白の顏をやゝ青ざめさせ、少し迷惑さうな表情で眉を顰らせてゐるのだつた。

型の如く參考人として宿所氏名の訊問がすみ、宣誓が行はれると檢事は英輔に向つて被害者友永と倭文子や被告草野久彦との關係を質問した。

「……私は、被告とは友人でも何でもありません！草野君は、御承知と思ひますが、東京興信所の人間です。で、友永倭文子と私との縁談に就いて、殺された友永君に依頼されたと稱して、屢々、私を訪れて、金品を強請したことがあるのです！」

意外な陳述に、被告席に在つた久彦は顏をきつと擧げて、英輔の横顏を見た。

「で、私は、友永君が果して依頼したかどうかをすら疑はしく思ひかつて友永君にそれを糺したことがある。すると友永君の答へは實に意外であつた。彼はこの草野君に對して、別に私の身許調査などを依頼したおぼえはないと申しました。すなはち草野といふ人間は、友永君と遠くからの知合であるのに乘じ、興信所員の地位を利用し一圖に私の結婚を妨害しようと企んだのです！何故か、これは私の口からはいふに忍びない事實でありますが、草野君は私の現在の妻倭文子と古く戀愛關係があつた仲なので、何うかして倭文子が私の許へ嫁いでくるのを妨害しようと努めたのです！この點はすでにもう調べが行屆いてゐることゝ思ひますが、この際、草野君流の悪徳興信所員は、充分懲らしめていただきたいと思ふ。私は、愛する妻の兄を殺した下手人として、草野に對しては一方ならぬ私憤をおぼえてゐることはいふまでもありませんが、同時に社會の公人として人を強請つたり脅迫したりすることを常習としてをる悪徳興信所員に對して、公憤を禁じ得ないものであるんです！」

英輔の惡意に滿ちた毒々しい放言に、久彦はおぼえず唇を嚙みしめた。

滿日文藝

雜吟 月雨整理

「盲」

盲目と見えぬ按摩い馴れた足 大連 新生
盲目も矢張り朝を起きて來る
盲啞校不憫ながら無邪氣なり 大連 喜一
盲判廻轉椅子の忙しさ 撫順 阿喜良
文盲の嘲りをよそに好くかせぎ
いゝ喉で盲不自由なく暮し
盲縞四十の坂へ手がとどき 金州 素緑
盲目と思ひぬ指の感のよさ
つめ腹を切るとは知らぬ盲判 旅順 柳月
支那盲蛇味線彈いて人を寄せ 遼陽 登美坊
盲獸馬力いつぱい生きてゐる
盲目になれず理性のふかむ秋 旅順 亜鳳
盲人の挨拶兩手もてあまし 大連 滿山
盲判上から順に押し下げる
盲愛は海鼠のやうに育て上げ

新刊紹介

▲大衆(十月號) 瓦斯鬪爭の記錄ゴーリキーの「モスクワ印象記」其他大衆諸物多數あり(定價金二十五錢、東京市芝公園十號の四、大衆社發行)

▲子供の友(十一月號) 子供たちには一番ためになる面白い繪本(定價金二十五錢、東京雜司ヶ谷上り屋敷婦人之友社發行)

▲大陸(十月號) 森氏の「露支紛爭の前途」「官吏と滿鐵社員の給料値下を斷行せよ」松岡前滿鐵副總裁の「日支經濟提携の根本義」及新關東長官と新滿鐵總裁に對する在滿同胞の要望其他面白い讀物が多い(定價金五十錢、大連市西公園町二三五大陸社發行)

▲實業公論(十月號) 關西發展號(定價金二十五錢、東京市牛込區矢來町一一實業公論社發行)

▲東海草球界(十月號) 定價金十五錢、名古屋市中區南大津町二丁目、名古屋草球協會發行)

▲みづがき(十月號) 定價金四十錢、甲府市櫻町三ノ八朝日館書店内みづがき社發行

▲矛盾(十月號) 定價金十錢、東京市小石川區八町四三矛盾社發行

▲實業青年(十月號) 定價二十錢、東京市麹町區一河町六ノ二四實業青年修養會發行